

コンパクト コンボ ステレオ ロキシー
ROXY J5

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
東京都渋谷区渋谷2-17-5(シオノギ渋谷ビル)〒150
電話(03)3486-5511

アフターサービスのお問い合わせは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関する其他のお問い合わせは、
お客様相談室をご利用ください。
電話(03)3486-5515

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

B60-0219-60 (JA) I
95/12.11.10 9 8 7

リモコンの
使いかた
時刻合わせ

アンブ・チューナー・
グライコ
の操作

CD・カセット
テープ
のきかた

録音の
しかた

サラウンド
再生

タイマーの
使いかた

故障と
思われる
症状が
：

はじめに

ケンウッド商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため本説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださるようお願いいたします。また、お読みになったあとも、大切に保存してください。

目次

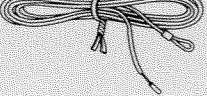
ご注意：△のついた項目は感電や火災からあなたを守るためにご使用のまえに必ずお読みください。

△取扱上のご注意	3	録音のしかた(Bデッキのみ)	42
ご使用の前に	4	普通の録音	42
接続のしかた	6	CDの録音のしかた(CCRS)	46
各部の名称	11	フェードアウト編集録音(FADE OUT EDIT)	47
リモコンの使いかた	14	消去編集録音(ERASE EDIT)	48
音を出してみましょう	16	クロスフェード編集録音(X. FADE EDIT)	49
時刻合わせ	17	ノーマル編集録音(NORMAL EDIT)	50
		AI編集録音(AI EDIT)	51
アンプの操作	18	マルチディスク編集録音(MULTI EDIT)	52
音量を調節する	18	CD RECキーの使いかた	53
CD/LDダイレクト再生のしかた	19	ダビングのしかた	54
放送受信のしかた	20	サラウンドの再生	55
放送を受信し、プリセットする(記憶させる)	20	ドルビーサラウンド再生のしかた	56
放送局名を表示させる	22	DSPプレゼンス	57
		オリジナルプレゼンスサラウンド再生のしかた	57
グラフィックイコライザーの操作	24	ユーザープレゼンス音場によるサラウンド再生	58
デモンストレーションのしかた	26		
AI AUTOの使いかた(CD専用)	26	映像機器を使用するには	60
AI MANUALの使いかた	27		
MANUAL/REFERENCEの使いかた	28	タイマーの使いかた	61
AI LINKキーの使いかた	29	プログラムタイマーで放送を受信する	62
自由にイコライザーパターンを作るには	30	プログラムタイマーでCDを再生する	63
		プログラムタイマーでテープを再生する	64
CDのききかた	33	プログラムタイマーで放送を録音する	65
CDを初めからきく(TRACKモード)	33	ワンタッチタイマーの使いかた	66
好きな曲を好きな順番できく(PGMモード)	35	AI TIMER 1の使いかた	67
繰り返しきく(リピートプレイ)	37	AI TIMER 2の使いかた	67
		スリープタイマーの使いかた	68
カセットテープのききかた	38	カレンダーチェックのしかた	68
テープの再生	38		
		故障と思われる症状ですが	69
DPSSの使いかた	40	アフターサービスについて	72
飛越選曲	40	定 格	73
巻戻し再生するには	41		
1曲リピート再生するには	41		
ダッシュ&プレイのしかた	41		

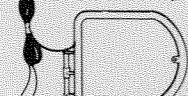
付属品

次の部品がそろっていることを確認してください。

FM・TV用室内アンテナ (1本)



AMループアンテナ (1個)



ループアンテナスタンド (1個)



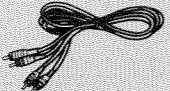
リモートコントロールユニット (1個)



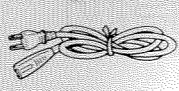
システムコントロールコード (1本)



オーディオコード (6本)



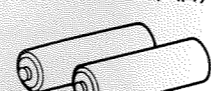
グラフィックイコライザー用電源コード



スピーカーコード (2本)



リモコン用単3乾電池(2個)



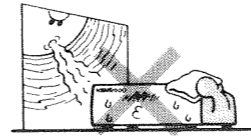
スピーカーコードを除く上記付属品はカセットデッキ部に同梱されています。

取扱上のご注意

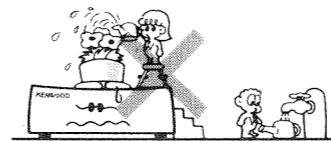
△ この頁は安全確保のために必ずお読みください。

■設置上のご注意

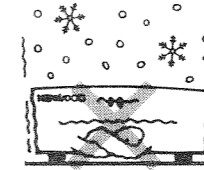
直射日光の当たる所、暖房器具など発熱物の近くは避けてください。



花瓶、化粧品など液体の入ったものは、上に置かないでください。また、湿気の多いところは避けてください。



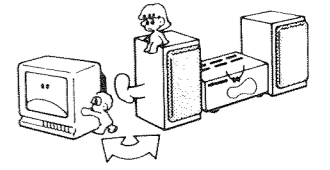
極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。



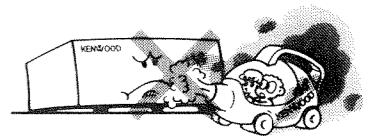
放熱をよくするため、本など、ものをセツの上に置かないでください。また、壁から10cmくらい離して置いてください。



雑音が入る場合は、テレビからできるだけ離してご使用ください。

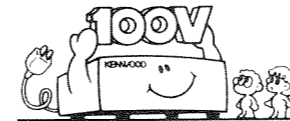


不安定な棚などは避け、ホコリ、震動の少ない水平な場所に設置してください。ベッド等の上では使用しないでください。

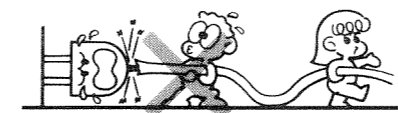


■安全上のご注意

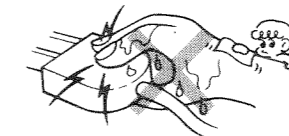
本機は、交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。



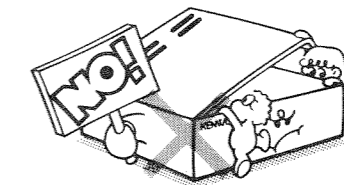
電源コードを強くひっぱったり、無理に折りまげたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは、プラグを持ってください。



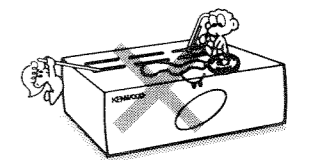
電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でやらないでください。感電するおそれがあります。



ケースなどをはずし、内部に触れることは避けてください。内部に手を触れると感電、故障の原因となることがあります。

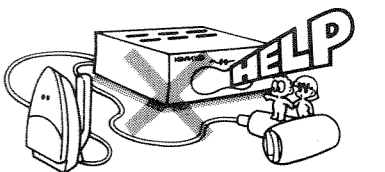


ケースの空気孔等にヘアピン、縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。



背面の電源コンセントは音響機器専用です。下記の表示容量より大きい消費電力の機器は接続しないでください。

- ・連動電源コンセント 300W
- ・非連動電源コンセント 100W



■セツのお手入れ

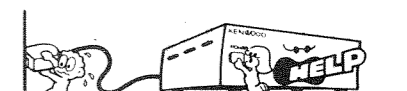
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



■異常にお気づきのさいは

万一、煙が出ている、また変なにおいがするなどの異常がおきたときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速やかに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へご連絡ください。

POWER OFF

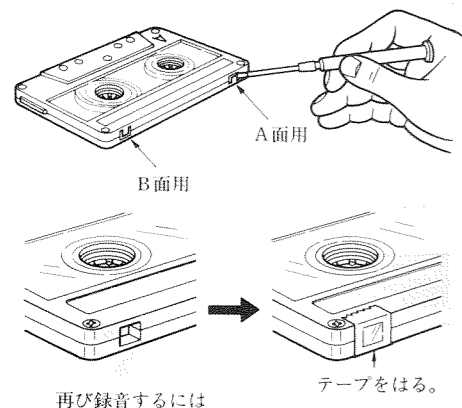


ご使用の前に

カセットテープについてのご注意

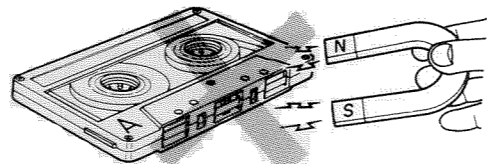
●誤消去防止装置

大切な録音の後には、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。



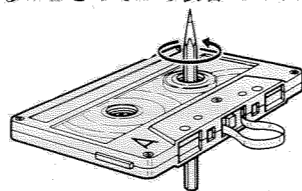
●カセットテープの保管について

直射日光下や暖房機などのそばに装置しないでください。また、磁石や磁器は近づけないでください。



●テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



ご注意：

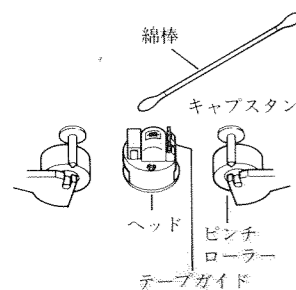
1. 110/120分テープについて

110/120分用テープは大変薄く、ピンチローラに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいのでご使用は避けてください。

2. エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますのでご使用は避けてください。

ヘッドのお手入れ



ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. イジェクトキーを押し、カセットホルダーをあけてください。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングしてください。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

ご注意：

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際には、引っ掛けたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを“露付き”といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。

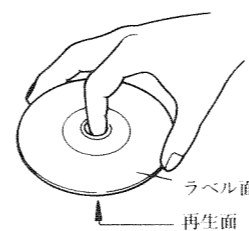
これは故障ではありませんが、露がとれまるでしばらく乾燥させる必要があります。

本機の電源を入れた状態で、そのまま放置しておいてください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

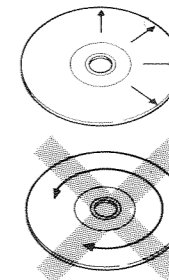
- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から湿度が高く、気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態となりやすい条件のとき。

ディスク取扱上のご注意



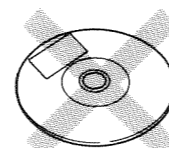
取り扱い

再生面にふれないように持ってください。

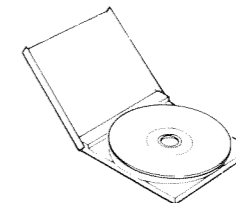


お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



保存

長い間使用しないときは、本機から取りだし、ケースに入れて保管してください。

ステレオ音のエチケット

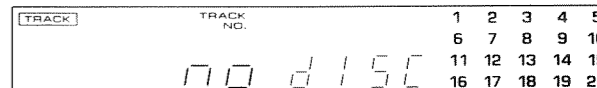


楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

CDプレーヤーの輸送時または移動時のご注意

CDプレーヤーを輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

1. ディスクを入れないで電源をONにします。
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。



3. 電源をOFFにします。

スピーカーの防磁とテレビについて

1. このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムですが設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
2. 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

テープへの録音

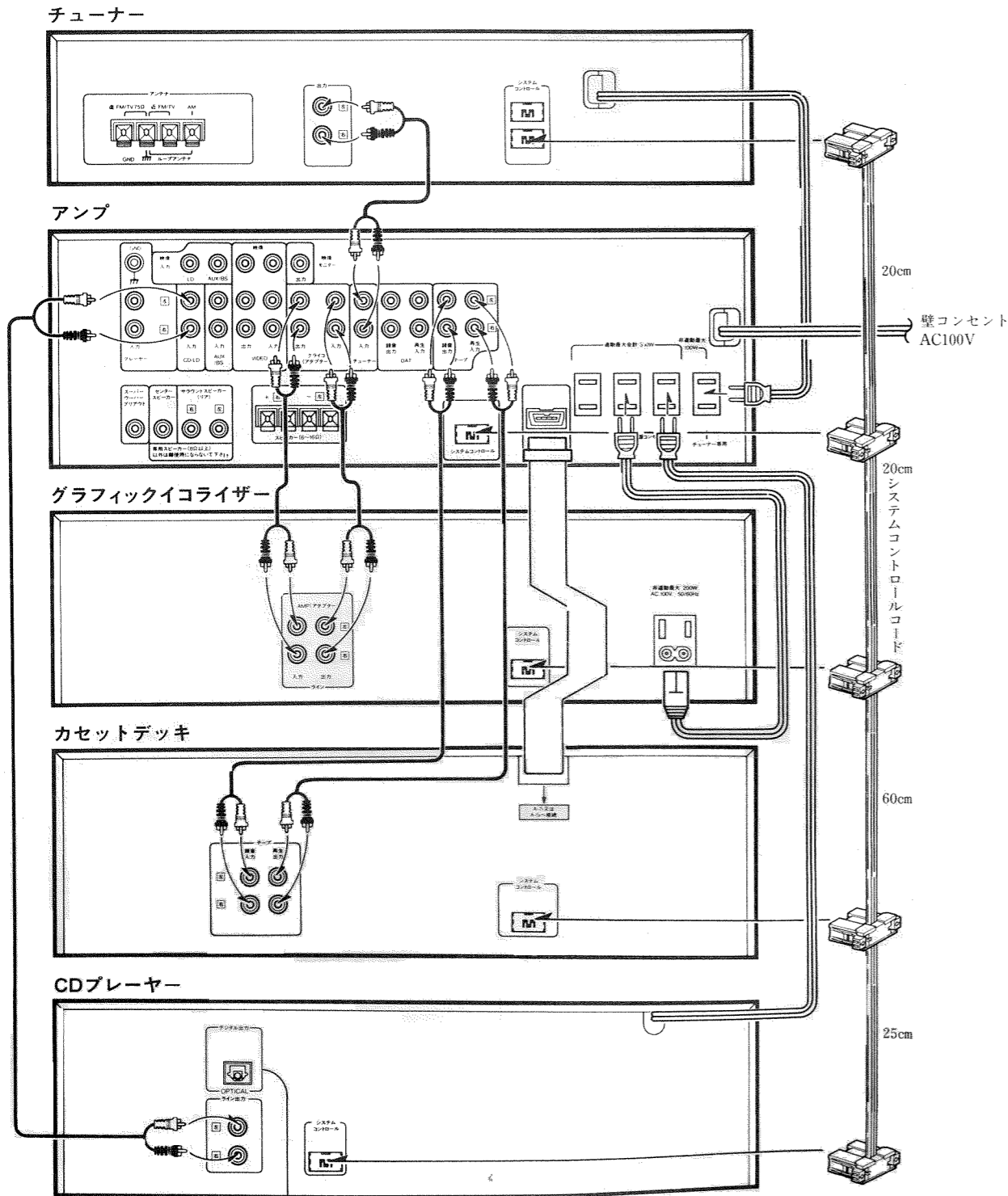
あなたが録音したテープは、個人として楽しむほか、著作権法上の権利者に無断で使用できません。

接続のしかた

■基本システムの接続

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

- セットの積み重ねは、接続図通りに行ってください。
- チューナーのアンテナ接続とアンプのスピーカー接続についてはそれぞれ“アンテナの接続”と“スピーカーコードの接続”をごらんください。



デジタル出力端子
端子を使用しないときは必ず保護キャップをしておいてください。

■接続のご注意

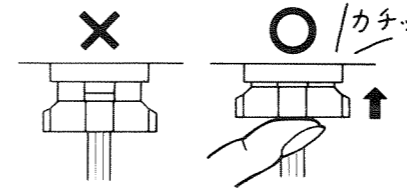
基本のご注意

1. 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出ない、雑音が発生するなどの障害が出る場合があります。
2. 背面の電源コンセントには、表示されている定格以上の機器を接続しないでください。
3. セットの積み重ねは、接続図通りに行ってください。
4. 全ての接続が終了した後に接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行いますと、誤動作または破損の原因となります。

平行コードの接続

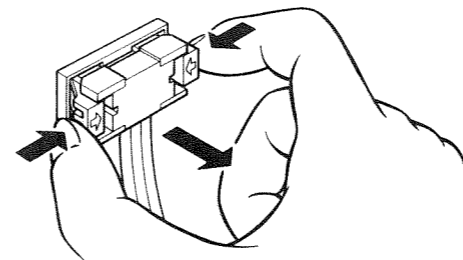
(アンプ/カセット間接続コードおよびシステムコントロールコード)

1. コネクターを差し込むとき
カチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックしてください。



2. コネクターを抜くとき

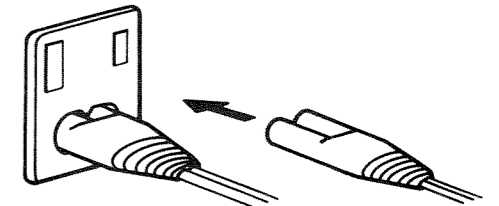
コネクター部分の両端を押しながらかまっすぐに引き抜きます。



3. システムコントロールコードは、接続図通りに配線接続してください。

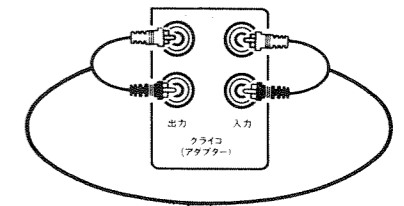
インレット型ACコード (グラフィックイコライザー)

インレット用ACコードのプラグは、インレット部に止まるまで強く押し込みます。



アダプター端子 (アンプ)

グラフィックイコライザーを接続しないときは、図のようにオーディオコードをアダプター端子に接続してください。



デジタル出力端子 (CDプレーヤー)

別売の DAT に接続してデジタル録音ができます。

アンテナの接続

■AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

ループアンテナスタンド

チューナー

①レバーのロックをはずす
②コードを差し込む
③レバーをロックする

■AM屋外アンテナの接続

受信状態が悪い場合は、ループアンテナをつないだまま6m以上のビニール被覆線を屋外に張ってください。

■FM・TV簡易アンテナの接続

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のために、なるべく早く屋外アンテナを接続してください。屋外アンテナを接続したら、室内用アンテナは取り外してください。

①コード先端の被覆を取り、ねじる。
②受信状態のよい位置を探す。
③固定する。

■FM・TV屋外アンテナの接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、TV用と本機用に分配し“遠FM/TV端子”に接続します。放送局が近く、電波が強い場合は“近FM/TV端子”に接続します。

テレビアンテナ (VHF) テレビアンテナ (UHF) FM専用アンテナ

分波器 VHF UHF

10 10mm

混合器 分配器 VHF/UHF

スピーカーの接続

■フロントスピーカーの接続

①レバーを押しながら ②コードを差し込む
③レバーから手をはなす

①レバーのロックをはずす ②コードを差し込む
③レバーをロックする

- スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
- 左右を逆にしたり、極性をまちがえて接続しますと、楽器などの位置がはっきりせず、不自然な音となります。正しく接続してください。

■サラウンドリアスピーカー、センタースピーカーの接続

CM-5ESまたはCM-7ES

右 左

サラウンドリアスピーカー (リア)

センタースピーカー

専用スピーカー (8Ω以上) は必ず御使用にならないで下さい。

CS-6センタースピーカー

■スーパーウーハーの接続

SW-9 スーパーウーハー

システムリモコン (RC-7i) で操作ができます。

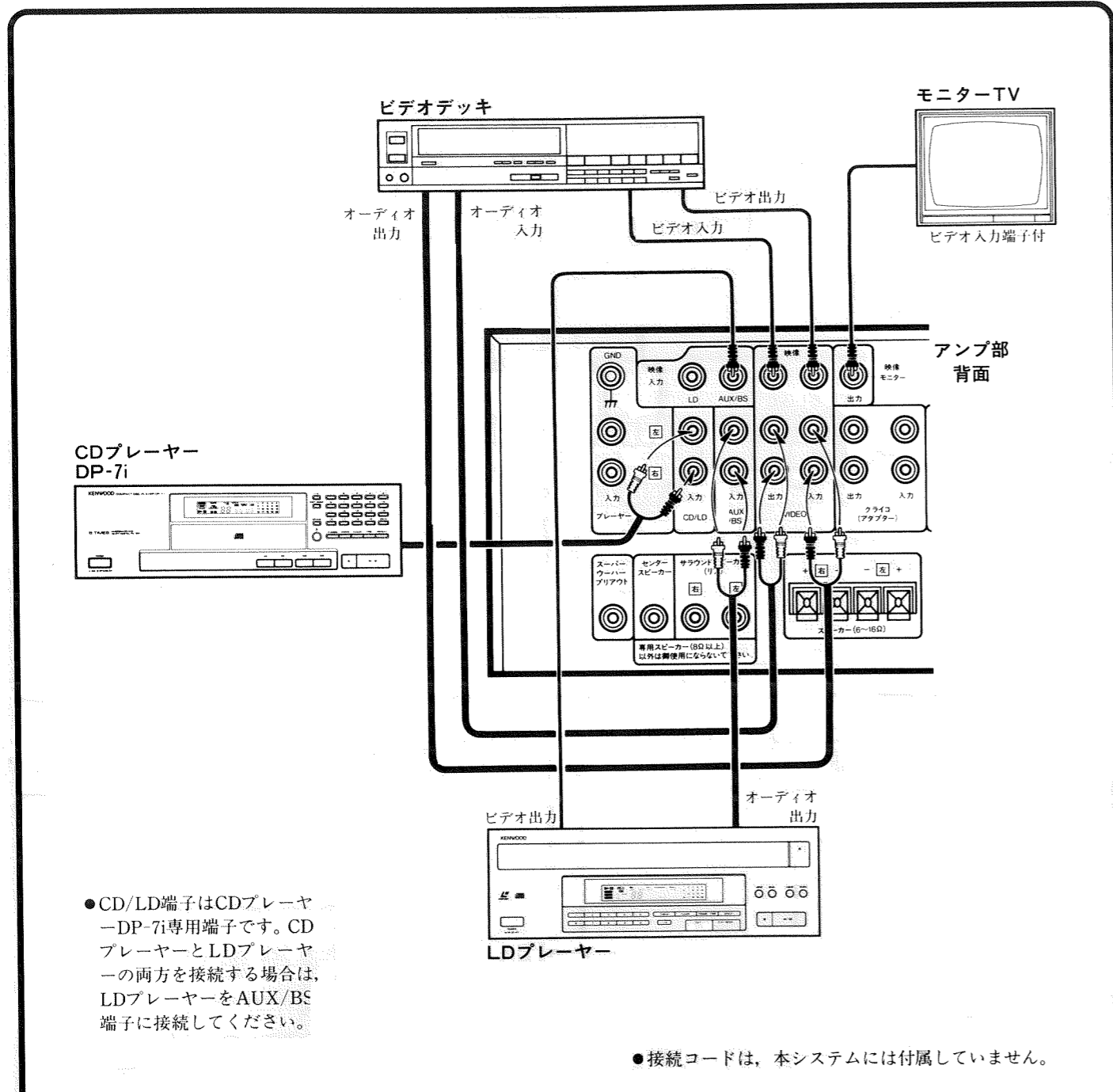
リモコン受光部

専用スピーカー (8Ω以上) は必ず御使用にならないで下さい。

AV機器(別売)との接続

各部の名称

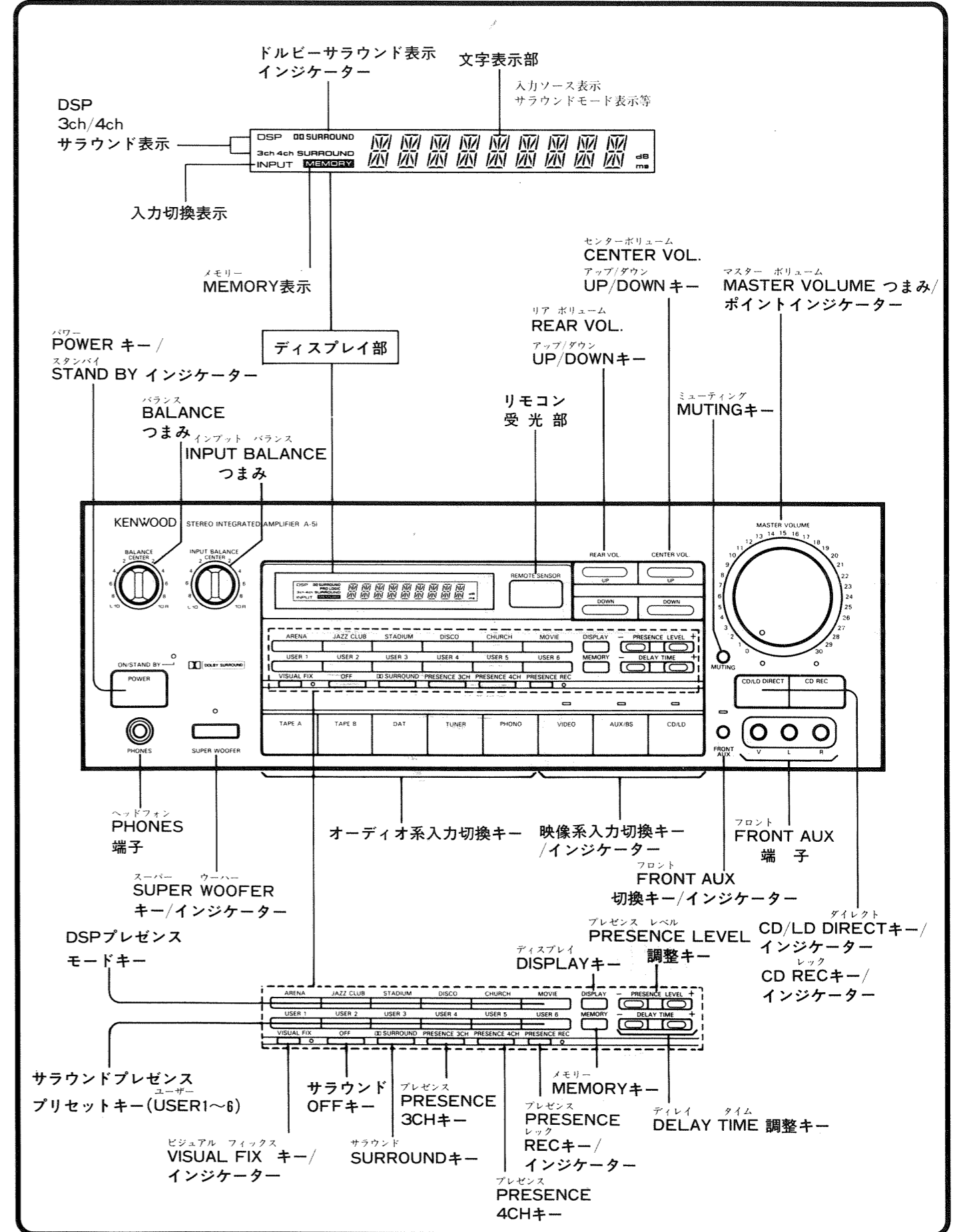
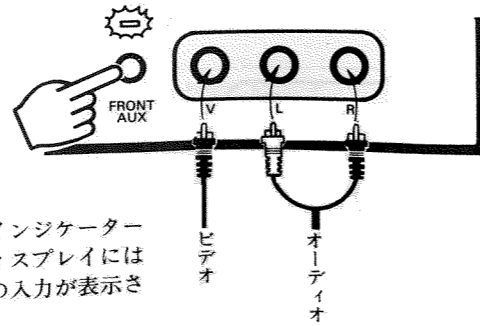
■アンプ部



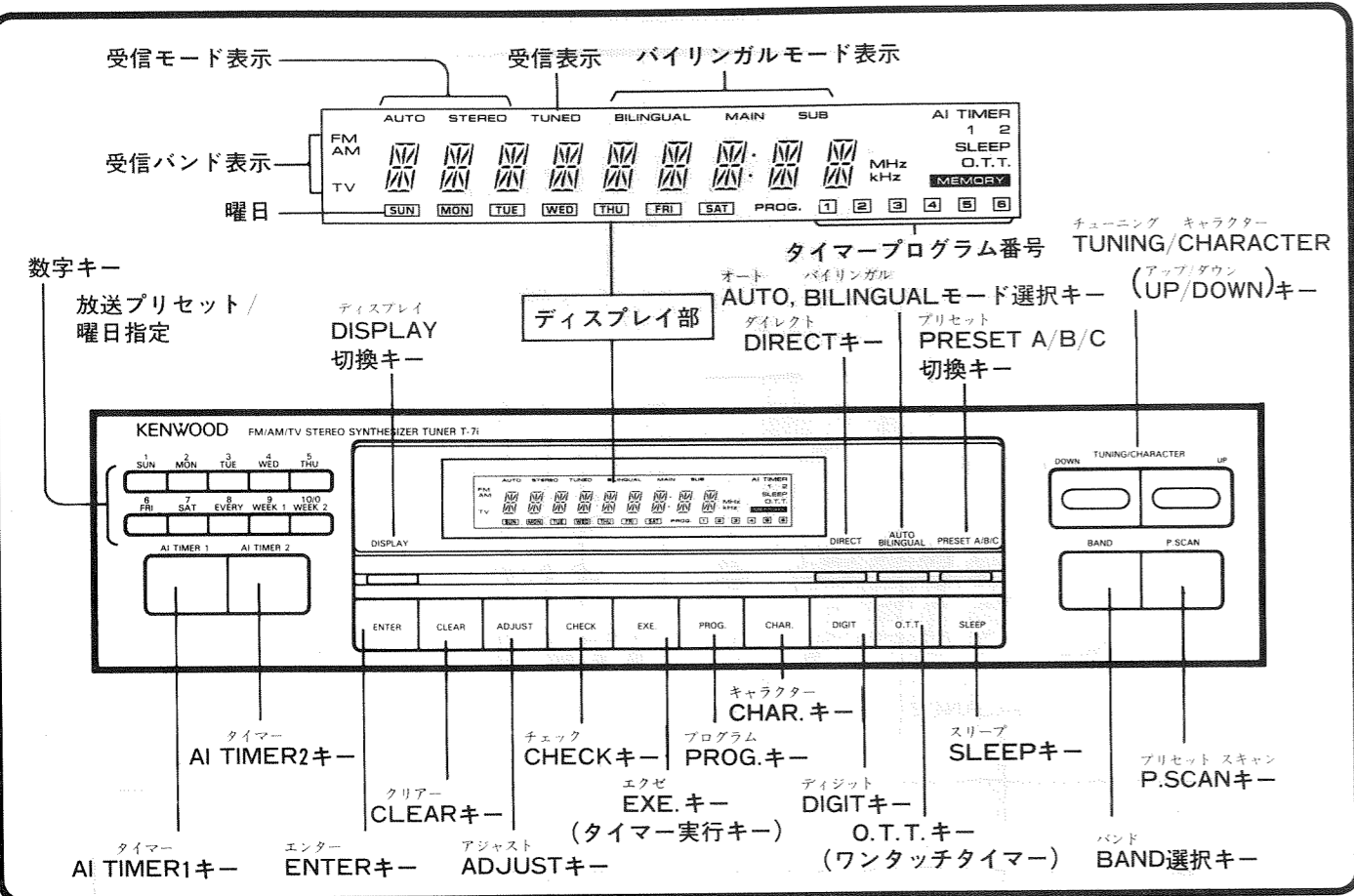
LDプレーヤーのかわりに次のような映像機器が接続できます。

- BSチューナー
- ビデオカメラ
- ビデオデッキ

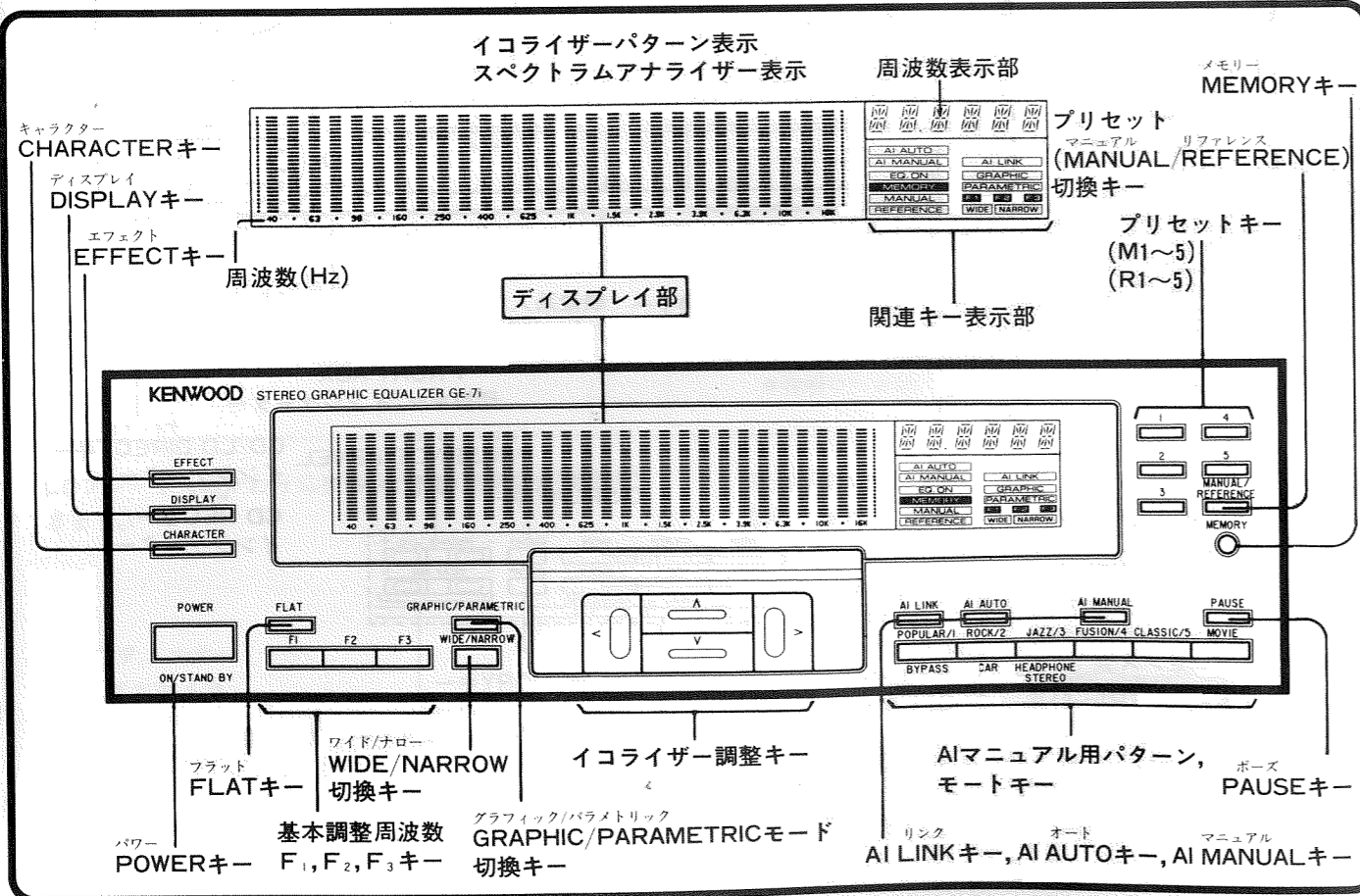
正面パネル側にもAUX端子がついています。臨時に接続するときは、正面の端子をご利用ください。



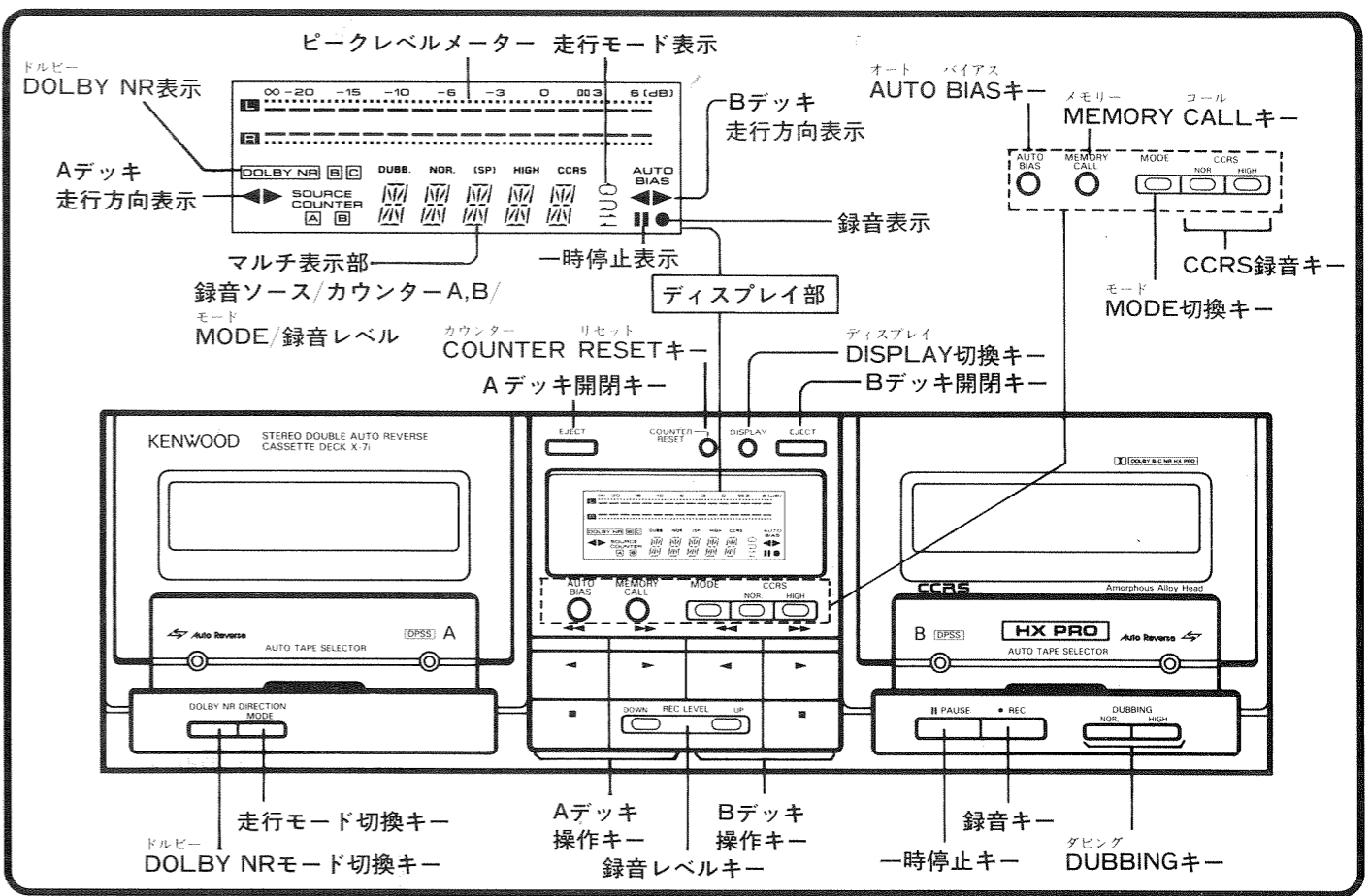
チューナー部



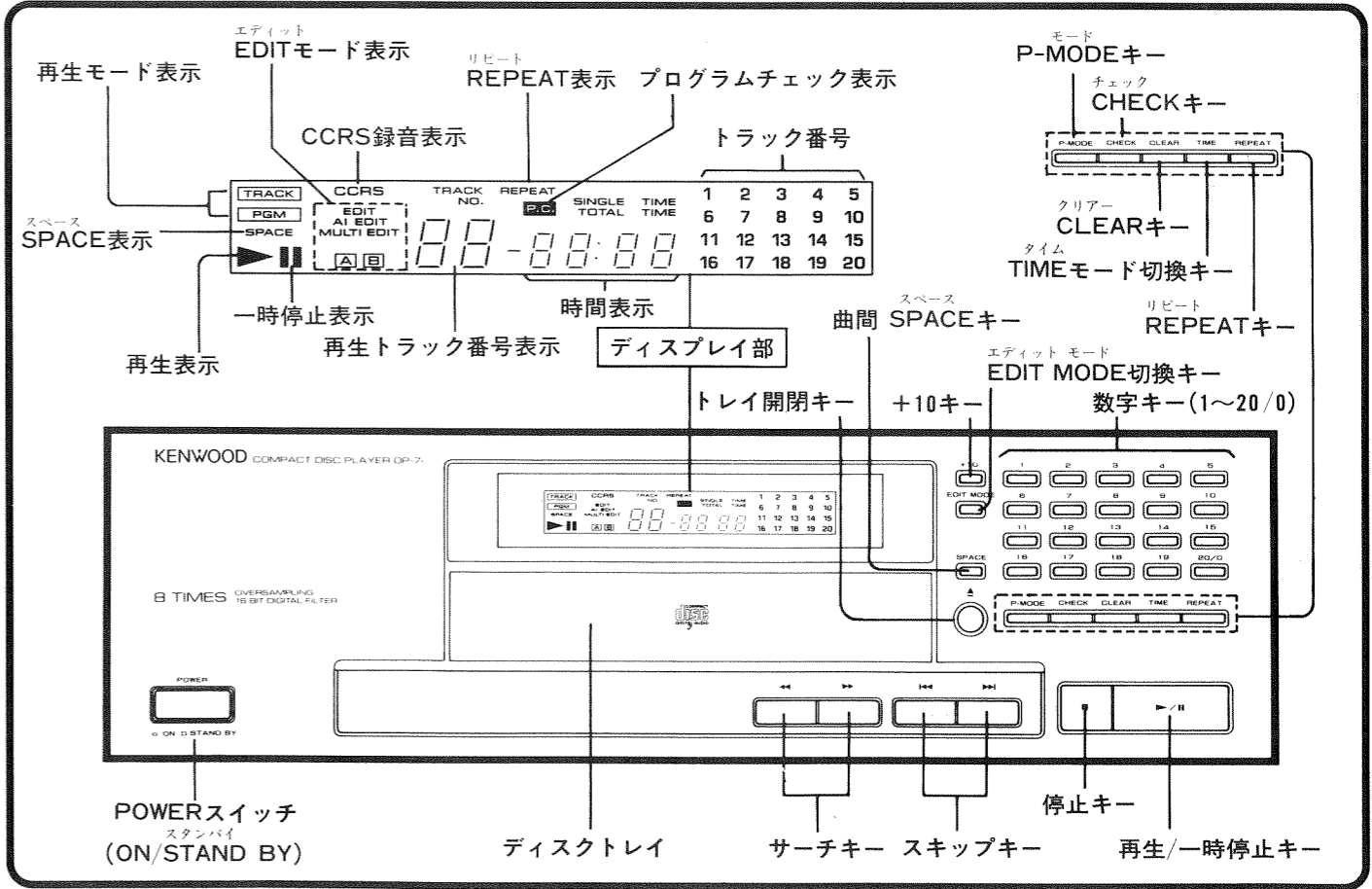
グラフィックイコライザー部



カセットデッキ部

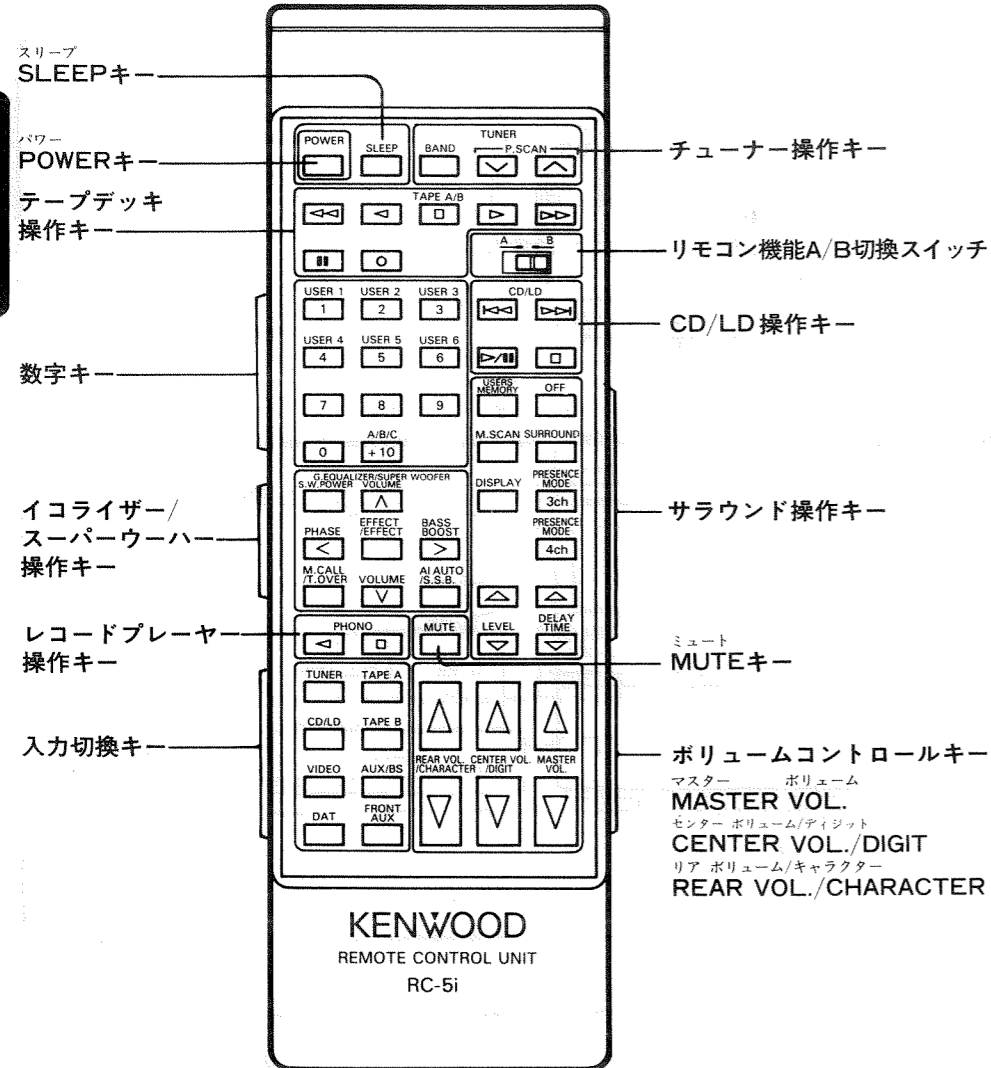


CDプレーヤー部



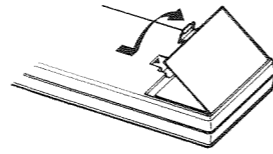
リモコンの使いかた

リモコンの使い方

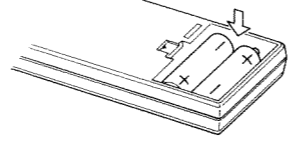


電池の入れかた

1 ふたを開ける

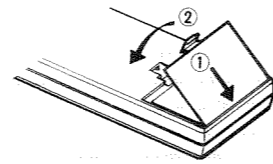


2 電池を入れる



単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

3 ふたを閉める



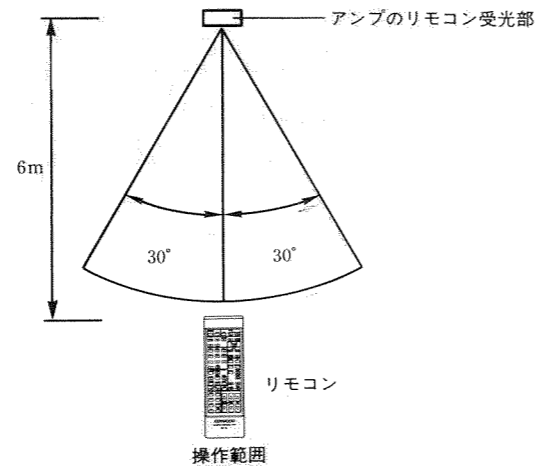
操作のしかた

アンプの電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWERキーを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したい機器のキーを押します。

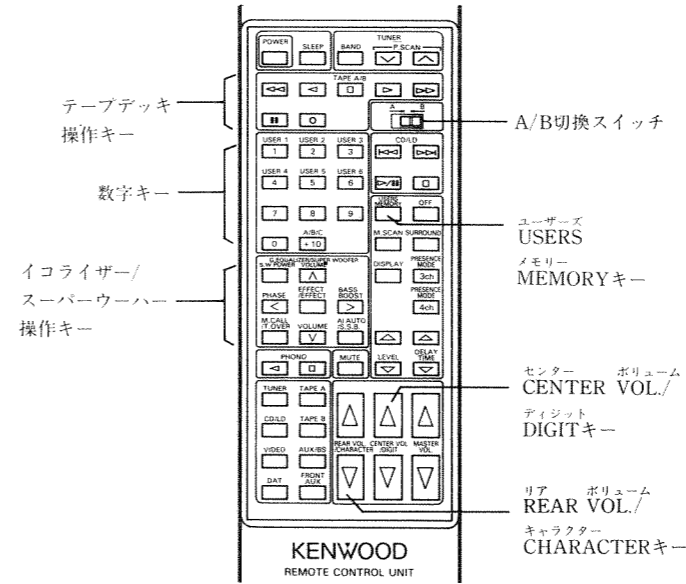
- リモコンの各操作キーを押してから次の操作キーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。
- レコードプレーヤーなど当社の製品でシステムコントロールでつながっている機器も操作ができます。その場合、レコードプレーヤーの取扱説明書を参照してください。

ご注意：

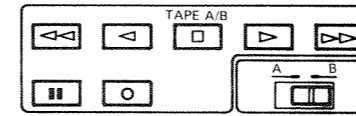
1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。



一部のリモコンキーは、用途に応じてキーの働きが変わりますのでご注意ください。



テープデッキ操作キーの使い分け

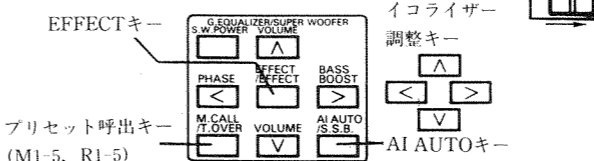


Aデッキを操作するときのA/B切替スイッチの位置
(●キーは無効)

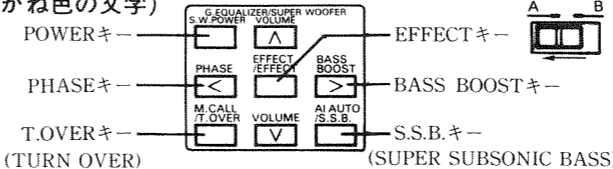
Bデッキを操作するときのA/B切替スイッチの位置

グラフィックイコライザー/スーパーウーハー操作キーの使い分け

グラフィックイコライザーを操作するとき：A/B切替スイッチ（白色の文字）



スーパーウーハーを操作するとき：A/B切替スイッチ（こがね色の文字）



数字キーと+10キーの使い分け

入力切替キーのCD/LDキーが押されたとき：

CDプレーヤーの数字入力キーと+10キーになります。

入力切替キーのTUNERキーが押されたとき：

チューナーの数字キーとして、また+10キーはチューナープリセットA/B/C選択キーになります。

USERS MEMORYキーによる使い分け

USERS MEMORYキーを押すと数字キー、REAR VOL.キー、CENTER VOL.キーの働きが換わります。ユーザープレゼンスネームの文字入力をするときに使用します。

1. 数字キー → USER(1~6)キー

ユーザープレゼンスのプリセットキーとして使用します。

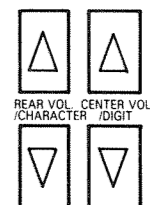
USER 1 1	USER 2 2	USER 3 3
USER 4 4	USER 5 5	USER 6 6

2. REAR VOL. → CHARACTERキー

ユーザープレゼンスネームの文字入力に使用します。

3. CENTER VOL.キー → DIGITキー

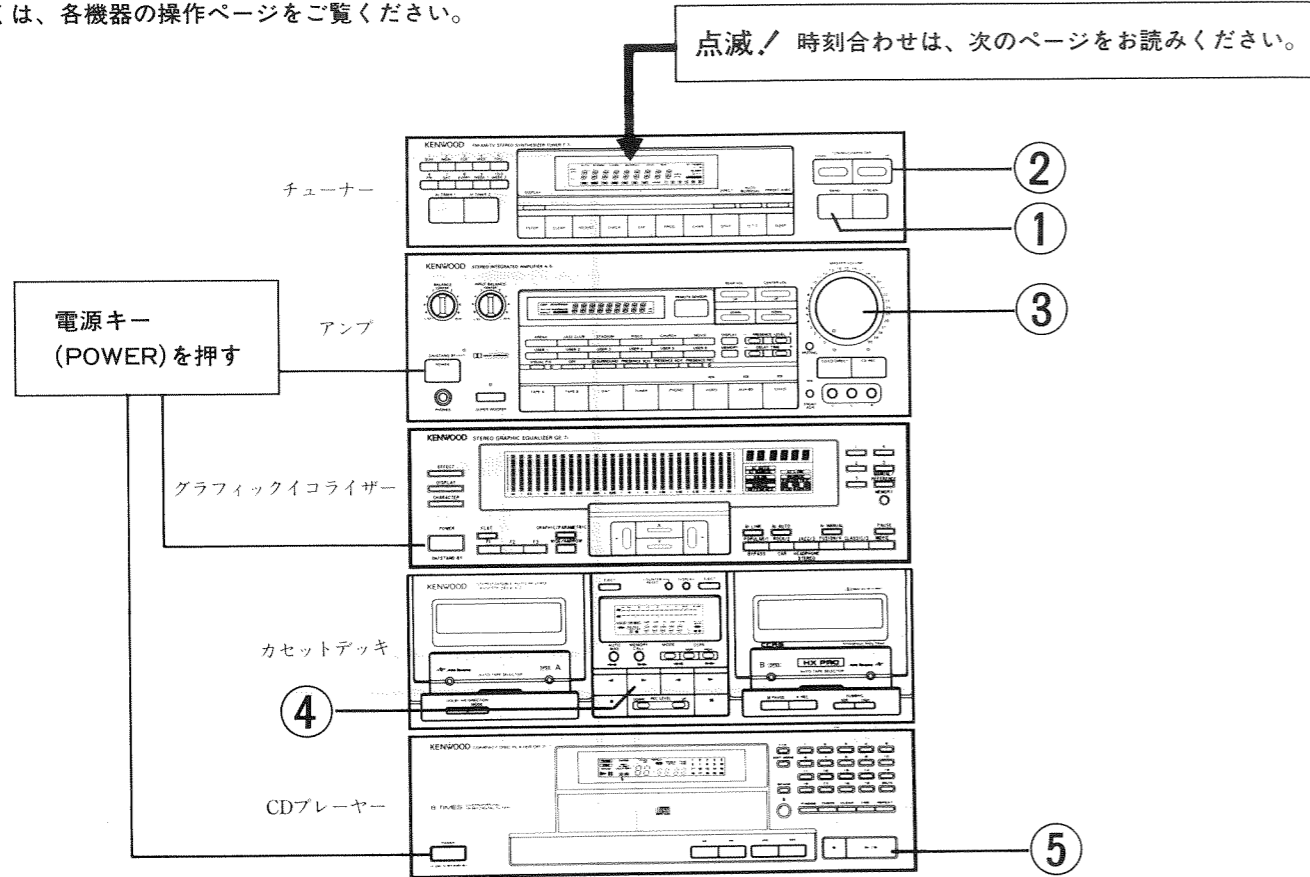
文字入力のけたを移すとき使用します。



リモコンの使いかた

音を出してみましょう

詳しくは、各機器の操作ページをご覧ください。



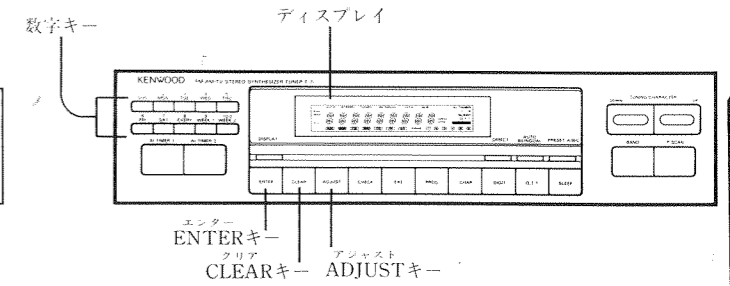
	放送をきくとき	テープをきくとき	CDをきくとき
1	チューナーを選ぶ BANDキー①を押し、放送バンドを選ぶ。 	テープをAデッキに入れる 	ディスクをトレイに入れる
2	放送局を選ぶ TUNINGのUP, DOWN②を押す。 	再生する 再生キー④を押す。 	再生する 再生キー⑤を押す。
3	音量を調節する <ul style="list-style-type: none"> ● MASTER VOLUMEつまみ③を右にまわして、音の大きさを決めます。 		

音が出ない場合は6ページ以降の接続のしかたを、もう一度確認してください。

時刻合わせ

チューナーには、時計機能がついています。プログラムタイマーを使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。

時計機能は年、月、日を入力すると曜日がわかるカレンダーチェックという機能もあります。(68ページをごらんください)



時刻合わせ

- ADJUSTキーを押す**

INPUT YEAR
YEAR 1990
- 西暦年を数字キーで入力し、ENTERキーを押す**
 1991年 : 1, 9, 9, 1と入力する →
 ● 数字キーを間違えて押したときは、CLEARキーを押して、やり直してください。

YEAR 1991
INPUT DATE
- 月、日を入力し、ENTERキーを押す**
 3月7日 : 0, 3, 0, 7と入力する
 12月30日 : 1, 2, 3, 0と入力する
 ● 数字キーを間違えて押したときは、CLEARキーを押して、やり直してください。

DATE 0101
DATE 1230
INPUT TIME
- 時刻を合わせる**
 午前9時5分 : 0, 9, 0, 5と入力する
 午後4時50分 : 1, 6, 5, 0と入力する
 ● 数字キーを間違えて押したときは、CLEARキーを押して、やり直してください。

TIME 09:05
TIME 16:50
- ENTERキーを押す**
 ● 時報と同時に押すと正確な時刻合わせができます。

TIME 16:50
END
時計が動き出します。

ご注意:

停電があったり、電源プラグをコンセントから抜いたときは時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

ディスプレイの表示とDISPLAYキー

DISPLAYキーを押すごとに、放送局を受信しているときは、周波数→放送局名→現在時刻→月日に切り換わります。年月日または時刻表示のとき、チューナーの選局に関するキーを押すと、自動的に周波数表示に切り換わり、数秒後、元の表示に戻ります。電源がOFFのときは、月日/時刻表示の切り換えになります。

アンプの操作

アンプの操作

スタンバイ
STAND BYインジケータ

アンプの電源キー (POWER) を押す。
●アンプのPOWERキーだけで基本システムの電源ON/OFFができます。

バランス BALANCEつまみ
表示部
ボリューム VOLUMEつまみ
ミュート MUTEキー
スーパー ウーハー SUPER WOOFERキー
入力切換キー
CD RECキー
CD/LD DIRECTキー

■音量を調節する

音量

リモコン

- リモコンで調節すると、キーを押している間、VOLUMEつまみのポイントインジケータが点滅しながら回転します。
- REAR VOL, CENTER VOLはサラウンド再生のとき以外には使えません。55~59ページの“サラウンドの再生”をお読みください。

一時的に音を消したいとき

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。

POWERキーのSTAND-BYについて

本機では電源プラグをコンセントに接続すると、電源ON/OFFに関係なくスタンバイインジケータが点灯します。これは電源OFF時にも、メモリの保護、およびタイマーを機能させるため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。スタンバイインジケータが点灯しているとき、リモコン操作によっても電源のON/OFFができます。

■左右の音量バランスを調節する

バランス

右側の音が小さくなる
左側の音が小さくなる

■入力ソースを切替える

目的の入力切換キーを押す

- DISPLAYキーで入力ソース表示を選んていなくても、入力切換キーを押すたびに約5秒間入力ソースを表示します。

アンプの入力切替とイーザーオペレーション機能について

アンプの入力切換キー (TAPE A, TAPE B, TUNER, PHONO, CD/LD) を押すだけで、選んだ機器が再生を始めます。逆に、ソースになる機器を再生させると、入力切換キーが自動的にその機器に切り換わります。リモコンでも同様に操作できます。なお、電源を入れたときは、電源を切る前にきいていた入力ソース (TUNER, CD/LDなど) になります。

■ヘッドホンで大きく

- ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む
●すべてのスピーカーから音が出なくなります。
- 音量を調整する
●プラグを抜くときは音量を絞ってから抜いてください。

■スーパーウーハーの使いかた

9ページのスーパーウーハーの接続が完了していること。

- SUPER WOOFERキーを押す
- スーパーウーハーの音量を調節する
リモコンかスーパーウーハーのボリュームコントロールで調節する
●スーパーウーハーの音量を一度決めると、あとはMASTER VOLUMEだけで、同じバランスのまま増減します。

CD RECキーについて

58ページの“CD RECキーの使いかた”をお読みください。

- PRESENCE RECキーと同時に使用できません。

■CD/LDダイレクト再生のしかた

CDは理想的な再生条件をそなえています。その音質を損なわないように再生するのがCD/LDダイレクト再生です。

- CD/LD DIRECTキーを押す
●サラウンドシステムは、OFF状態になります。
- CDプレーヤーを再生する
●入力切換キーの選ばれた位置に関係なくCD/LD DIRECTキーが優先されます。

解除するとき

再度CD/LD DIRECTキーを押すか、CD以外の入力切換キーを押します。

ご注意：
1. CD/LDダイレクト再生中は、サラウンドシステム、グラフィックイコライザーは働きません。
2. 録音中は押しても働きません。

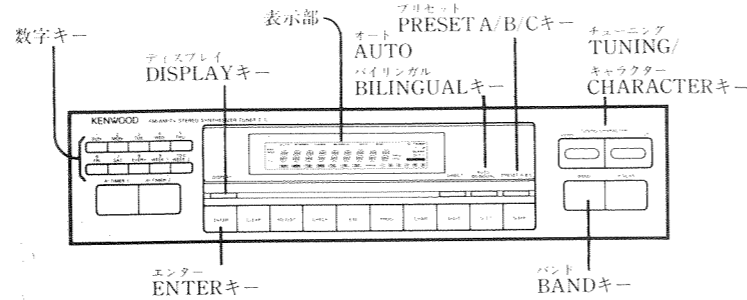
ドルビーサラウンド、DSPプレゼンスキーについて

55ページ以後の“サラウンドの再生”をお読みください。

アンプの操作

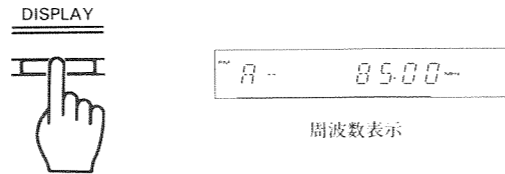
放送受信のしかた

■放送を受信し、プリセットする(記憶させる)



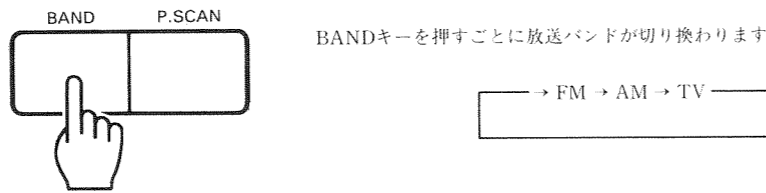
1 周波数表示にする

- DISPLAYキーを押すごとに周波数→放送局名→現在時刻→月日と表示が変わります。



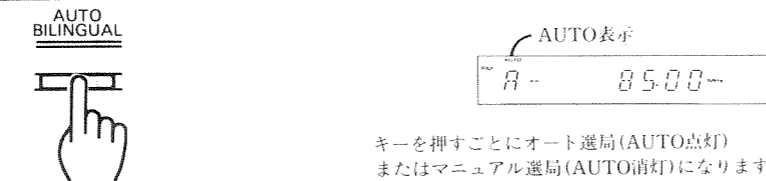
2 放送バンドを選ぶ

- 放送受信に関するキーを押すと表示は他の表示になっているときでも数秒間、周波数表示になります。



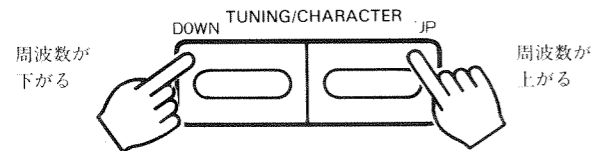
3 選局モードを選ぶ

- 通常はAUTO(点灯)にしておきます。



4 希望する放送局を受信する

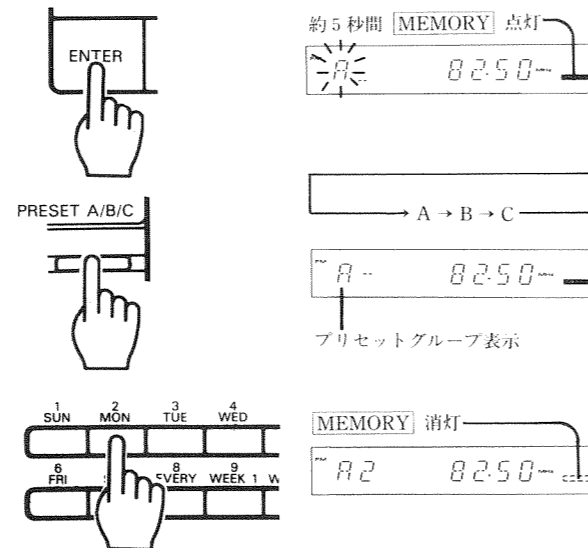
- 放送局を受信するとTUNEDが点灯する。
- 電波が弱く雑音が多いときは、マニュアルで受信してください。



オート選局のとき	マニュアル選局のとき
1回押す放送局を受信すると自動的に止まる	希望局を受信するまで繰り返し押す、または、押し続ける

5 放送局を記憶させる

- ENTERキーを押す
 - 放送バンドに関係なく、A、B、Cそれぞれのグループに放送局を10局ずつ記憶させることができます。
 - MEMORYが点灯しているうちに②、③を行います。
- プリセットグループ(A、B、C)の中から1つを選ぶ
- 数字キーを押す

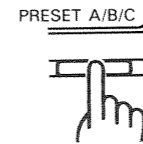


- すでにプリセットした数字キーを押すと、新しい放送局に変わります。

■プリセットした局を受信する

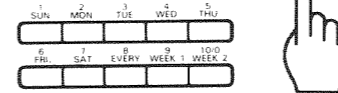
1 プリセットグループを選ぶ

A、B、Cのいずれか



2 希望する放送局を選ぶ

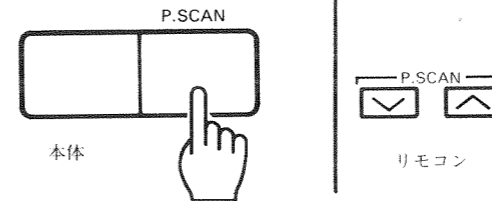
プリセットした数字キーを押す



- 受信した放送局の周波数、TVチャンネルを表示します。

■プリセットした局を順にきく(プリセットスキャン)

P.SCANキーを押す



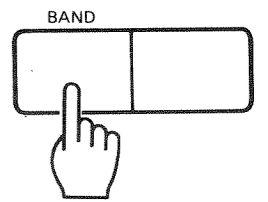
- 本体キーでは、押すごとにA1→A2...A10→B1...B10→C1→C10...の順でプリセットされている放送局を受信します。
- リモコンでは、△(UP)を押すごとにA1→A2...A10→B1...、▽(DOWN)は、A10→A9...A1→C10...の順で受信します。

■数字入力で受信する

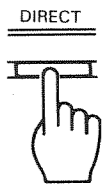
放送局の周波数がわかっているとき、数字キーで直接入力し、受信することができます。

1 放送バンドを選ぶ

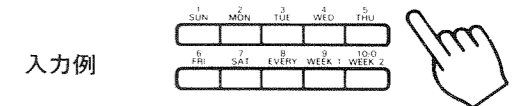
FM、AM、TVのいずれか



2 DIRECTキーを押す



3 受信したい周波数またはTVのチャンネルを数字キーで入力する



受信したい局	数字キーを押す順序
AM 810kHz	[8], [1], [0]
AM 1242kHz	[1], [2], [4], [2]
FM 80 MHz	[8], [0], [0]
FM 82.5MHz	[8], [2], [5]
TV 1チャンネル	[0], [1]
TV 8チャンネル	[0], [8]
TV 12チャンネル	[1], [2]

- 途中で間違えたときはCLEARキーを押し、やり直してください。

AUTO BILINGUALキーの使いかた

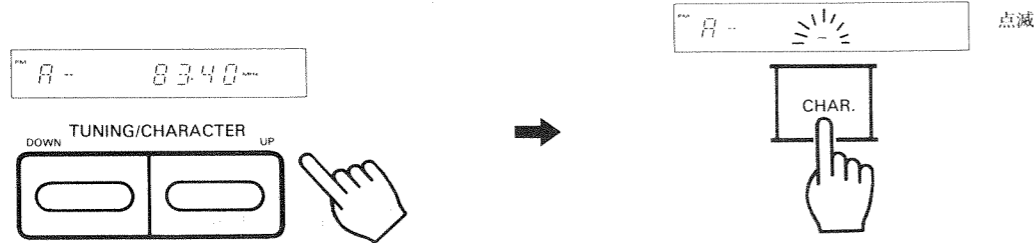
TV音声多重放送をきくとき				FM・TVのステレオ放送をきくとき	
AUTO BILINGUALキーで音声を切り換えます。				AUTO BILINGUALキーで切り換えます。	
TVのバイリンガル放送				TV・FMのステレオ放送	
点灯する表示		きこえる音声		点灯する表示	きこえる音声
TV	BILINGUAL MAIN SUB	AUTO	左スピーカーから主音声 右スピーカーから副音声	AUTO STEREO	ステレオ
TV	BILINGUAL MAIN --	AUTO	左右スピーカーから主音声		
TV	BILINGUAL --- SUB	AUTO	左右スピーカーから副音声	---	モノラル
TV	MAIN ---	---	左右スピーカーから主音声		

■放送局名を表示させる

文字や記号などを最大4文字まで表示できます。

例：FM 83.4MHzを受信し、“CBE”と文字を入力し、Aの3にプリセットするとき。

1 FM83.4MHzを受信し、文字入力待ち状態にする



2 表示したい文字を入力する

①表示する文字を出す



②確定する

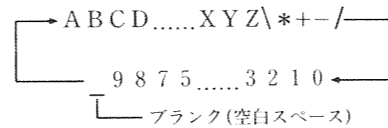


③手順①、②をくり返し、必要な文字を入力します。

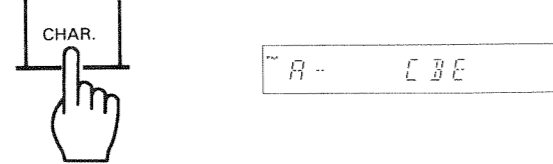
- “C”を入力するときはUP側を3回押します。
- スペースのときは、DIGITキーを押します。

入力できる文字の種類

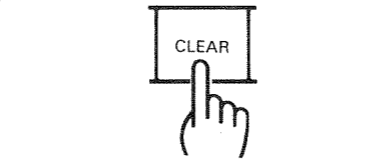
CHAR.キーを押したあと
TUNING/CHARACTERキーを押すと、文字が表示できます。



3 文字入力を終了する



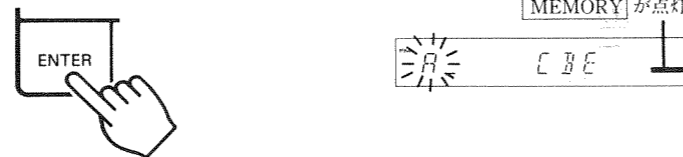
- 4文字入力した時は自動的に終了します。
- 3文字以内で終了するときは、確定後、CHAR.キーを押します。



途中で間違えたときは、CLEARキーを押して、1けた目からやり直します。

4 Aの3に記憶させる

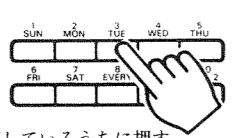
①ENTERキーを押す



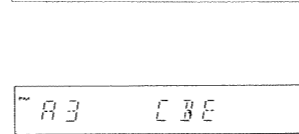
②プリセットグループ(A, B, C)を選ぶ



③数字キーで3を選ぶ



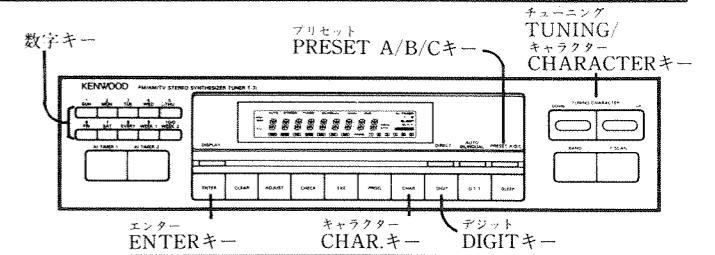
MEMORY が点灯しているうちに押す



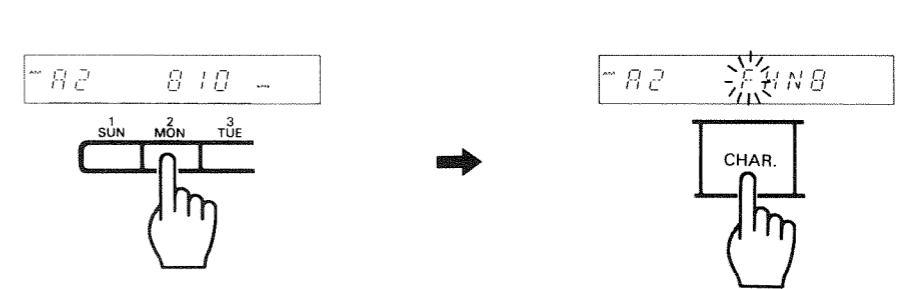
(プリセット終了)

■放送局名を変更する

例：Aの2にメモリーされている、“FHN8”という
AM810kHzの局名を“FEN”に変更するとき。



1 Aの2をプリセット選局し、文字入力待ち状態にする



2 点滅の次のけたに移す



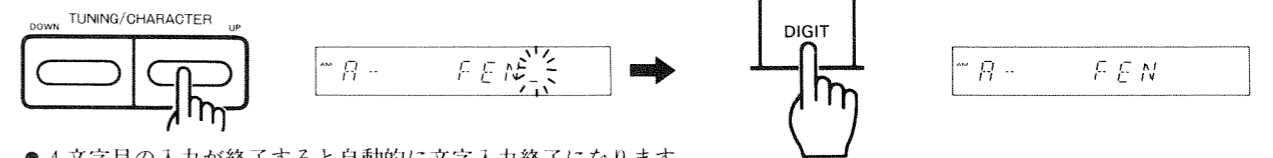
3 TUNING/CHARACTERキーで、“E”を選ぶ



4 点滅を2けた移す



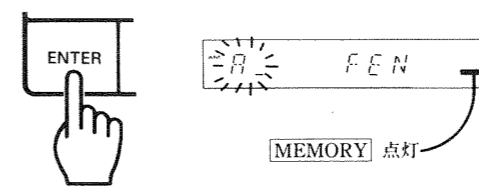
5 TUNING/CHARACTERキーで、ブランクを選ぶ



- 4文字目の入力が終了すると自動的に文字入力終了になります。

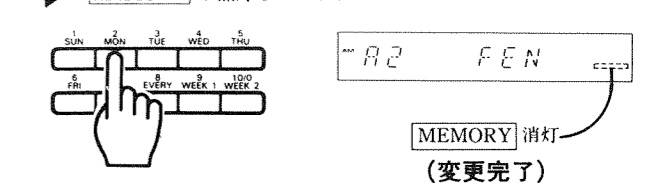
6 数字キーの2に記憶させる

①ENTERキーを押す



②数字キーで2を選ぶ

MEMORY が点灯しているうちに押す。



MEMORY 消灯
(変更完了)

グラフィックイコライザーの操作

本機は周波数を細かく調整できる本格的なグラフィックイコライザーです。リスニングルームの音響補正ができるだけでなく、次のようなAI（人工知能）機能により、音楽ソースに適した音質で聴くことができます。

1. DEMO (デモンストレーション)

順番にいろいろなカーブを表示し、耳で聞いてもわかるようにデモンストレーションをします。

2. AI-AUTO (CD専用)

ディスクの収録内容を自動的に確認、分析し、そのディスクに適したイコライザーカーブで再生します。

3. AI-MANUAL (すべての入力ソースが対象)

6種類の音楽ジャンルに5種類の推奨音質パターンを組合わせて、合計30種類の再生パターンがあらかじめ登録されており、音をきき比べながら簡単に選ぶことができます。同様に、30種類のコーステレオ用録音パターン、30種類のヘッドホンステレオ用録音パターンが簡単に選べます。

音楽ジャンルや再生・録音の目的に応じてイコライザーパターンを選択してご使用ください。

4. MANUAL/REFERENCEモード

REFERENCE：5つのプリセットパターンが登録されています。

MANUAL：同じく5つのプリセットパターンが登録されていますが、このモードでは、自分で作ったイコライザーパターンを登録（記憶）することもできます。それぞれ数字キーで簡単にイコライザーパターンを呼び出したり、登録するときに便利です。

5. GRAPHIC/PARAMETRICモード

PARAMETRIC：イコライザーカーブを低域・中域・高域ごとに手軽に調整できます。

GRAPHIC：イコライザーカーブを周波数ごとに細かく調整できます。あらかじめPARAMETRICモードで作ったカーブを利用して、さらに細かく調整することもできます。このモードは音響補正をより詳細に調整したいときにお使いください。

6. AI-LINK

アンプのD.S.P.プレゼンスモードを選ぶと、そのモードに最適なイコライザーカーブが自動的に選ばれ、プレゼンス効果を高めます。(57ページ参照)

7. CHARACTER

スペクトラムアナライザー表示のとき、再生している音楽のレベルや周波数分布の変化を4つの異なるパターンで表現します。

スペクトラムアナライザー 1 (ノーマル)：通常のスペクトラムアナライザー表示。

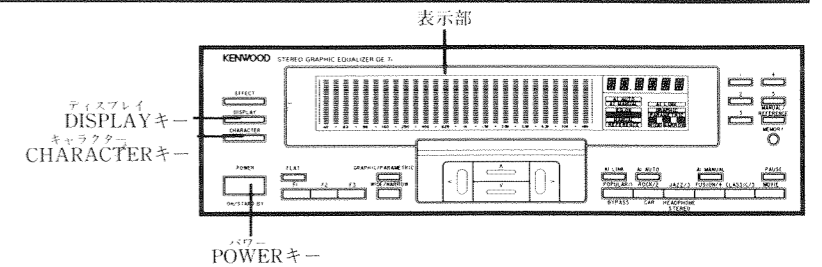
2 (シャワー)：ノーマルのリバーズ表示。

3 (水平)：縦を周波数、横をレベルとしてセンターを軸に左右対称に表示されます。

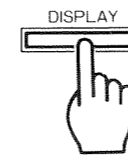
4 (シーズルー)：ピーク値だけを表示する。

アニメーション：周波数、レベルに関係なく、いろいろなパターンのディスプレイが表示されます。

AI：Artificial Intelligenceの略。ソースや音楽のジャンルに合わせて、人工知能が自動的に音質を調整します。



ディスプレイについて



DISPLAYキーを押すごとに、表示モードが順に切り換わります。

- カセットデッキで録音しているときはグライコ/スぺアナのみの切り換えになります。

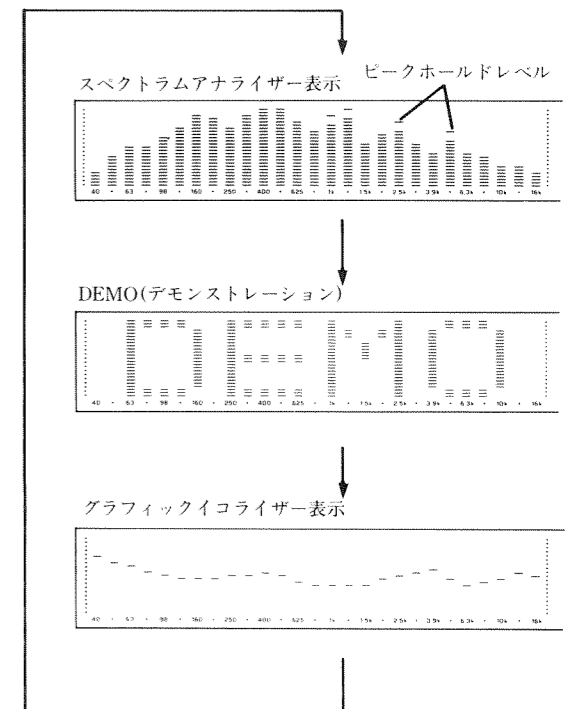
スペクトラムアナライザー表示

再生中の音楽ソースの周波数分布を、一目でわかるように表示します。各周波数ごとに変化しているレベルのピーク値が、瞬時変わります。

グラフィックイコライザー表示

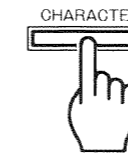
各周波数が、どのように補正されているかを表示します。スペクトラムアナライザー表示のときにも、以下の操作をしたときだけ、約5秒間、グラフィックイコライザー表示に変わります。

1. 電源を入れたとき
2. その他、イコライザー操作に関連するキーを押したとき。

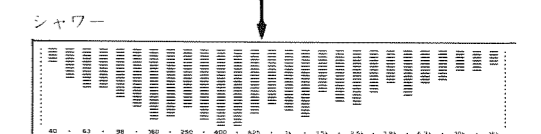
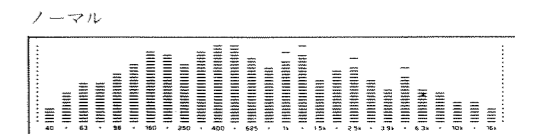
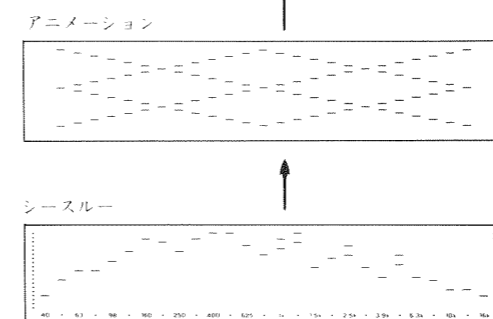


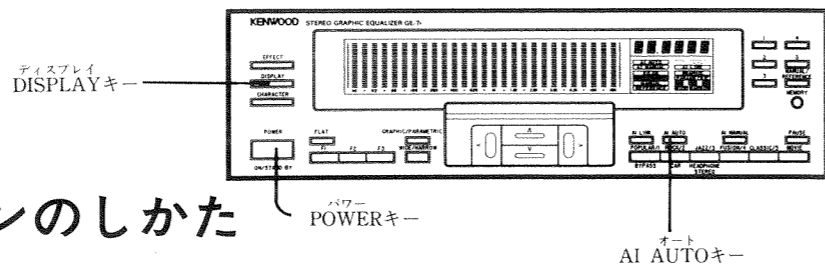
キャラクター表示

スペクトラムアナライザー表示のときにCHARACTERキーを押してください。



CHARACTERキーを押すごとに、表示モードが順に切り換わります。



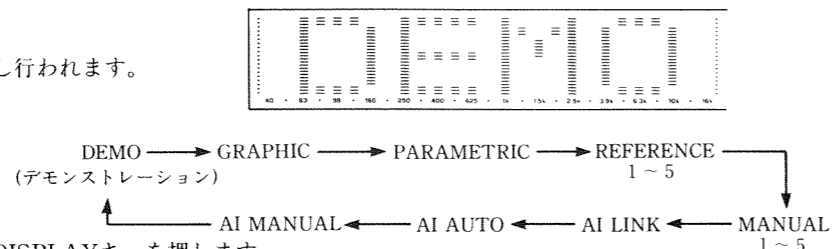
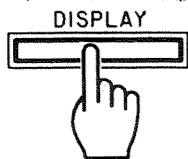


■ デモンストレーションのしかた

それぞれのイコライザー効果を目と耳で確認できます。

- ①音楽ソースを再生する
- ②DISPLAYキーでDEMOを選ぶ

次の順序でデモンストレーションが繰り返行われます。



- デモンストレーションを止めるときは、DISPLAYキーを押します。
- AI LINK DEMO中はアンプのD.S.Pモードも変わります。
- サラウンドモードのときデモンストレーションを行うと、デモの途中でサラウンドモードがOFFになります。

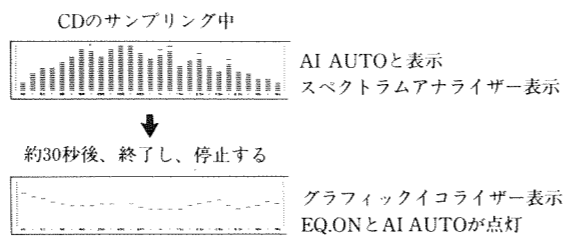
■ AI AUTOの使いかた (CD専用)

AI AUTOキーを押すだけで、そのディスクに合ったイコライザーカーブが自動的に設定されます。

1 CDプレーヤーにディスクを入れる



2 AI AUTOキーを押す



- 約30秒間、EQ.ONとAI AUTOが点灯するまでお待ちください。

CDプレーヤーが自動的に再生を始めます

ご注意：
AI AUTO 設定中は、AI AUTOキーとPOWERキー以外は機能しません。

AI AUTOを解除するとき



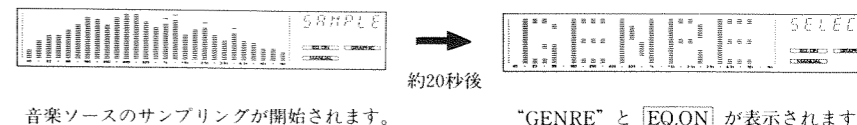
- ディスクトレイを開けたときも解除されます。
- AI AUTO設定途中に解除すると最後に選んでいたパターンが表示されます。
- AI AUTO設定終了後に解除するとカーブはフラットになります。

■ AI MANUALの使いかた

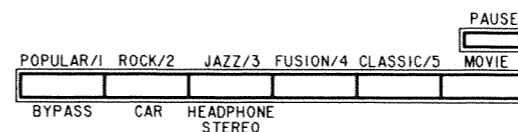
音楽ジャンルや、使用目的に合わせて90通りのイコライザーパターンが3段階で選べます。

1 音楽ソースを再生する

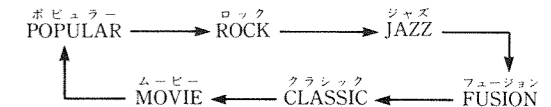
2 AI MANUALモードにする



3 音楽ジャンルを選ぶ



音楽ジャンルを選択するまでの間、ジャンル別パターンが(約7秒間)順次表示され、音質が変わります。

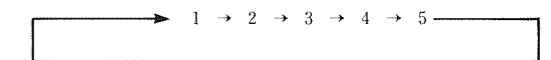


手順3または4で[PAUSE]キーを押すと、イコライザーパターンの繰り返しが止まり、そのときの音質が確認できます。また、再度[PAUSE]キーを押すと繰り返しが再開されます。

4 お好みの音質パターンを選ぶ



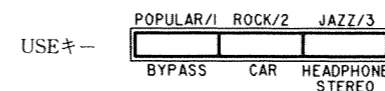
音質パターンを選択するまでの間、手順3で選んだジャンルの5つの音質パターンが順次表示され、音質が変わります。



パターン番号は、ジャンルキーと兼用です。

- 音質パターンを選ぶと、ディスプレイに“USE”の文字が表示されます。

5 使用目的を選ぶ



USEキーはジャンルキーと兼用です。

USEキーの主な使用目的

BYPASSキー：通常の再生録音用
CARキー：カーステレオ録音用
HEAD PHONE STEREOキー：ヘッドホンステレオ録音用
カーステレオ用、ヘッドホンステレオ用はさらにそれぞれの録音専用カーブとして合成表示されます。イコライザー効果かけた録音のしかたについては“録音のしかた”42ページをお読みください。

- USEキーを選びカーブが確定するとAI MANUALインジケーターが点滅から点灯に変わります。

AI MANUALを解除するには

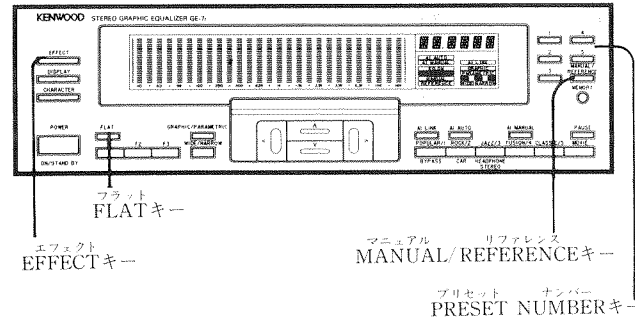


- AI MANUAL設定途中に解除すると最後に選んでいたパターンが表示されます。
- AI MANUAL設定終了後に解除するとカーブはフラットになります。

ご注意：
AI MANUALで再生中はAI MANUALキーとPOWERキー以外は機能しません。

MANUAL/REFERENCEの使いかた

10通りのイコライザーパターンを手軽に呼び出すことができます。REFERENCEモードのイコライザーパターンは倍速録音時に、自動的に対応してカーブが変わります。MANUALモードのイコライザーパターンは、主にDSPプレゼンス強調用(M1~M3)、カーステレオ用(M4)、ヘッドホンステレオ用(M5)として、ご使用ください。



1 音楽ソースを再生する

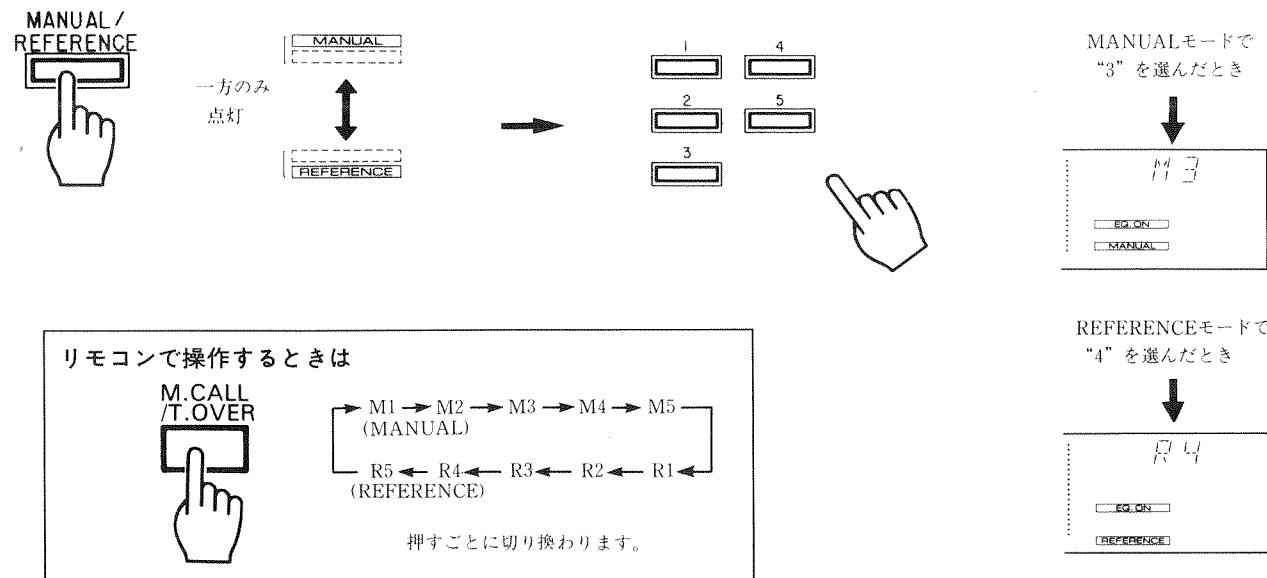
2 EFFECTキーを押す



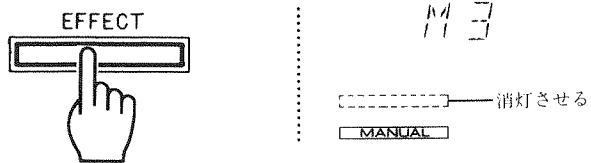
3 イコライザーパターンを選ぶ

① MANUALまたはREFERENCEにする

② お好みのパターンを選ぶ
(29ページのイコライザーパターン一覧表参照)

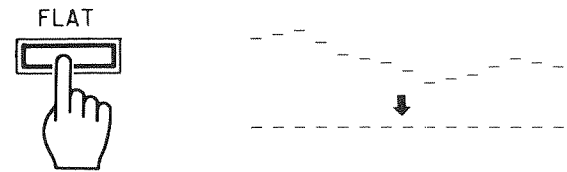


イコライザー効果を解除するには



●ディスプレイ上のパターンはそのままです。

FLATキーの使いかた

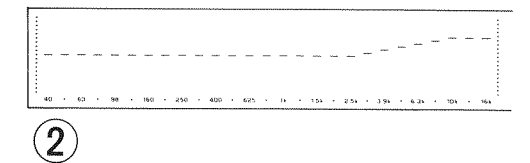
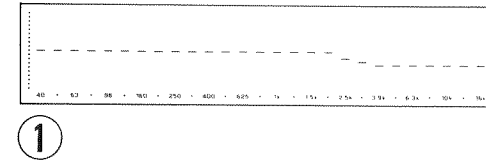


●FLATキーを押すと、カーブはフラット(平坦)になります。

イコライザーパターン一覧表

プリセット(R1~R5)イコライザーパターン(REFERENCE) 倍速CCRSにも、このモードが自動的に対応します。	プリセット(M1~M5)イコライザーパターン(MANUAL) このモードではプリセットに登録が可能です。
R1:(ソフト):BGMなど、耳に優しい音で聴きたいとき。	M1:(アンプのDSPがARENAのとき):ポピュラーやロック音楽を、低音、ボーカルを強調して聴きたいとき
R2:(クリアー):低域を抑えた、きらめくような音で聴きたいとき。	M2:(アンプのDSPがSTADIUMのとき):ポピュラーやロック音楽を、低音、ボーカル、高音を強調して聴きたいとき
R3:(ヘビー):ロックやフュージョンのような音楽を、より一層迫力ある音で聴きたいとき。	M3:(アンプのDSPがARENAまたはSTADIUMのとき):オーケストラの演奏を低音、高音を強調して聴きたいとき
R4:(スケール):よりエキサイティングな音で聴きたいとき。	M4:(カー):カーステレオ用に音質を調整して録音するとき。
R5:(倍速録音時のNR):刺激的中音域をカットし、ソフトな音で聴きたいとき。	M5:(ヘッドホン):ヘッドホンステレオ用に音質を調整して録音するとき。

R5の倍速録音のときのみの②のパターンになります。再生のときは①のパターンになり、ノイズリダクション機能として利用できます。



AI LINKキーの使いかた

アンプのD.S.P.プレゼンスキーに対応して使用します。



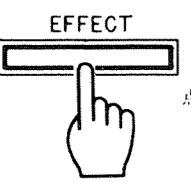
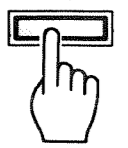
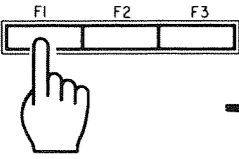
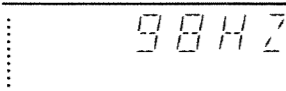
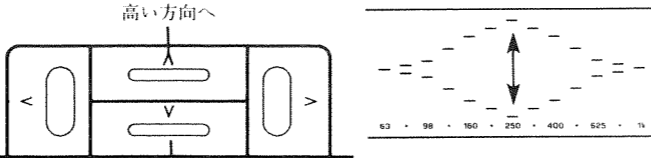
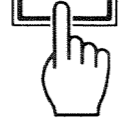
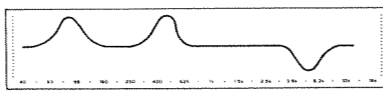
●アンプのD.S.P.プレゼンスモード(STADIUM, JAZZ CLUB, DISCO, CHURCH, ARENA, MOVIE)に最適なイコライザーカーブが自動的に選ばれ、プレゼンス効果を高めます。

自由にイコライザーパターンを作るには

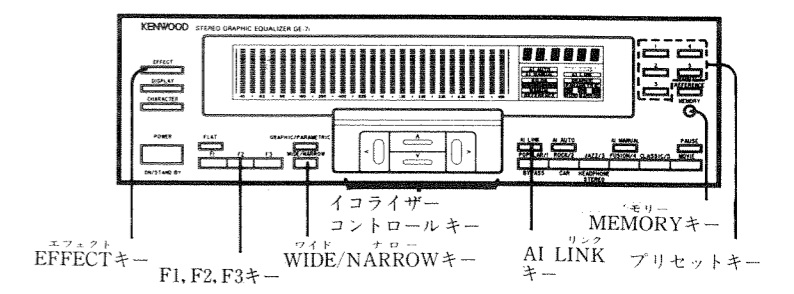
パラメトリック PARAMETRIC : ある周波数を中心とした音域のカーブが、低域・中域・高域の単位で手軽に作れます。また、調整したカーブの傾斜は、WIDE/NARROW(ゆるやかなカーブ/急なカーブ)のどちらかを選ぶことができます。

グラフィック GRAPHIC : イコライザーカーブが周波数ごとに調整できます。PARAMETRICで作ったカーブを利用して、さらに細かく調整(音作り)することができます。

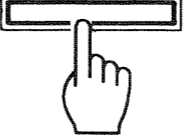
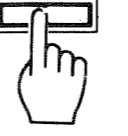
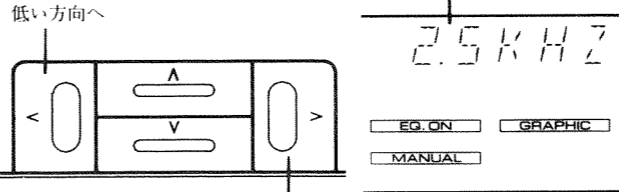
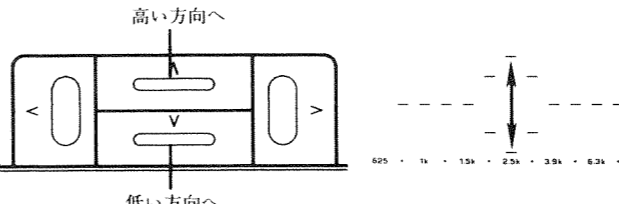
■ある周波数を中心とした音域のカーブを調整するには(パラメトリック)

- EFFECTキーを押す**

 点灯 → EQ.ON
- パラメトリックモードにする**

 PARAMETRICを点灯させる
- 調整したい中心周波数を選ぶ**
 ①音域を選ぶ

 F1表示 F2表示 F3表示
 ②周波数を選ぶ

 低い方向へ 高い方向へ
- レベルを調整する**

 ●FLATキーを押すと、フラットの位置から調整することもできます。
- 音域カーブの傾斜を選ぶ**
 WIDE/NARROW

 押すごとに切り換わります。
 WIDE(ゆるやかなカーブ) NARROW(急なカーブ)
 ●一度調整したカーブは、次に調整するときまで残っています。
- さらにF2, F3を調整するときは手順3~5を繰り返す**
 ●2つまたは3つのカーブが合計されると、数秒後に全体の合成カーブが表示されます。

 ●細かく調整(音作り)をするには、次ページの操作を行います。


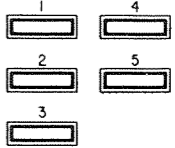
自由にイコライザーパターンを作るには



■周波数ごとに細かく調整するには(グラフィック)

- EFFECTキーを押す**

 点灯 ← EQ.ON
- グラフィックモードにする**

 EQ.ON GRAPHIC
 MANUAL ← 点灯
- 調整したい周波数を選ぶ**
 周波数が変化します

 低い方向へ 高い方向へ
- レベルを調整する**

 高い方向へ 低い方向へ
- 他に調整したい周波数があれば、手順3~4を繰り返す**

■自分で作ったパターンの記憶のしかた

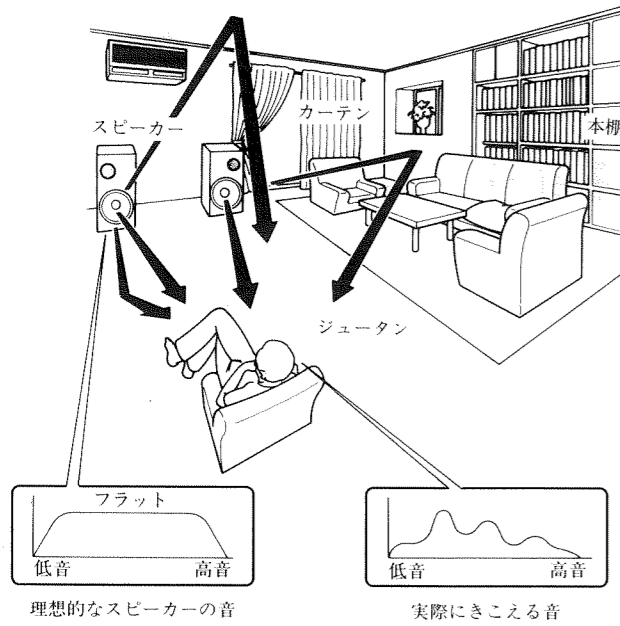
- 好きなイコライザーパターンを作る**
 ●ディスプレイに表示されているイコライザーパターンは、すべて記憶することができます。
 ●AI AUTO, AI MANUAL作動中は記憶できません。
- イコライザーパターンを記憶させる**
 ①MEMORYキーを押す

 点灯 → EQ.ON GRAPHIC MANUAL
 ②プリセットキーを押す

 MEMORYが点灯中に押す
 ●押された番号のプリセットキーに記憶されます。
 ●同様にして、5つまで記憶できます。
 ●すでに記憶されているプリセットキーを押したときは、新しい記憶内容に変わります。

自由にイコライザーパターンを作るには

自分で作ったパターンを記憶したあと、初期設定パターン(ページのプリセットM1~M5)に戻したいとき
 戻したい番号のプリセットキーを5秒以上押し続ける

ご注意:
 “グラフィック”から“パラメトリック”に切り換えると、グラフィックで作ったイコライザーパターンは消去されます。

グラフィックイコライザーのはたらき



リスニングルームの音響補正

リスニングルームは様々なものが置いてあり、音を反射したり、吸収したりして、実際にきこえる音が、かなり変化します。低域から高域までフラットにきこえるようにグラフィックイコライザーで周波数特性が調整できます。

- ベッドやイスなどで低音が吸収されやすい。
- カーテンなどが高音が吸収されやすい。
- 部屋の構造で低音がこもったり、周波数によって音が大きくなったり、小さくなったりする。

お好みに合わせて

色々な楽器や音声が一緒にきこえるとき、特定な楽器や音声を強調したり、弱めたりすることができます。

音質調整について

重低音域の調整 (32Hz~55Hz)

これらのレベルコントロールを上昇させると、低音域の楽器、たとえばダブルベース、バスドラム、パイプオルガンなどがどっしりした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられるときは、適当と思われるところまで下降させます。

低音域の調整 (90Hz~150Hz)

日本の建築様式では、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、プーミーな感じになりやすいものです。したがって、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。

中低音域の調整 (240Hz~400Hz)

音楽の基礎となるこの音域の音はやせているとか、豊かだと感じられるところ。もの足りない音だと思われるときには、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。

中音域の調整 (620Hz~1kHz)

この中音域を調整すると、バリトン・ソプラノなどの人の声が入っている曲では、歌手の声が前に出たり、奥にひっこむような感じになり、臨場感に大きな影響を与えます。音の奥行と深みに関係する帯域です。

中高音域の調整 (1.5kHz~2.5kHz)

この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられるところ。うまく調整すれば、爽快さとか明るさが出てきますが、反面うるさい感じになることもあります。

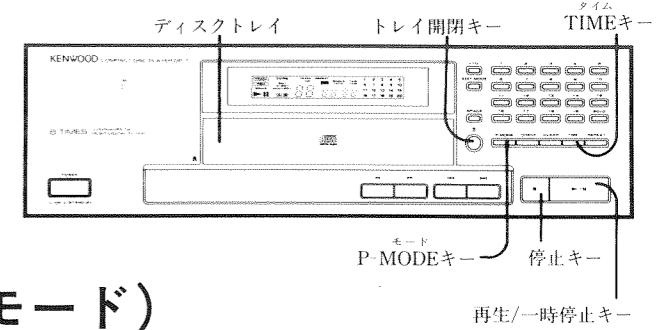
高音域の調整 (4.2kHz~6.8kHz)

この周波数帯域は、かたい感じとか、やわらかい感じといわれるところ。上昇させると弦楽器 (バイオリンなど) や管楽器 (フルート、ピッコロなど) が強調され、艶のある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。

超高音域の調整 (10kHz~15kHz)

この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところ。上昇させると超高音域の楽器 (トライアングル、シンバルなど) が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

CDのききかた



CDを初めからきく (TRACKモード)

1 アンプの入力切換をCDにする

2 ディスクを入れる

- ①トレイを開ける → ②ディスクを入れる → ③トレイを閉める

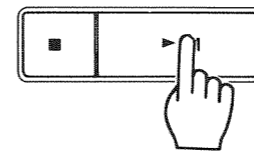


3 再生を始める



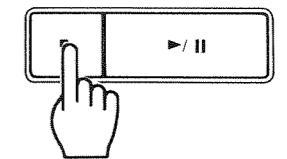
● 数秒後に1曲目から再生します。

一時停止する



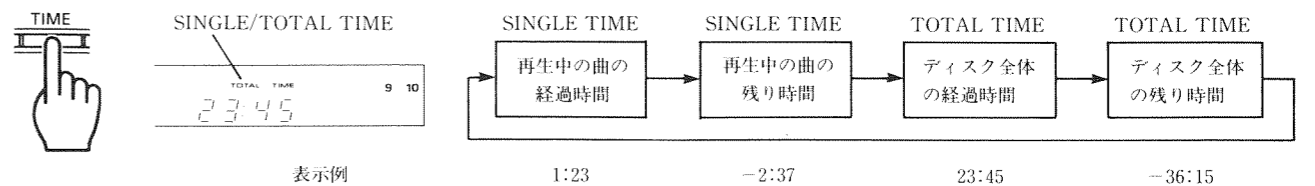
再生に戻るときは、もう一度 [] キーを押す

再生を止める



TIMEキーについて

再生中の曲の経過時間・残り時間を知りたいときは、[TIME]キーを押してください。押すごとに、ディスプレイは下の図のように切り換わります。ただし、44曲目以降の曲の再生のときは、時間表示が“—:—”になります。



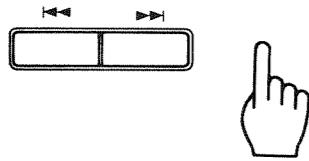
自由にイコライザーパターンを作るには

CDのききかた

好きな曲からきく

スキップ: 飛び越して曲の頭から再生を始める

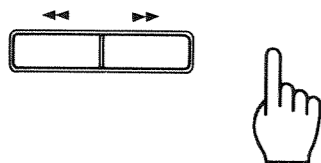
飛び越したい方向のスキップキーを押す



- 再生中に **スキップ** を1回押すと、再生している曲の初めに戻り、もう一度同じ曲をきくことができます。

サーチ: 曲の途中で手を離れたところから再生する

早送り・早戻ししたい向きのサーチキーを押す

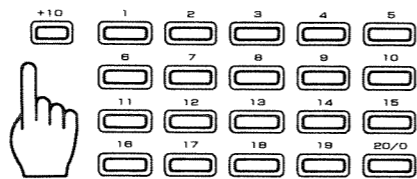


- 押し続けるとさらに早くなります。

ダイレクト: 選んだ曲以降を再生する (TRACKモードのみ)

- TRACKモードであることを確認する
PGMが点灯しているときはP-MODEキーを押す

- ききたい曲番を選ぶ



入力例

23曲目は、**+10** を2回押してから**3**を押す
40曲目は、**+10** を4回押してから**20/0**を押す

- 20/0**キーは、曲番の“20”を選ぶとき、または、30、40などの“0”を指定するときに使用します。

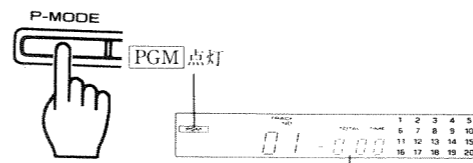
ご注意:

- トレイを開けた状態でディスクにない曲を選ぶとディスクの最後の曲を再生します。
- トレイを閉めたあと、または再生が始まってからは、存在しない曲は受け付けません。

好きな曲を好きな順番できく (PGMモード)

- PGMモードにする

P-MODE キーを押す

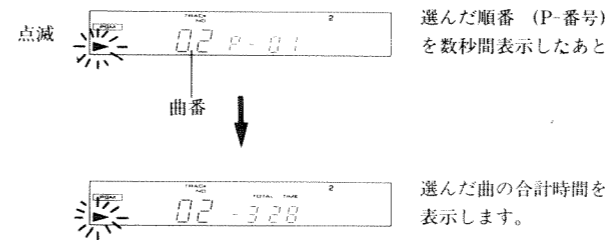


SINGLE TIMEからTOTAL TIMEに変わります。

- 好きな曲を順に選ぶ

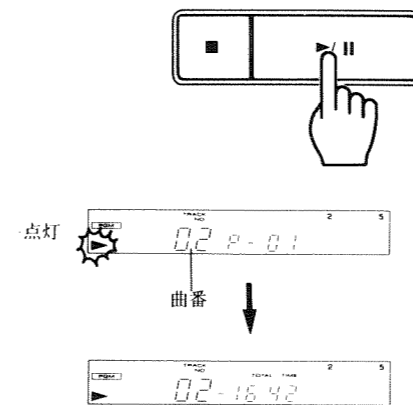
例: 2, 5, 25曲目を選ぶとき

数字キーで**2**, **5**, **+10**, **+10**, **5**の順に押す



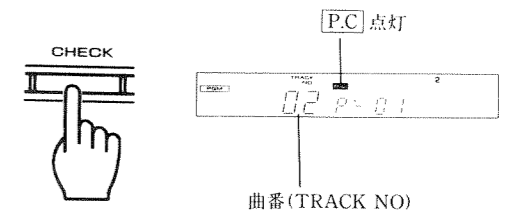
- 20曲まで選べます。20曲になると“FULL”と表示します。
- 間違えたら、CLEAR キーを押して、選び直してください。
- トレイを開けた状態で、ディスクラベルを見ながら選ぶこともできます。
- 曲番44以降を選んだ場合は、時間を表示しません。

- 再生する



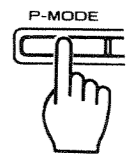
- 選んだ順に (P-番号) に再生します。
- 再生中にスキップキー **スキップ** または **スキップ** を押すと、押した方向へ飛び越します。

選曲の順番を確認するとき



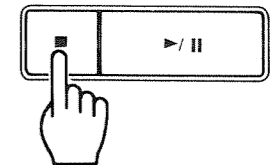
- 押すごとに選んだ順番 (P-番号) と曲番を表示します。
- 数秒後に元の表示に戻ります。

曲番順の再生にするとき



- 再生中の曲から曲番順の再生に戻ります。

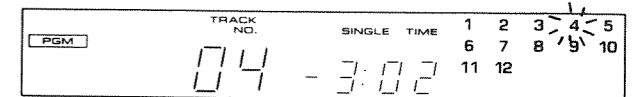
再生を止めるとき



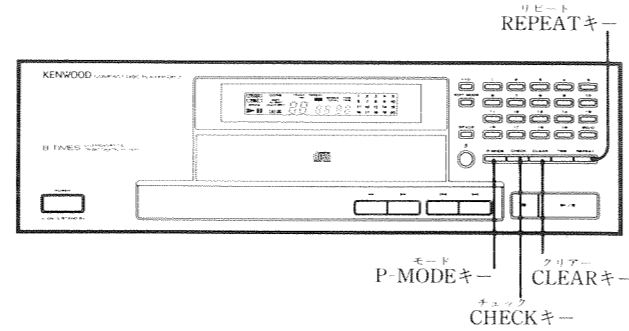
曲ごとの再生時間を知るには

PGMモードで、停止中にスキップキー **スキップ** を押すと、1曲目から順に再生時間が表示されます。

- 数秒後に元の表示に戻ります。

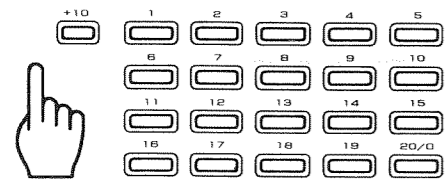


- 選んだ順に (P-番号) に再生します。
- 再生中にスキップキー **スキップ** または **スキップ** を押すと、押した方向へ飛び越します。



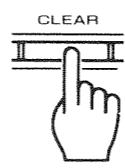
■ 選ぶ曲を追加する

追加したい曲番を選ぶ



■ 選んだ曲を取り消す

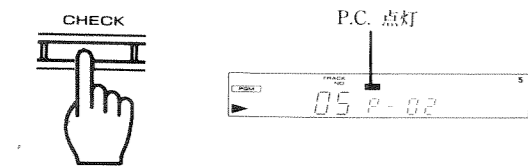
後ろから順に消していく



- 1回押すごとに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

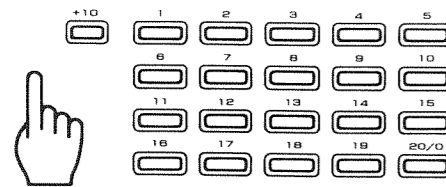
■ 選んだ曲を変更する

1 CHECKキーを押す



変更したい曲番号になるまで繰り返し押す

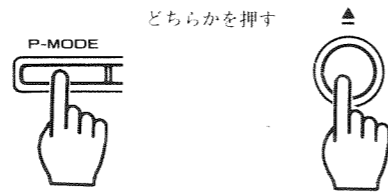
2 変更する曲番を押す



[P.C.]の点灯中に押す

- 再生している曲は変更できません。

全部消す



オートスペース機能について

PGMモードのときSPACEキーを押すと、曲と曲の間に約4秒間の音のない部分が自動的に作られます。これはカセットデッキのDPSSのためのものですが、クラシック音楽や、ライブ音楽など、曲と曲がつながっているものでも無録音部分を作ることがあります。

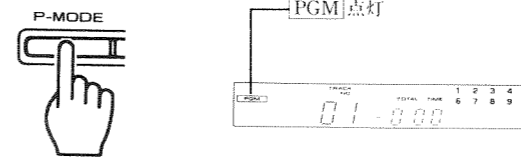


- 総所要時間表示は、スペース時間を加えた表示になります。
- 解除するときは、再度[SPACE]キーを押します。
- TRACKモードでは機能しません。

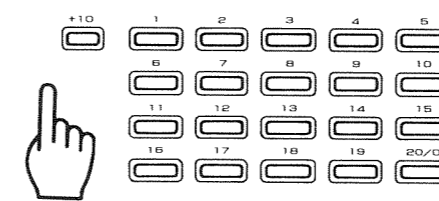
■ 繰り返しきく(リピートプレイ)

選んだ曲の繰り返し

1 PGMモードにする

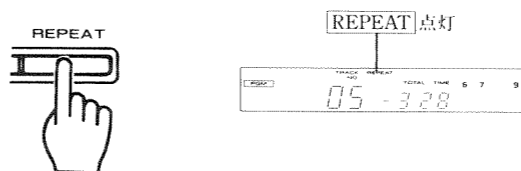


2 好きな曲を選ぶ

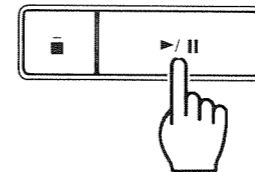


- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 一曲を選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

3 REPEATキーを押す

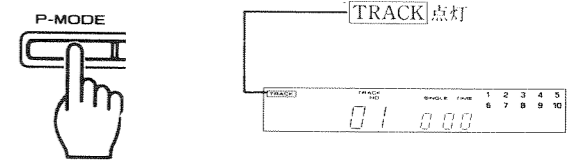


4 再生する

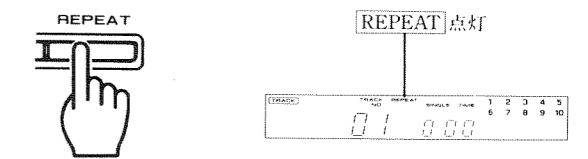


ディスク全部の繰り返し

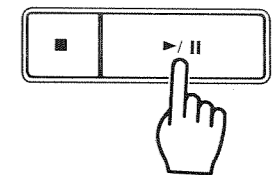
1 TRACKモードにする



2 REPEATキーを押す

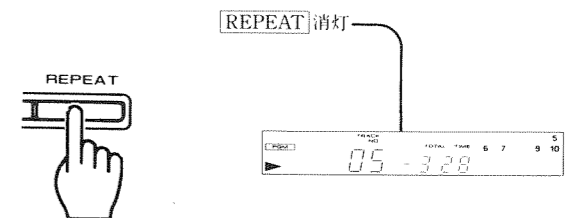


3 再生する



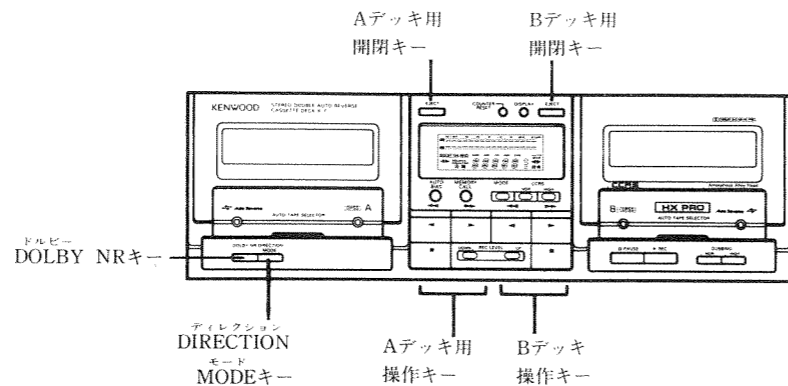
普通の再生に戻るには

[REPEAT]キーを再度押す



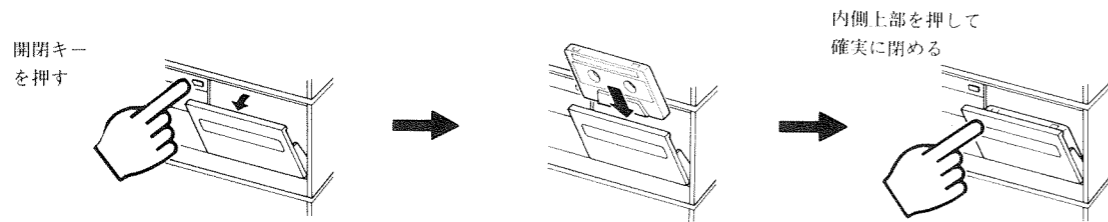
- CDプレーヤーのモードに従った再生になります。
- EDIT設定後、およびCCRSで録音中はリピートは働きません。

カセットテープのききかた



■テープの再生

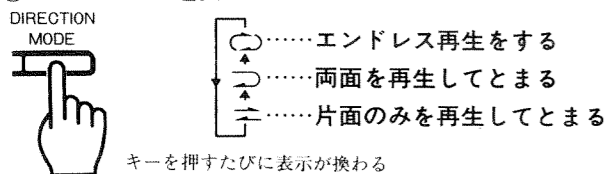
1 カセットテープを入れる



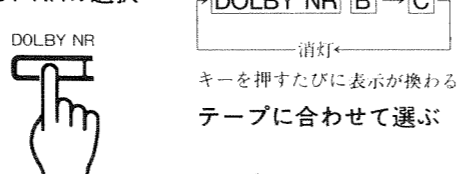
- ノーマル、クローム、メタルのテープ選択は自動設定されます。
- テープはたるみのない状態に入れてください。

2 再生条件を決める

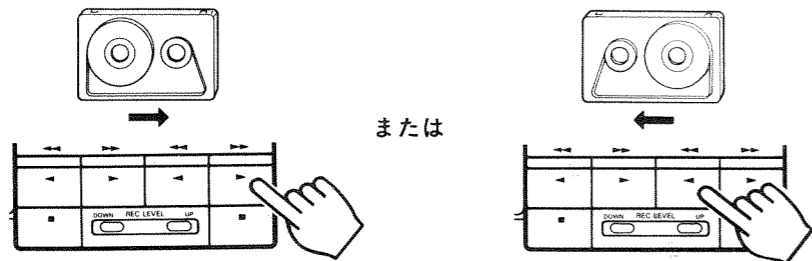
①再生モードの選択



②DOLBY NRの選択



3 再生する



再生を止めるときは、**■**キーを押してください。 ●テープが完全に停止するまで、開閉キーを押さないでください。

ドルビーノイズリダクション [NR] システムについて

ドルビーNRシステムは、テープ再生の際に発生する「サー」というテープヒスノイズを、聴感上、極力小さくするためのシステムです。ドルビーNRシステムは、録音時と再生時とが同じ方式を使用することで初めて効果が得られます。異なった方式で再生すると正しい音質での再生音を得られません。必ず録音時と再生のドルビーNR方式を合わせてください。

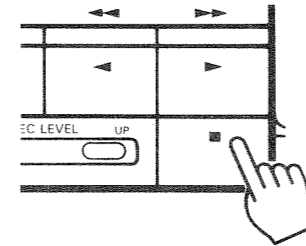
ドルビーB NR：一般普及型のドルビーNR方式として、一般家庭用機器でドルビーNRシステムといえばドルビーB NRを指します。

ドルビーC NR：ドルビーB NRタイプに比べ、さらに優れたタイプ低減効果が得られます。本機だけで録音再生するときはドルビーC NRの利用をおすすめします。

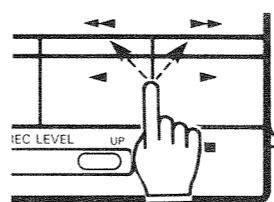
ドルビーNRシステムで録音したテープには「B」「C」の区別を明記しておきましょう。

■早送りのしかた

1 再生を止める

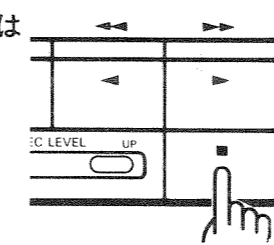


2 ◀◀キー、または▶▶キーを押す



◀◀ 左方向に早送りする ▶▶ 右方向に早送りする

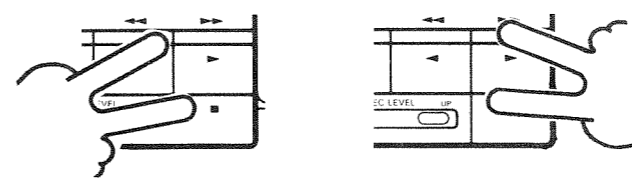
早送りを止めるには



■ゼロストップのしかた

2つのキーを同時に押す

リモコンではできません



◀◀ 左方向に早送りする ▶▶ 右方向に早送りする
●カウンターの0000付近まで早送りして止まります。

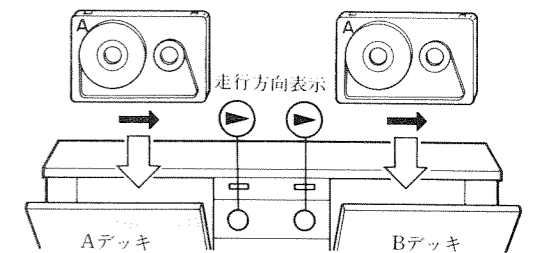
走行方向表示

再生、または録音するテープが進む方向を◀▶表示で示します。最後にテープを止めたときの方向が、電源を切ってもそのまま保持されます。イーザーオペレーション等で自動スタートするとき表示の方向にスタートします。走行方向を変えて止めたいときは、反対向き再生キーを押してから止めてください。

■リレー再生のしかた

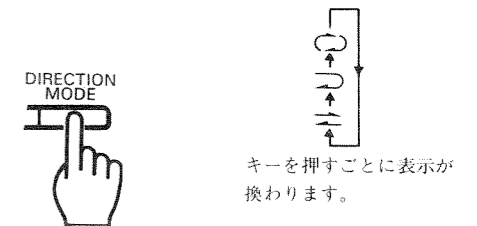
A, B両デッキに入れたテープを交互に繰り返し再生します。

1 テープを入れる



●テープはディスプレイの走行方向表示の向きの面を再生します。

2 再生モードを選ぶ

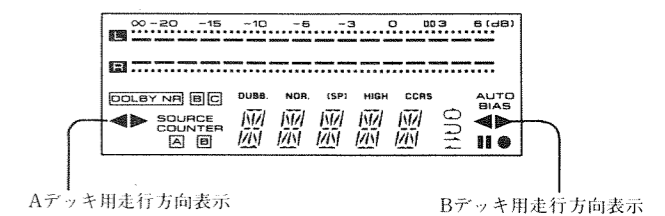
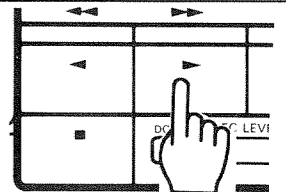


キーを押すごとに表示が換わります。

◻…A, Bデッキの両面を繰り返し再生します。
◻…A, Bデッキの片面のみを繰り返し再生します。
●◻になっていとりレー再生になりません。

3 再生する

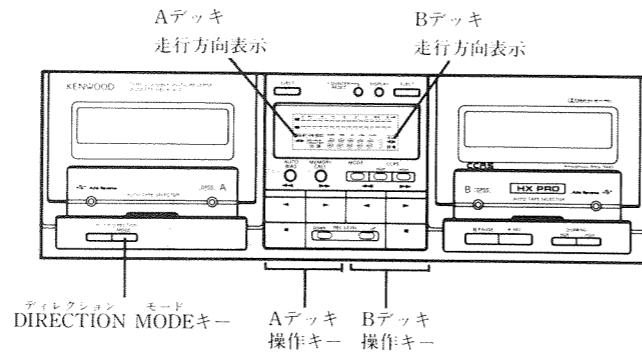
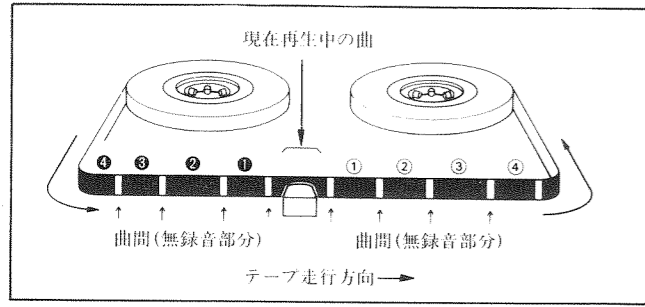
●押したほうのデッキから再生を始めます。



DPSSの使いかた

DPSS(Direct Program Search System)機能により、操作キーで指示を与えると、以下のような便利な使いかたができます。(両デッキ同時にはできません。) DPSSは曲と曲の間の4秒以上の無録音部分を検出して機能します。

1. 飛越選曲 : 再生中に数曲先の曲(または前の曲)を選ぶと、途中の曲を飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。最大16曲まで飛越選曲することができます。
2. 1曲リピート再生 : 同じ曲を16回繰り返し再生します。
3. 巻戻し再生 : テープを巻き戻し、テープの初めから再生します。
4. ダッシュ&プレイ : テープの途中に10秒以上の無録音部分があると、その間を早送りしながら、繰り返し再生します。

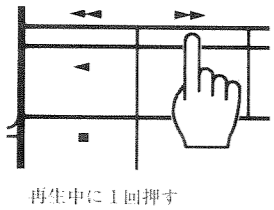


飛越選曲

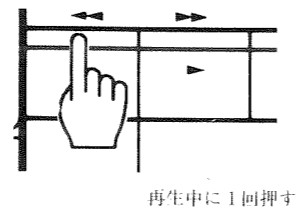
下の図は走行方向表示が▶のときの例です。

走行方向表示の向きが◀のときは、いずれの場合も図とは反対方向のキーを押します。

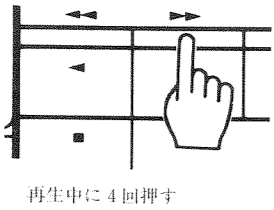
1 曲先の曲をきくとき



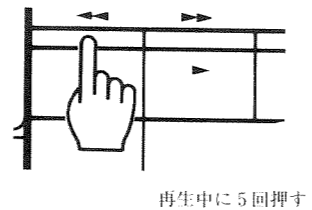
再生中の曲を初めからきくとき



4 曲先の曲をきくとき



4 曲前に戻してきくとき



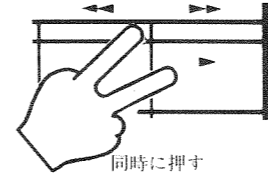
次のようなテープでは、DPSSは正常に動作しません

- 会話、落語などで、音声か4秒ぐらい途切れるテープ。
- クラシック音楽など、曲のなかで極端にレベルの低い部分や、無録音部分があるテープ。
- 曲間に大きな雑音などが録音されているテープ。
- 曲間が4秒未満のテープ。
- 低いレベルで録音されたテープ。
- X.FADE録音されたテープ。

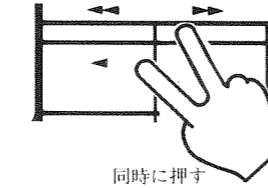
巻戻し再生するには

リモコンではできません。

走行方向表示の向き：▶



走行方向表示の向き：◀

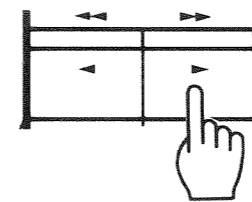


1 曲リピート再生するには

1 繰り返したい曲を再生する

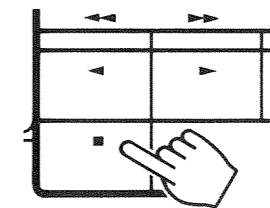
2 同じ方向の再生キーを押す

走行方向表示の向きが▶のとき



- 同じ曲を16回繰り返したあと、通常の再生に戻ります。

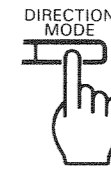
途中で解除するには



ダッシュ&プレイのしかた

無録音部分を自動的に早送りして再生します。リモコンではできません。

1 再生モード(条件)を決める



キーを押すごとに表示が換わります。

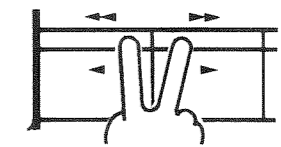
“◁”のとき……両面8回繰り返し再生して停止する。

“▷”のとき……両面1回のみ再生して停止する。

“≡”のとき……片面のみ8回繰り返し再生して停止する。

- “▷”のときテープが両方のデッキに入っているときは、片方のデッキがダッシュ&プレイを終えると、他方のデッキがダッシュ&プレイを始め、16回繰り返して停止します。

2 ◀ キーと ▶ キーを同時に押す



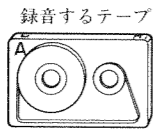
録音のしかた(Bデッキのみ)

本機はDOLBY HX Pro headroom extensionとオートバイアス機能により、高域特性の優れた録音ができます。

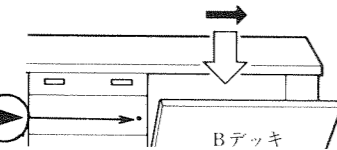
■普通の録音

1 カセットデッキの準備をする

① Bデッキにテープを入れる



② 走行方向を合わせる



③ 録音する面を選ぶ

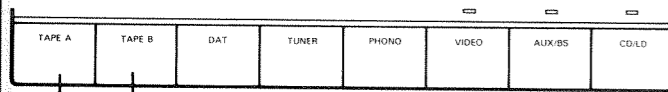


○、○: 両面録音のとき
○、○: 片面録音のとき

④ DOLBY NRを選ぶ



2 録音する音楽ソースを選ぶ

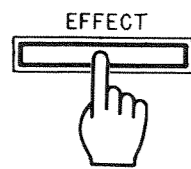


録音ソースにはなりません。

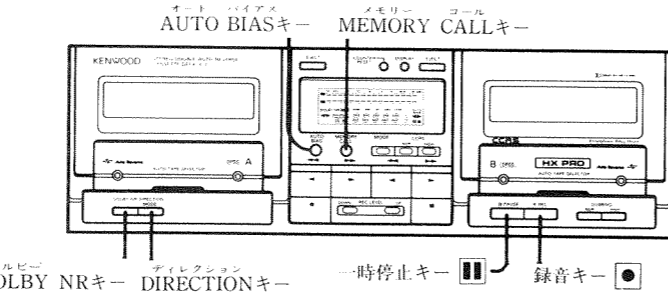
●ディスプレイを選んで、入力ソースを確認します。

3 イコライザー効果をかける

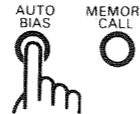
グライコ部のEFFECTキーをONにする



●イコライザーを通さず、ソースをそのまま録音したいときは、OFFにします。
●イコライザー部のディスプレイに表示されるカーブすべてが録音に使えます。



4 オートバイアスの設定をする



●約45秒で適正バイアス値が設定され、停止します。
●バイアス調整中に解除したいときは、停止キーを押します。
●オートバイアスの設定は省略しても録音できます。
●一度設定したオートバイアスは解除してもMEMORY CALLキーを押すと同じレベルで再設定されます。

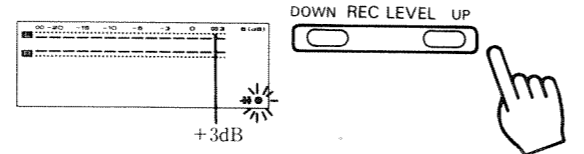
5 録音レベルを合わせる

①音楽ソースを再生する

②録音待機状態にする



③録音レベルを調節する



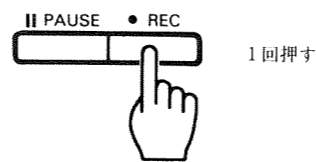
●ピークレベルメーターの+3dB付近が、時々点灯するように調節します。

④音楽ソースを停止する

6 録音を始める

①音楽ソースを初めから再生する

②録音キーを押す



●テープが終了すると自動的に停止します。

オートバイアス機能とは

ノーマルテープ・クロームテープには普及品から高級品まで幅広い種類があり、特性も様々ではありません。本機にはどんな種類のノーマルテープ・クロームテープにも適した録音をするためのオートバイアス機能があります。ノーマルテープ・クロームテープのときは、オートバイアスのご使用をおすすめします。

ご注意:

1. オートバイアス設定中は、Aデッキの▶▶キー、◀◀キー、■キー、Bデッキの■キー以外は動きません。
2. テープの残量が少ないときは、設定が途中で解除され停止することがあります。
3. 設定したオートバイアスはカセットデッキのEJECTキーを押すと解除されます。

■録音を一時停止する

●インジケーターが点灯します。

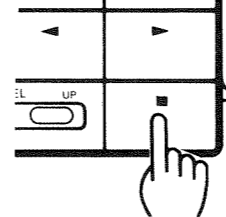


録音を再開するとき



■録音を止める

1



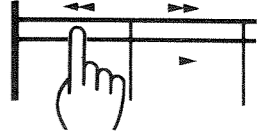
2 音楽ソースを止める

■録音をとり直しする

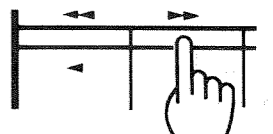
録音開始位置の前に4秒間の無録音部分が必要です。

1 録音を中止し、巻き戻す

▶方向録音中は



◀方向録音中は



●録音は中止され、録音を始めた位置まで戻り、前の曲から約2秒間の無録音部分を送った後、停止します。

2 録音を開始する

①録音キーを2回押す



●4秒間の無録音部分を作って止まります。

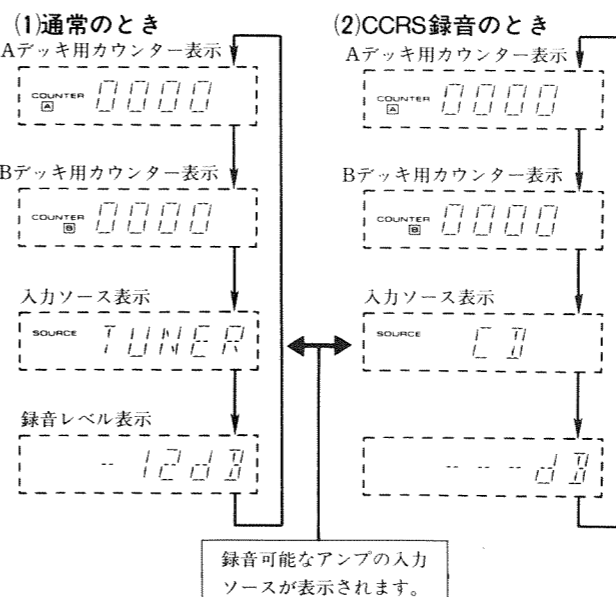
②録音キーを1回押す



●録音が始まります。

テープカウンター表示について

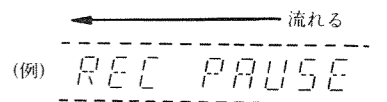
ディスプレイを押し出すと表示が換わります。



(3)テープが入っていないとき

(4)キーメッセージ表示

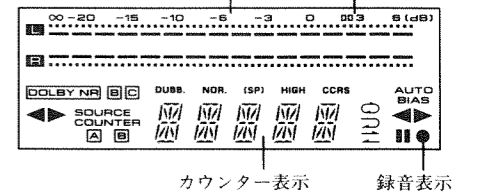
カセットデッキのキーを押すたびにキーの機能を表示させることができます。



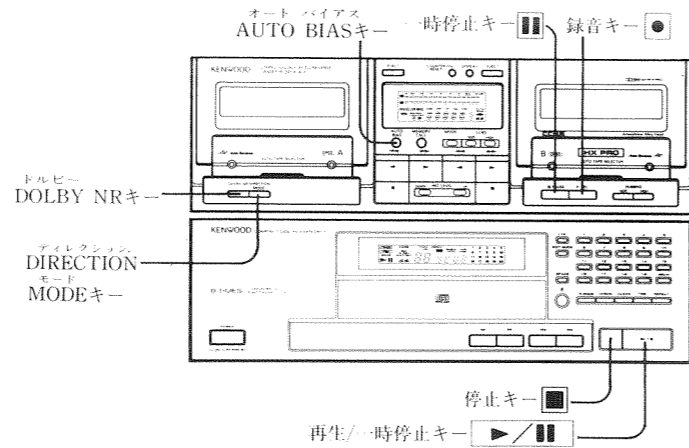
■キーメッセージを表示するには
①DISPLAYキーで入力ソース表示にする。
②COUNTER RESETキーを一回押す。
●MESSAGES ONが流れます。
●COUNTER RESETキーを再度押すとOFFになります。



ピークレベルインジケーター +3dB



DISPLAYキーに関係なくREC LEVELキーを押すと約5秒間録音レベルを表示します。あらかじめアンプの入力ソースごとに標準レベルが設定されていますが、REC LEVELキーを押すことで標準レベルを変更することができます。CCRSのときは表示しません。

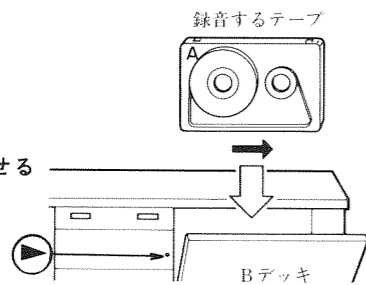


CDのシンクロ録音

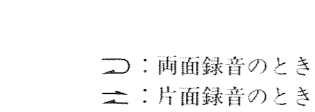
カセットデッキとCDプレーヤーを同時にスタートさせることができます。

1 録音の準備をする

- ① Bデッキにテープを入れる



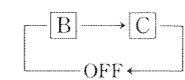
- ② 走行方向を合わせる



- ③ 録音する面を選ぶ



→ : 両面録音のとき
← : 片面録音のとき



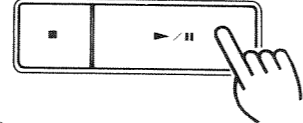
2 オートバイアスを設定する



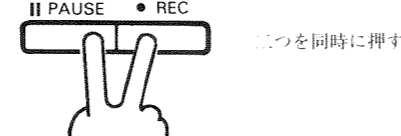
- 約45秒で設定終了します。
- 同じタイプのテープを連続して使用するときは **MEMORY CALL** キーを押すと前と同じバイアス値がすぐに設定できます。

3 録音レベルを合わせる

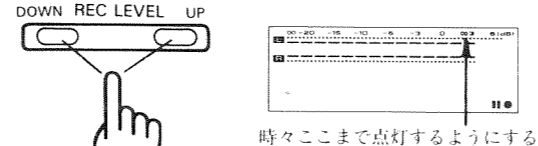
- ① CDを再生する



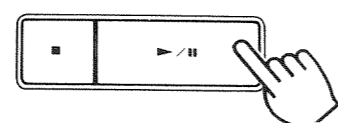
- ② 録音待機状態にする



- ③ 録音レベルを調節する

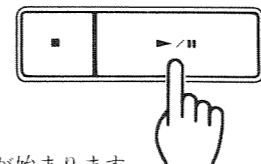


- ④ CDを一時停止させる



4 CDを再生する

- ① 録音を始めた曲番の数字キーを押す
② 再生する



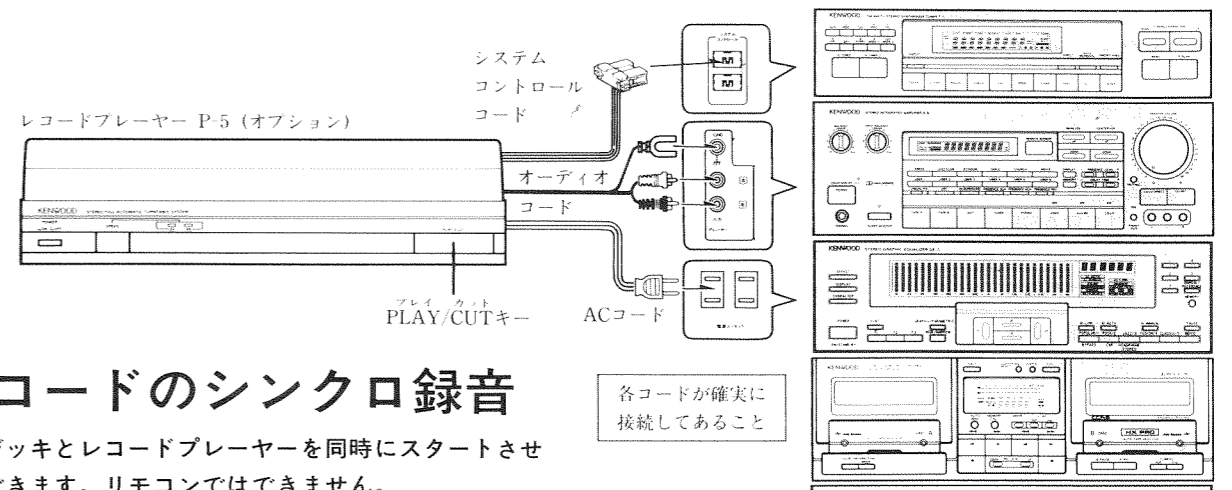
- 同時に録音が始まります。
- CDプレーヤーの再生が終わると、デッキは録音を終了し停止します。

一時停止……CDプレーヤーの **PAUSE** キーを押す
録音再開始……CDプレーヤーの **PLAY** キーを押す
停止……CDプレーヤーの **STOP** キーを押す

- カセットデッキの停止キーを押すと、カセットデッキは止まりますが、CDプレーヤーは止まりません。

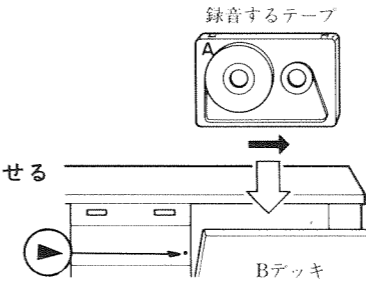
レコードのシンクロ録音

カセットデッキとレコードプレーヤーを同時にスタートさせることができます。リモコンではできません。

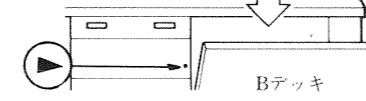


1 録音の準備をする

- ① Bデッキにテープを入れる



- ② 走行方向を合わせる



- ③ 録音する面を選ぶ



→ : 両面録音のとき
← : 片面録音のとき

- ④ DOLBY NRを選ぶ



2 オートバイアスを設定する



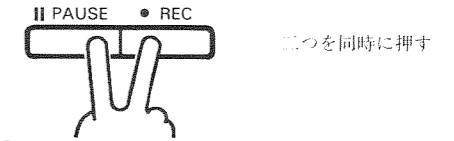
- 約45秒で設定終了します。
- 同じタイプのテープを連続して使用するときは **MEMORY CALL** キーを押すと前と同じバイアス値がすぐに設定できます。

3 録音レベルを合わせる

- ① レコードを再生する



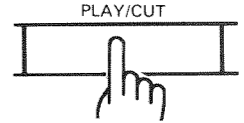
- ② 録音待機状態にする



- ③ 録音レベルを調節する

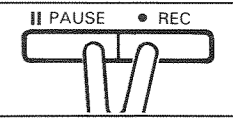


- ④ レコードを止める

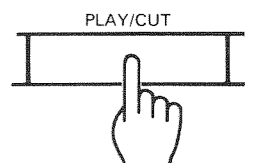


- カセットデッキは停止状態に戻ります。

4 録音待機状態にする



5 レコードを再生する



- 同時に録音が始まります。
- レコードプレーヤーの再生が終わると、デッキは録音を終了し停止します。

途中で停止するには

- レコードプレーヤーの **PLAY/CUT** キーを押す
- カセットデッキの停止キーを押すと、カセットデッキは止まりますが、レコードプレーヤーは止まりません。

CDの録音のしかた(CCRS)

録音するディスクの最適録音レベルと録音するテープの録音バイアスを自動的に設定し、録音を開始するCCRS機能と組み合わせ、次のような便利な録音ができます。(録音はBデッキのみ可能です。)

- フェードアウト編集録音 (FADE EDIT)**……CDの1曲目から順に録音し、曲の途中でテープの折返し部になったとき、フェードアウトで折返して録音します。
- 消去編集録音 (ERASE EDIT)**……曲の途中でテープの折返し部になったとき、中途半端になった曲を消去し、その曲から改めて裏面に録音します。
- クロスフェード編集録音 (CROSS EDIT)**……曲の終わりと初めをフェードアウト/フェードインし、曲の切れ目のない音楽テープが作れます。
- ノーマル編集録音 (NORMAL EDIT)**……録音時間を指定すると、テープエンドの曲がとぎれないように自動的に編集します。最大20曲まで編集録音をします。(PRIORITY EDIT: CDの好きな曲をあらかじめプログラムしておく)と優先して編集されます。)
- AI編集録音 (AI EDIT)**……一つのテープのなかに、完全に時間がオーバーするCDの全曲を、一曲ごとにフェードアウトして全曲録音します。(AI PRIORITY EDIT: CDの好きな曲をあらかじめプログラムしておく)と選ばれた曲はフェードアウトをしないで優先的に編集されます。)
- マルチディスク編集録音 (MULTI EDIT)**……一つのテープに複数のCDで編集録音することができます。フェードアウトとクロスフェード編集録音が利用できます。
- CCRS倍速録音**……CDを2倍の速さで録音します。グラフィックイコライザーも倍速に対応しています。ドルビーNR表示が点灯中でもドルビーNR録音はできません。

“CDのさきかた”の項目をあわせてご覧ください。

CCRS (Computer Controlled CD Recording System) とは

CCRSキーを押すだけで、次のことを自動的にを行い、CD録音を始める機能です。

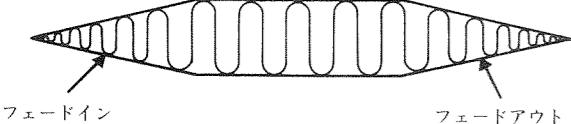
- CDプレーヤーが再生を開始し、ディスクの収録レベルからピーク値をサンプリングします。
- サンプリングしたピーク値から、そのディスクの最適録音レベルを決め、設定します。
- カセットデッキが録音するテープのバイアスを自動的に設定します。
- 約120秒で以上の録音準備を終え、録音を始めます。
- 録音が終了(CDプレーヤーが停止したとき、またはテープが終わったとき、カセットデッキとCDプレーヤーは停止します。

- CCRS、AUTO BIASインジケータの点灯中は、設定した録音レベル、オートバイアスレベルが維持されています。
- CCRS録音レベルは、CDプレーヤーの開閉キーを押したときに、オートバイアスレベルはBデッキの開閉キーを押したときに、また電源を切ったときは両方共に解除されます。

	CCRS作動中の表示	
	カセットデッキの表示	CDプレーヤーの表示
録音レベル設定中		
オートバイアス設定中		
録音中		
録音停止		

フェードイン/フェードアウトとは

音楽を再生するときに、小音量から始めて通常の音量までだんだん大きくしていくことをフェードインといい、逆に通常の音量からだんだん小さくしていくことをフェードアウトといいます。

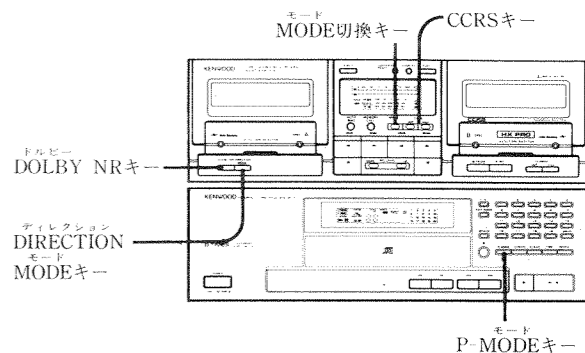


CCRS倍速録音について

CDとカセットデッキを通常の倍のスピードで回転させて録音します。録音時間が約半分に短縮できます。このとき、倍の音程とスピードで再生されているため、スピーカーで録音をモニターしても音楽として楽しむことはできません。倍速録音のとき、グラフィックイコライザー効果をかけるときは必ずプリセットR1~R5のパターンから選んでください。CCRS倍速録音したテープはDOLBY NR OFFで録音されますので、再生するときはDOLBY NR OFFで再生してください。

フェードアウト編集録音 (FADE OUT EDIT)

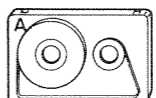
テープの折り返し部で、フェードアウト/フェードインします。



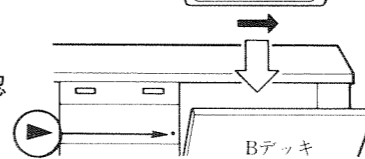
1 Bデッキの録音準備をする

- ①カセットを入れる

録音するテープ



- ②走行方向を確認する



- ③録音する面を選ぶ

☞: 両面録音のとき
☚: 片面録音のとき

- ④DOLBY NRを選ぶ

☞: B → C → OFF

2 イコライザーを選択する

- CCRSキーを押したあとにイコライザーのEFFECTキーを押すと、正しい録音レベルになりません。

3 入力切替をCD/LDにする

4 CDプレーヤーにディスクを入れる

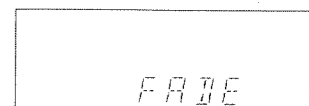
5 CDの再生モードを選ぶ



TRACK のとき: 曲番順に録音します。
PGM のとき: プログラムした順番に録音します。

6 FADEを選ぶ

MODE切替キーを押す

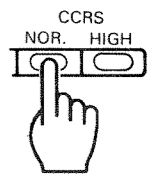


☞: FADE → ERASE → CROSS

MODE切替キーを押すごとに表示が変わります。

7 CCRSキーを押す

普通の録音のとき

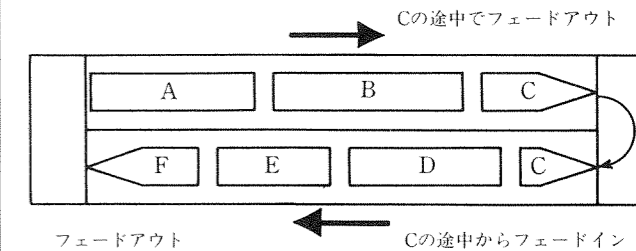


倍速録音のとき



- 表示部のHIGHまたはNORが点灯します。

下図のように録音します

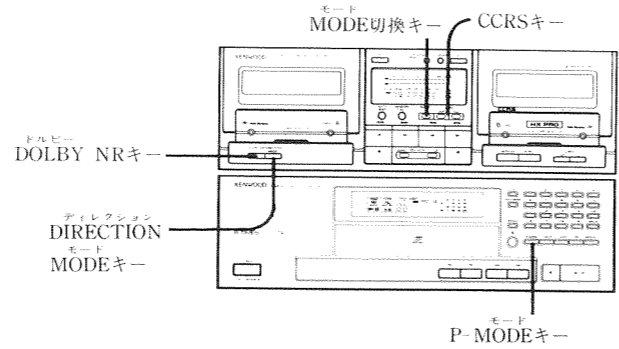


ご注意:

1. CDプレーヤーの再生中にCCRSキーを押すと、再生を中止し、CCRS設定に入ります。
2. CCRS録音では録音レベルを合わせる必要はありません。
3. CCRSはディスクのピークレベルを約60秒で探すため、ごくまれに最適レベルの調節ができないことがあります。
4. クラシックなど、1曲が長いものは、テープの片面に録音しきれないためCCRSが使えません。この場合は、“CDのシンクロ録音のしかた”を参照し、録音してください。
5. カセットデッキの走行モード表示が☚になっていると、それぞれのテープエンドの処理は表面のみになります。
6. テープの残りが少ないと、テープエンドで消去編集録音になることがあります。
7. テープエンドにかかった曲がフェードアウトされるとき、前の曲との間が短いと、前の曲の最後も一部消去されることがあります。このときはCDプレーヤーの再生モードをPGMにし、SPACEキーを押してから録音してください。

■消去編集録音(ERASE EDIT)

テープの折り返し部で、途中で終わった曲を消去し、裏面に初めから録音をし直します。



1 Bデッキの録音準備をする

- ①カセットを入れる
- ②走行方向を確認する
- ③録音する面を選ぶ
 □: 両面録音のとき
 ○: 片面録音のとき
- ④DOLBY NRを選ぶ
 [B] → [C] → OFF

6 ERASEを選ぶ

MODE切替キーを押す

MODE

ERASE

FADE → ERASE → CROSS

MODE切替キーを押すごとに表示が換わります。

2 イコライザーを選択する

- CCRSキーを押したあとにイコライザーのEFFECTキーを押すと、正しい録音レベルになりません。

7 CCRSキーを押す

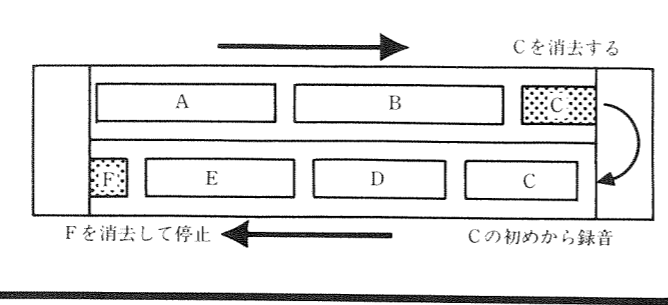
普通の録音のとき

倍速録音のとき

- 表示部のHIGHまたはNOR.が点灯します。

下図のように録音します

3 入力切換をCD/LDにする



4 CDプレーヤーにディスクを入れる

5 CDの再生モードを選ぶ

P-MODE

[TRACK]のとき: 曲番順に録音します。
 [PGM]のとき: プログラムした順番に録音します。

- ご注意:
1. CDプレーヤーの再生中にCCRSキーを押すと、再生を中止し、CCRS設定に入ります。
 2. CCRS録音では録音レベルを合わせる必要はありません。
 3. CCRSはディスクのピークレベルを約60秒で探すため、ごくまれに最適レベルの調節ができないことがあります。
 4. クラシックなど、1曲が長いものは、テープの片面に録音しきれないためCCRSが使えません。この場合は、“CDのシンクロ録音”を参照し、録音してください。
 5. カセットデッキの走行モード表示が になっていると、テープエンドの処理は表面のみになります。
 6. テープエンドにかかった曲が消去される時、前の曲との間が短いと、前の曲の最後も一部消去されることがあります。このときは、CDプレーヤーの再生モードを [PGM] にし、SPACEキーを押してから録音してください。

■クロスフェード編集録音(X. FADE EDIT)

曲と曲とをフェードアウトとフェードインで重ねてつなぎ、曲の切れ目のない編集録音をします。

1 Bデッキの録音準備をする

- ①カセットを入れる
- ②走行方向を確認する
- ③録音する面を選ぶ
 □: 両面録音のとき
 ○: 片面録音のとき
- ④DOLBY NRを選ぶ
 [B] → [C] → OFF

6 CROSSを選ぶ

MODE切替キーを押す

MODE

CROSS

FADE → ERASE → CROSS

MODE切替キーを押すごとに表示が換わります。

2 イコライザーを選択する

- CCRSキーを押したあとにイコライザーのEFFECTキーを押すと、正しい録音レベルになりません。

7 CCRSキーを押す

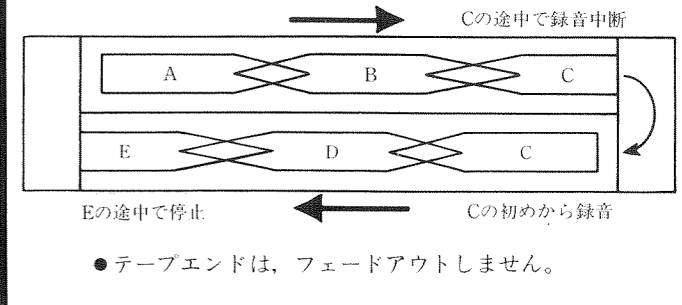
普通の録音のとき

倍速録音のとき

- 表示部のHIGHまたはNOR.が点灯します。

下図のように録音します

3 入力切換をCD/LDにする



4 CDプレーヤーにディスクを入れる

5 CDの再生モードを選ぶ

P-MODE

[TRACK]のとき: 曲番順に録音します。
 [PGM]のとき: プログラムした順番に録音します。

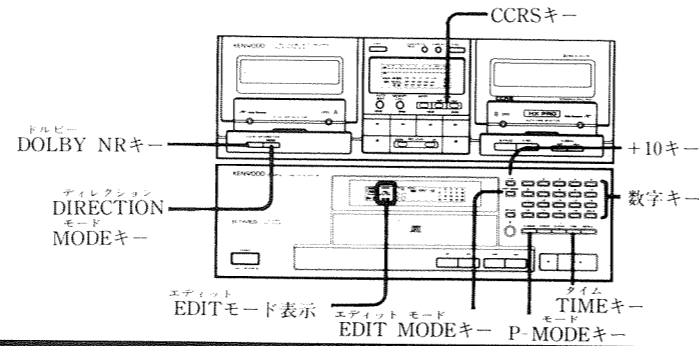
- ご注意:
1. CDプレーヤーの再生中にCCRSキーを押すと、再生を中止し、CCRS設定に入ります。
 2. CCRS録音では録音レベルを合わせる必要はありません。
 3. CCRSはディスクのピークレベルを約60秒で探すため、ごくまれに最適レベルの調節ができないことがあります。
 4. クラシックなど、1曲が長いものは、テープの片面に録音しきれないためCCRSが使えません。この場合は、“CDのシンクロ録音”を参照し、録音してください。
 5. もともとフェードアウト/フェードインされた曲をクロスフェード録音すると曲間が空いてしまうことがあります。
 6. 曲によってクロスフェードされた部分は聞き苦しいことがあります。この場合は、他の編集録音を使って録音してください。

CDの録音のしかた(CCRS)

CDの録音のしかた(CCRS)

■ ノーマル編集録音 (NORMAL EDIT)

録音時間を指定すると、テープエンドの曲がとぎれないように自動的に編集します。



1 Bデッキの録音準備をする

①カセットを入れる

②走行方向を確認する

③録音する面を選ぶ
DIRECTION MODE
→: 両面録音を選ぶ

④DOLBY NRを選ぶ
DOLBY NR
[B] → [C] → OFF

2 イコライザーを選択する

- CCRSキーを押したあとにイコライザーのEFFECTキーを押すと、正しい録音レベルになりません。

3 入力切換をCD/LDにする

4 CDプレーヤーにディスクを入れる

- プログラム選曲をするときは手順5の前にすませておきます。

5 CDのEDITモードをEDITにする

EDIT MODE → EDIT → AI EDIT → MULTI EDIT

押すたびに切り換わります。

- EDITを選んだあと、8秒以内に次の手順の入力をしてください。8秒過ぎたときはもう一度押してください。
- 再生モードは自動的にPGMになります。
- SPACEキーを使用するときはEDITキーを押してから、テープの時間を入力するまでの間に押してください。

6 テープの時間を入力する

CDプレーヤーの数字キーで入力する

C-60のとき: [+10] を6回, [20/0] を1回
C-46のとき: [+10] を4回, [6] を1回

- TIMEキーを押すごとに46, 54, 60, 90を選ぶことができます。このときはEDIT MODEキーを再度押します。
- A面B面の自動編集が行われ、編集が終了すると、EDITが点滅から点灯になります。
- あらかじめ数曲をプログラムしていると優先して録音ができます。
- EDITが点灯したあとEDIT MODEキーを押すと、表示にSHUFFLEと表示され再編集を行います。

7 カセットデッキのモードを選ぶ

- [CROSS]を選ぶとクロスフェード編集録音をします。
- 入力した時間がテープの時間より長いと、テープエンドの曲は、[FADE]を選んでいたり、フェードアウトされ、[ERASE]を選んでいたり、消去されます。

8 CCRSキーを押す

普通の録音のとき
倍速録音のとき

●表示部のHIGHまたはNOR.が点灯します。
下図のように録音します

プログラムした曲が優先 → 時間調整した曲

時間調整した曲 → 曲番号順を基本に時間調整した曲に入れ換える

- 録音が終了すると自動的に停止します。

ご注意:
1. 曲番号44以後をプログラムしたときは編集できません。
2. リピートキー機能は働きません。

■ AI編集録音 (AI EDIT)

録音したいCDの時間に比べテープの時間が短いとき、録音する曲の最後の部分をフェードアウトでカット編集し、全曲を録音します。カットしたくない曲を指定できます。

1 Bデッキの録音準備をする

①カセットを入れる

②走行方向を確認する

③録音する面を選ぶ
DIRECTION MODE
→: 両面録音を選ぶ

④DOLBY NRを選ぶ
DOLBY NR
[B] → [C] → OFF

2 イコライザーを選択する

- CCRSキーを押したあとにイコライザー-EFFECTキーを押すと、正しい録音レベルになりません。

3 入力切換をCD/LDにする

4 CDプレーヤーにディスクを入れる

5 ノーカットで録音したい曲を選ぶ

①P-MODEキーを押す
●[PGM]が点灯します。

②曲番号を数字キーで入力する
●希望する順番につけて入力します。
●詳しくは35ページの“好きな曲を好きな順番で”を参照してください。

6 CDのEDITモードをAI EDITにする

EDIT → AI EDIT → MULTI EDIT

押すたびに切り換わります。

- AI EDITを選んだあと、8秒以内に次の手順の入力をしてください。8秒過ぎたときはもう一度押してください。
- 再生モードは自動的にPGMになります。

7 テープの時間を入力する

CDプレーヤーの数字キーで入力する

C-60のとき: [+10] を6回, [20/0] を1回
C-46のとき: [+10] を4回, [6] を1回

- TIMEキーを押すごとに46, 54, 60, 90を選ぶことができます。このときはEDIT MODEキーを再度押します。
- A面B面の自動編集が行われ、編集が終了すると、EDITが点滅から点灯になります。

8 CCRSキーを押す

普通の録音のとき
倍速録音のとき

●表示部のHIGHまたはNOR.が点灯します。
下図のように録音します

プログラムした曲 →

●プログラムをした曲を優先にノーカットで録音し、その後は曲の最後がカット編集されます。
●テープの時間に余裕があるときは全曲最後まで録音します。
●録音が終了すると自動的に停止します。

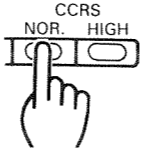
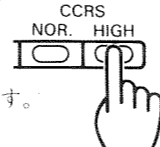
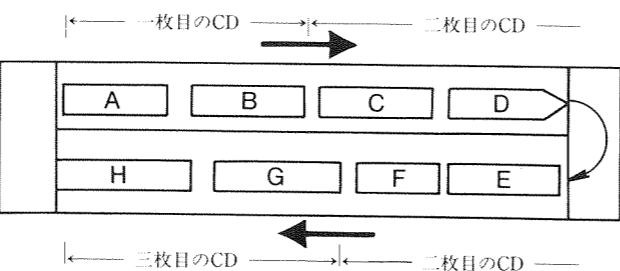
ご注意:
1. AI EDITを選んだときは、MODE切換キーを選ぶ必要がありません。どのモードにあってもフェードアウトモードになります。
2. テープの時間を極端に短くすると、自動編集されなかったり、ノーカットで録音したい曲がカットされることがあります。
3. スペースキー、リピートキー機能は働きません。
4. 曲番号44以後をプログラムしたときは編集できません。

CDの録音のしかた(CCRS)

CDの録音のしかた(CCRS)

■マルチディスク編集録音 (MULTI EDIT)

一つのテープに、複数のCDを取り換えながら一枚20曲まで編集録音ができます。

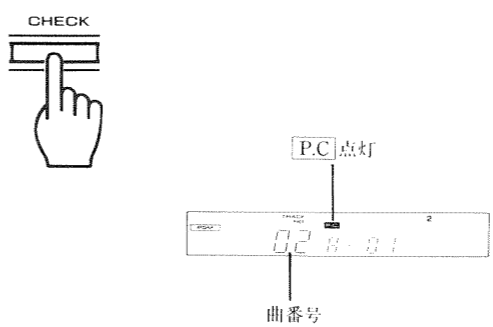
<p>1 Bデッキの録音準備をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①カセットを入れる ②走行方向を確認する ③録音する面を両面録音 \curvearrowright にする ④DOLBY NRを選ぶ 	<p>7 カセットデッキのモードを選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●[CROSS]を選ぶとクロスフェード編集録音をします。 ●入力した時間がテープの時間より長いと、テープエンドの曲は、[FADE]を選んでいると、フェードアウトされ、[ERASE]を選んでいると、消去されます。
<p>2 イコライザーを選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●CCRSキーを押したあとにイコライザーのEFFECTキーを押すと、正しい録音レベルになりません。 	<p>8 録音したい曲を選ぶ</p> <p>CDプレーヤーの数字キーで、録音したい曲順に曲番号を入力する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●TOTAL TIME表示にはA面、またはB面の残り時間が表示されます。 ●[CROSS]モードを選んでいるとき、入力中にFADEと表示されたら、そこで入力をやめ、CCRSキーを押してください。A面の録音が終わったら、改めてB面の曲番号の入力から始めてください。 ●ディスプレイにFULLと表示されたとき、それ以上のプログラムは入力できません。
<p>3 入力切換をCD/LDにする</p>	<p>9 CCRSキーを押す</p> <p>普通の録音のとき </p> <p>倍速録音のとき </p> <ul style="list-style-type: none"> ●表示部のHIGHまたはNORが点灯します。 <p>下図のように録音します(三枚のCDを録音した例)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●一枚目の録音が終了するとCDプレーヤー、カセットデッキ共に停止し、CDプレーヤーのトレイが自動的にオープンします。 ●二枚目、三枚目を録音するときは、カセットデッキ表示部に流れるメッセージに従ってディスクを入れ換え、ディスクトレイを閉めたうえで、手順8~9を繰り返します。
<p>4 CDプレーヤーにディスクを入れる</p>	<p>5 CDのEDITモードをMULTI EDITにする</p> <p>→ EDIT → AI EDIT → [MULTI EDIT]</p> <p>押すたびに切り換わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●MULTI EDITを選んだあと、8秒以内に次の手順の入力をしてください。8秒過ぎたときはもう一度押してください。 ●再生モードは自動的に[PGM]になります。
<p>6 テープの時間を入力する</p> <p>CDプレーヤーの数字キーで入力する</p> <p>C-60のとき：[+10]を6回、[20/0]を1回</p> <p>C-46のとき：[+10]を4回、[6]を1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ●TIMEキーを押すごとに46、54、60、90を選ぶことができます。このときはEDIT MODEキーを再度押します。 ●[EDIT]が点滅から点灯にプログラム入力待ちになり、A面の録音可能時間が表示されます。 	<p>10 (Note: This block is merged into the main 9 block in the original image)</p>

ご注意：

- 手順8で、テープの残り時間以上の曲を入力するとCDプレーヤーの表示部がFADEとなり、時間がオーバーする部分をフェードアウトでカットします。ディスプレイに表示されている残り時間を参考にして入力してください。
- 曲番号44以後は入力できません。
- スペースキー、リピートキー機能は働きません。

■編集した内容を確認するには

CDプレーヤーのCHECKキーを押す




- 押すごとに編集した曲番号が順に表示されます。
- MULTI EDITのときはセットしてあるディスクのみです。

■編集した内容を取り消すには

編集した最後の曲から順に取り消すには (MULTI EDITのみ)

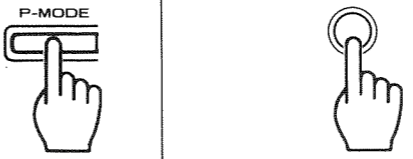
CDプレーヤーのCLEARキーを押す



- 押すごとに最後の曲から順に消えます。
- 現在セットしてあるディスクのみです。

■編集内容全部を一度に消すには

CDプレーヤーのどちらかのキーを押す




- MULTI EDITのときはセットしてあるディスクのみです。

■CD RECキーの使いかた

CDを録音しながら、他の音楽ソースがきけます。

1 アンプのCD RECキーを押す




2 CDを録音する

“CDのシンクロ録音” “CDの録音のしかた(CCRS)”を参照して録音します

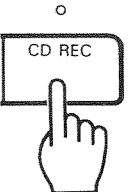
3 好きな音楽ソースを選ぶ

DAT	TUNER	PHONO	VIDEO	AUX/BS	CD
-----	-------	-------	-------	--------	----



TAPE A, B以外の音楽ソースを選びます。

CD RECを解除するには もう一度押す



ご注意：

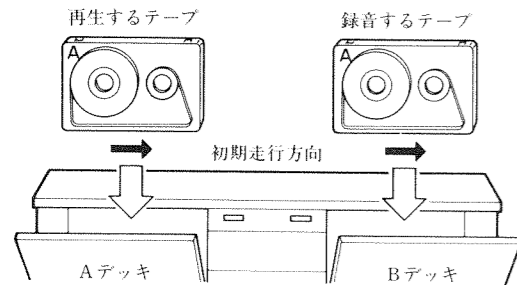
CD RECキーがONのときは、CDの録音にはイコライザー効果がかけられますが、CD RECキーできいている他の音楽にはイコライザー効果はかけられません。

ダビングのしかた

録音済みのテープを別のテープへコピーすることをダビングといいます。(Aデッキのテープ→Bデッキのテープ)

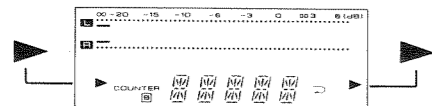
ノーマルダビング：通常で速度でコピーします。
 高速ダビング：通常約2倍の速度でコピーします。

1 テープを入れる

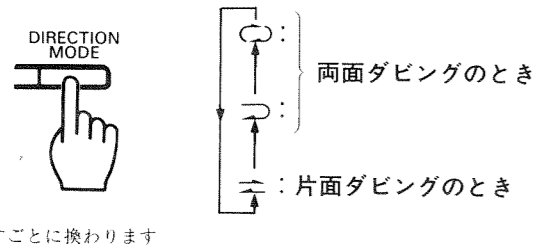


2 テープの走行方向を合わせる

●39ページをお読みください。



3 片面、両面を選ぶ

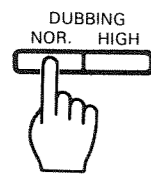


4 AUTO BIASキーを押す

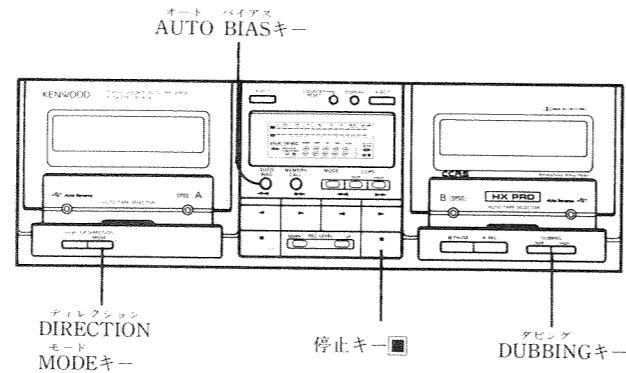
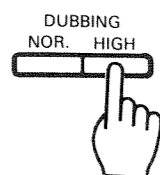
●約45秒で適正バイアス値が設定され、停止します。

5 ダビングを始める

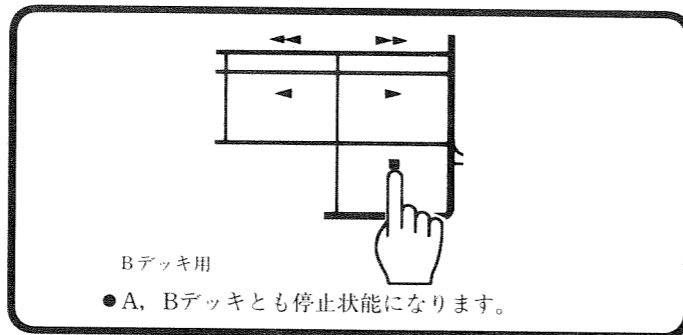
ノーマルダビング
 のとき



高速ダビング
 のとき



ダビングの停止



ダビングの一時停止

ノーマルダビングのとき：NOR.キーを押す

高速ダビングのとき：HIGHキーを押す

- ノーマルでは約4秒間、高速では約6秒間の無録音部分を作った後、Bデッキのみ一時停止状態になります。
- ダビング中に、ダビングしたくない曲を飛ばしたいときは、Aデッキの [] キーを押します。
- ダビングを再開するときは、押したDUBBINGキー (NOR. または HIGH) を、もう一度押します。

ご注意：

1. ダビング時は、録音レベルの調節ができません。
2. ダビング時は、DOLBY NRキーは機能しません。ダビングしたテープはAデッキと同じノイズリダクションで作られます。
3. TVのそばで高速ダビングをするとTV雑音が入ることがあります。TVから離してください。
4. 録音レベルが高いテープを高速ダビングすると音質を損なうことがあります。このようなときは、ノーマルでダビングしてください。

サラウンドの再生

コンサートや劇場などのつつみこまれるように臨場感、またはドルビーサラウンドサウンドによる劇場映画の迫力を再現する、以下の機能を備えています。詳しくは次ページ以後の各操作手順をお読みください。

1. ドルビーサラウンド；

ドルビーサラウンドのマークが入ったビデオソフトを再生すると、映画館と同じようなドルビーサラウンド音響効果が楽しめます。

2. DSP(Digital Signal Processor)オリジナルプレゼンス；

6種類(ディスコ、映画館、アリーナ、教会、ジャズクラブ、スタジアム)の臨場感が再現できます。

3. DSPユーザープレゼンス；

6種類のオリジナルプレゼンス音場に、さらに好みの残響効果、AI LINKによるイコライザー効果を加味し、自分専用のプレゼンス音場を6種類登録して楽しめます。

4. AI LINKイコライザー効果；

イコライザー部のAI LINKキーが押されていると、6種類の各オリジナルプレゼンス音場に合ったイコライザー効果が加味されます。

5. チャンネルに合ったサラウンド効果；

DSPオリジナルプレゼンス、およびユーザープレゼンス音場は、選ばれたチャンネルに合った音響効果が得られます。

- PRESENCE 3CH：左右+センタースピーカー
- PRESENCE 4CH：左右+センター+リアスピーカー

6. PRESENCE REC；

音楽をカセットデッキに録音するとき、DSPプレゼンス音場効果をかけてステレオ録音することができます。

サラウンドスピーカーについて

本格的なドルビーサラウンド、およびDSPプレゼンスを楽しむためには、サラウンドリアスピーカーとセンタースピーカーが必要です。

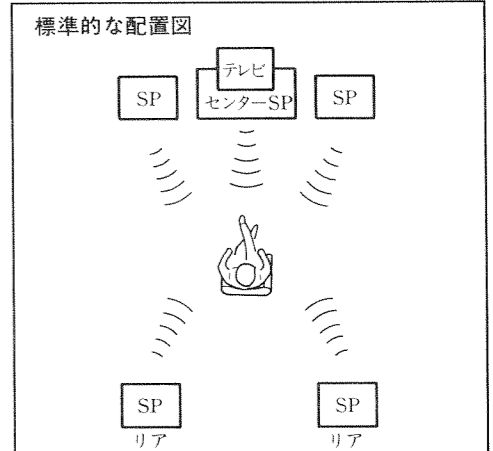
サラウンドリアスピーカー；その場の臨場感を演出します。

センタースピーカー；映画などの台詞の定位や、中央の楽器の定位を明瞭にします。

- 9ページを参照して別売のケンウッドサラウンドリアスピーカーとセンタースピーカーを接続してください。

サラウンドスピーカーの配置

- サラウンドリアスピーカーは、部屋の大きさや残響特性などにより、いろいろな置きかたが考えられます。ここに示した配置例は、サラウンド効果をより効果的に楽しむための代表的なものです。これ以外にもいろいろな配置がありますので、お好みに合わせてセットしてお楽しみください。



- センタースピーカーはTVと正面同軸上になるのが理想です。センタースピーカーをTVの上や下、またはすぐ横などに置いて一番定位のよい場所を選んでください。

DSP(Digital Signal Processor)

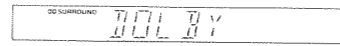
プレゼンス効果を高める残響音成分をデジタル信号に変換し、音楽ソースの音質を損なうことなく、デジタル信号の処理だけで色々なプレゼンス効果を作っているシステムです。

■ドルビーサラウンド再生のしかた

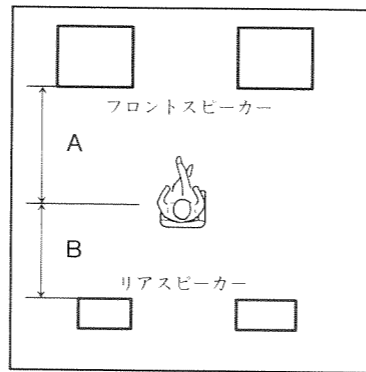
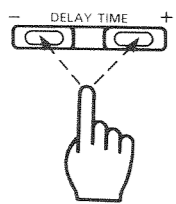
DOLBY SURROUNDのマークの入ったビデオソフトを再生すると、映画館と同じようなドルビーサラウンド音響効果が楽しめます。ドルビーサラウンド再生のとき、センタースピーカーは働きません。

1 ドルビーサラウンドをONにする

SURROUNDキーを一回押す



2 遅延時間を設定する



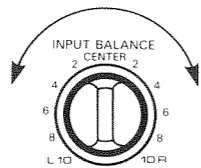
遅延時間(ms) = 20ms + 3ms(A-B)
 A: フロントスピーカーまでの距離(m)
 B: リアスピーカーまでの距離(m)

- ドルビー専用遅延時間は右図を参照して算出してください。
- 遅延時間は15ms-30msの範囲で調整できます。
- DELAY TIMEキーを押すと、遅延時間はディスプレイに表示され、押す度に1.0msステップで調節することができます。
- 一度設定した遅延時間は自動的に記憶され、再設定しない限り、ドルビーサラウンドを選ぶ度に同じ遅延時間が表示されます。

3 ドルビーサラウンドの入力バランスを調整する

- ①ドルビーサラウンドソフトを再生する
- ②左右の入力バランスを調整する
- ③再生を停止する。

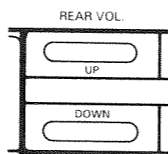
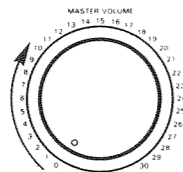
●これから見るソフトの中でセリフの多いところを再生します。



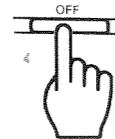
リアスピーカーのセリフの音が最小になるように調整します。

4 ドルビーサラウンドを再生する

- ①ドルビーサラウンドソフトを再生する
- ②音量を調節する
- ③リアスピーカーの音量を調節する

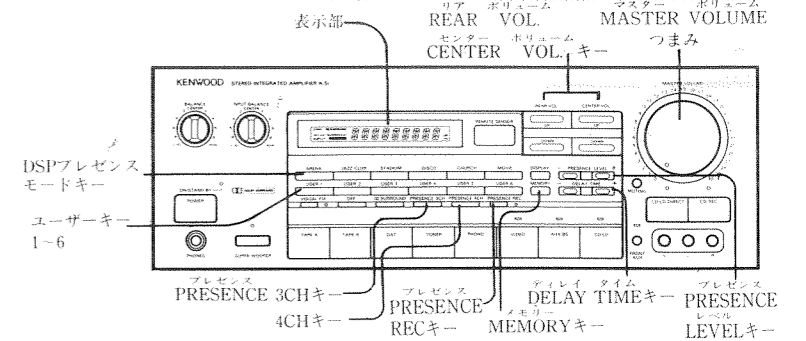


サラウンド再生をステレオ再生に戻すには



DSPプレゼンス

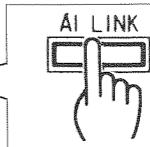
DSP(デジタルシグナルプロセッサ)により、いろいろな会場の雰囲気が楽しめます。7つの基本プレゼンス要素と6種類のDSPプレゼンスモードをもとに自分だけのプレゼンス効果をつくり、登録して使うことができます。(USER 1~6キー)



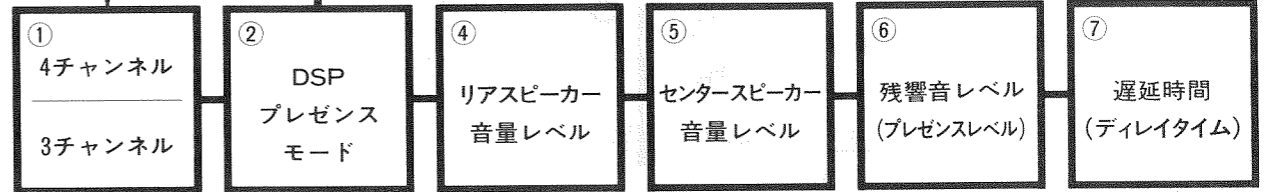
サラウンド条件を選ぶ

PRESENCE 3CH PRESENCE 4CH

③ AI LINK (イコライザー部)



●6種類のプレゼンス音場に合ったイコライザーパターンが自動的にかかり、プレゼンス効果が強調されます。



7つの基本プレゼンス要素

ユーザープレゼンス (USER 1~6キー)

プレゼンス音場を選ぶ

- プレゼンスモードキーを換えても他の条件(①④⑤⑥⑦)はそのまま残ります。お好みに応じて他の条件を変化させてください。

ARENA JAZZ CLUB STADIUM DISCO CHURCH MOVIE

DSPプレゼンスモードキー



リモコン操作のとき



押すごとに、6つのプレゼンス音場が選べます。

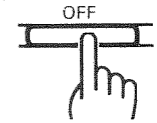
DSPプレゼンスモードの種類と効果

ARENA	高域の反射が多く残響時間の長いホール効果を再現します。
JAZZ CLUB	シンバルの響きわたるジャズライブハウスを再現します。
STADIUM	スタジアム特有の場内反射音をPAスピーカーの音に模して雰囲気を盛り上げます。
DISCO	心地よい残響音とグライコの併用で中高音の盛り上がったディスコ気分を再現します。
CHURCH	荘厳な教会の豊かな残響音を再現します。
MOVIE	センターは反射音を押さえ、他のスピーカーからはゆったりとした残響音を再現します。

7つの条件をまとめて登録できます。

- 初期設定値が仮に設定されていますが、お好みの内容に変えてご利用ください。
- 新規登録すると、もとの内容は消えます。

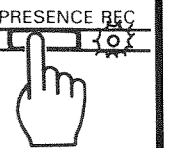
サラウンド演奏をステレオ演奏に戻すには



■プレゼンス効果を録音する

1 プレゼンス音場を選ぶ

2 PRESENCE RECキーを押す



●CD RECと同時にできません。

3 音楽を再生し、録音する

■ユーザープレゼンス音場のつくりかた

<p>1 音楽を再生する</p> <p>2 サラウンド条件を選ぶ 3チャンネル, または4チャンネルサラウンドを選ぶ</p> <p>3 プレゼンス音場を選ぶ 6つのDSPプレゼンスモードキーの中から選ぶ</p> <p>4 グライコ部のAI LINKキーを押す ●選ばれたプレゼンス効果が強調されます。</p> <p>5 遅延時間を選ぶ ●遅延時間は5~60msの範囲で調整ができます。 ●DELAY TIMEキーを押す度に5.0msステップで調節することができ、遅延時間は表示部に表示されます。</p>	<p>6 残響音レベルを選ぶ ●残響音レベルは0~20dBの範囲で調整ができます。 ●キーを押す度に2.0dBステップで調整することができ、残響音レベルは表示部に表示されます。</p> <p>7 センターおよびリアスピーカーの音量を調節する ●遅延時間、残響音レベルを含め再度調節をします。</p> <p>8 登録する ①MEMORYキーを押す ●MEMORYが点灯する ②ユーザーキーを押す ●MEMORY点灯中に ●同様にして、全部で6通りのあなた専用のプレゼンス音場が登録できます。 ●登録できる内容; チャンネルモード+オリジナルプレゼンス+AI LINKイコライザー+遅延時間+残響音レベル+センターおよびリアスピーカーレベル</p>
--	---

■ユーザープレゼンス音場によるサラウンド再生

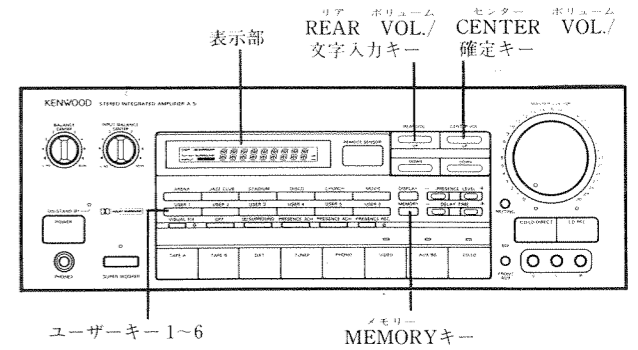
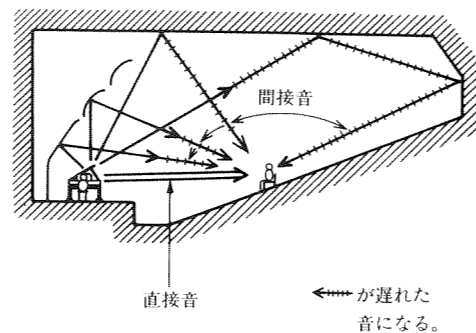
<p>1 音楽を再生する</p> <p>2 ユーザーキーを選ぶ ●リモコン操作のとき ●押すごとにUSER 1~6が選べます。</p>	<p>3 音量を調節する ●マスターボリュームつまみ</p>
---	---

DELAY TIME (遅延時間) について

図のコンサートホールの例のように、ステージで演奏したピアノの音は、ピアノから直接届く直接音のほかに反射板、天井、壁、後壁に二度当たって跳ね返ってくる間接音、および無数に反射を繰り返して消えていく残響音とが混ざりあった合成音として聞こえます。間接音は直接音に対して必ず遠回りの間を通ることになります。その遅れた時間を遅延時間 (DELAY TIME) いい、間接音、または残響音の大きさを残響音レベル (PRESENCE LEVEL) といいます。この遅延時間を伴った間接音が、よい音響効果と会場の臨場感を出す重要な役目となっています。

スピーカーの配置によっても音場設定が異なりますので、いろいろと遅延時間を変えてよりよい音場を設定してください。

コンサートホールの例



■ユーザープレゼンスに名前を付ける

自分の作った好みのプレゼンス音場に名前を付けてディスプレイに表示できます。

<p>1 ユーザーキーを選ぶ 名前を付けたいユーザーキーを押す</p> <p>2 MEMORYキーを押す</p> <p>3 文字を入力する ①文字を選ぶ ●REAR VOL.キーが文字入力キーになります。 ②文字入力位置を移す ●CENTER VOL.キーが確定キーになります。 ③手順①と②を繰り返して、必要な文字を入力する</p> <p>4 ユーザーキーに記憶する</p>	<p>●MEMORYの点灯中はREAR VOL., CENTER VOL.キーの機能が換わります。</p> <p>●全部で9文字の文字が付けられます。</p> <p>●1つのユーザーキーを5秒以上押し続けると、そのユーザーキーの記憶内容はすべて初期状態に戻ります。</p>
--	--

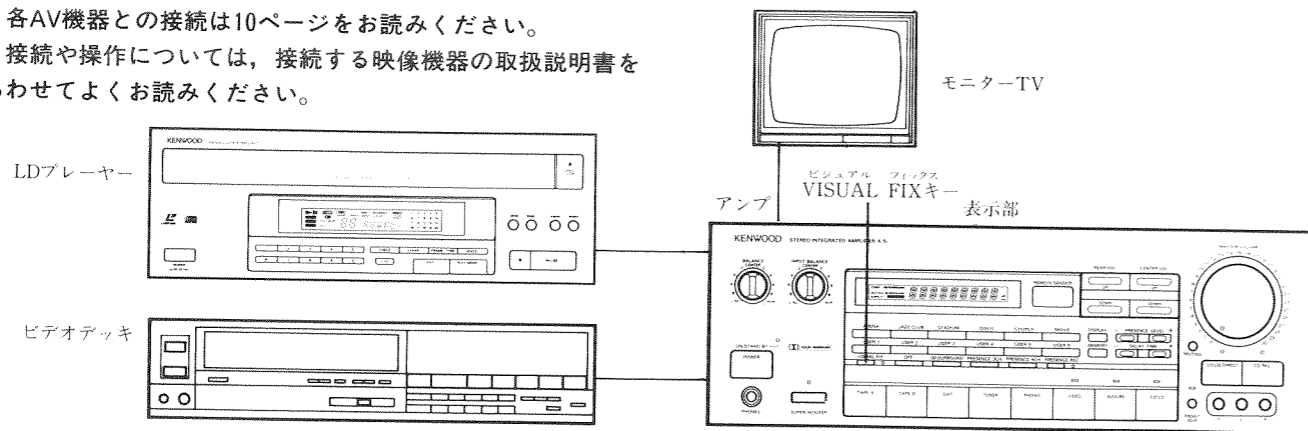
ご注意:
何も文字を入れないで記憶すると前の名称で表示されます。

DSPプレゼンス

DSPプレゼンス

映像機器を使用するには

各AV機器との接続は10ページをお読みください。
接続や操作については、接続する映像機器の取扱説明書をあわせてよくお読みください。



■ビデオ再生のしかた

- 1 モニターTVの電源を入れる
- 2 アンプ部の入力切換キーのVIDEOを押す
映像入力表示
PHONO VIDEO AUX/BS CD/LD
表示部はオーディオ入力表示をします。
VIDEO
- 3 ビデオデッキを再生する

■ビデオを見ながら、CDやテープをきくには

- 1 見たい映像機器を選ぶ
PHONO VIDEO AUX/BS CD/LD
VIDEO
- 2 映像入力を固定する
VISUAL FIX
映像入力表示
VIDEO
解除するときは再度押します。映像入力だけが固定されます。
- 3 ききたいオーディオを選ぶ
PHONO VIDEO AUX/BS CD/LD
AUX
- 4 選んだ映像機器およびオーディオ機器を再生する

■ビデオ録画のしかた

- 1 アンプのAUX端子に、録画したい機器を接続する
●ビデオ再生デッキ、ビデオカメラ、LDプレーヤー、BSチューナーなどが接続できます。
- 2 アンプ部の入力切換キーのAUXを押す
PHONO VIDEO AUX/BS CD/LD
AUX
- 3 録画したい機器を再生する
- 4 ビデオデッキを録画状態にする

映像機器を使用するには

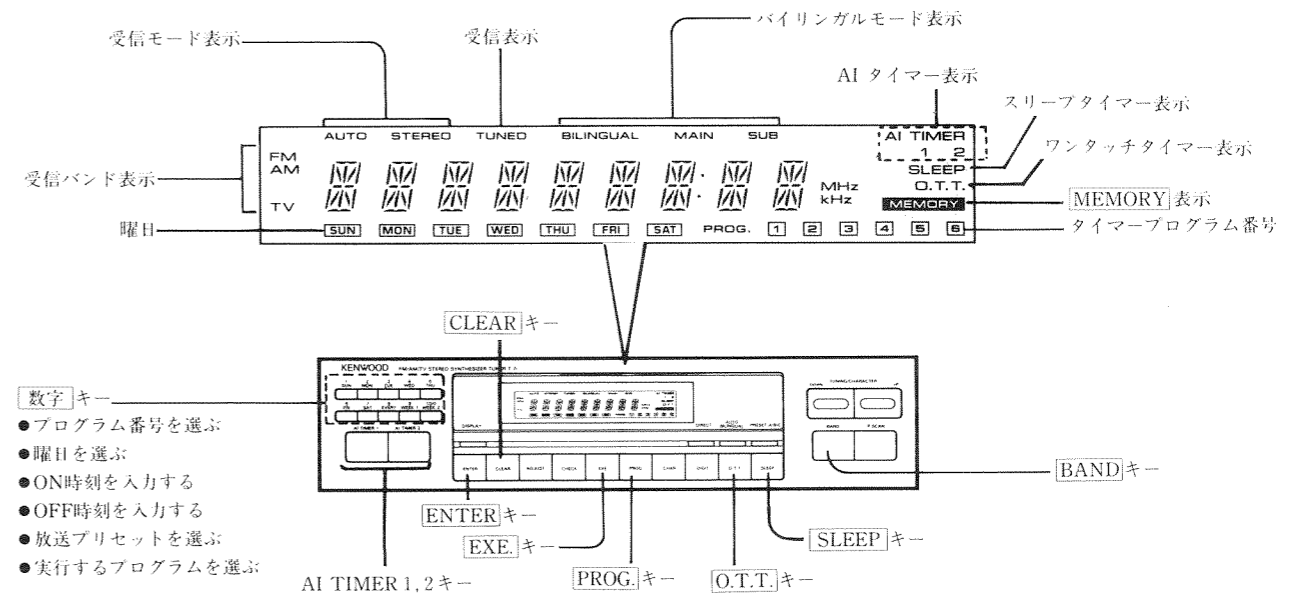
タイマーの使いかた

本システムのタイマーには、次のような機能があります。

プログラムタイマー：ON時刻に電源が入り、放送の受信や録音をしたり、テープ・CDの再生をしたあと、OFF時刻で電源が切れます。時刻設定のできるプログラムは最大6つです。このプログラムタイマーに、AI TIMERの機能をつけ加えることができます。

- AI TIMER 1**：タイマーONで電源が入ったあと、目覚し効果として音量が3段階に大きくなります。
- AI TIMER 2**：タイマーONで電源が入ったら、CDを2曲再生し、そのあと自動的に放送を受信します。
- スリープタイマー**：おやすみのときなど、設定した時間が過ぎると自動的に電源を切ります。
- ワンタッチタイマー**：12時間以内の区切りのよい時間に自動的に電源をONさせます。AI TIMERの機能をつけ加えることができます。
- カレンダーチェック**：年、月、日を入力するとその日が何曜日をインジケータで表示します。

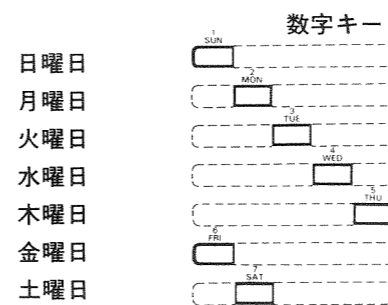
- タイマーの設定のしかたについては次ページ以降をお読みください。
- プログラムの内容は自由に変更できます。
- プログラムが入力されていても、実行を指示しないとタイマーは作動しません。
- AI TIMERは不要な時には、OFFにしてください。その日に実行する全部のプログラムに付加されます。
- 一度入力したプログラム内容は一度に消すことはできません。内容を変更することにより、以前の内容を消します。
- プログラムはそれぞれの時間が重ならないようにしてください。



- 数字キー**
- プログラム番号を選ぶ
 - 曜日を選ぶ
 - ON時刻を入力する
 - OFF時刻を入力する
 - 放送プリセットを選ぶ
 - 実行するプログラムを選ぶ

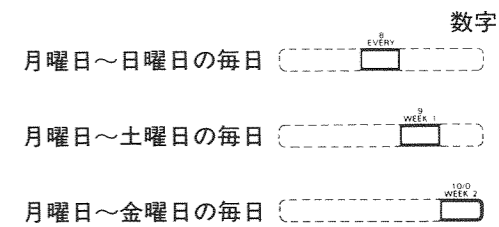
数字キーで指定をする曜日の種類

1. 実行指示をするとその曜日に一度だけ実行する。



●次の週も同じ時間にタイマーを作動させたいときは、あらかじめ実行を指示します。

2. 実行指示をすると毎週繰り返し実行する。

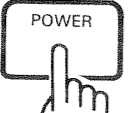


●タイマーを作動させないときはプログラムの実行を取り消します。

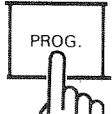
タイマーの使いかた

■プログラムタイマーで放送を受信する

1 電源をONにする
アンプ部のPOWERキーを押す



2 プログラム設定モードにする

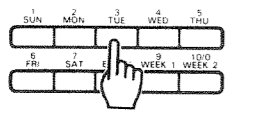


SELECT PROGRAM
PNO

●プログラム番号(1~6)が点滅します。

3 プログラムしたい番号を選ぶ
10秒以内に押す

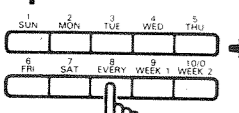
1~6の中から選ぶ



ENTER

●選んだプログラム番号が点滅します。

4 曜日を数字キーで指定する



ENTER

SELECT DAY

5 ON時刻を数字キーで入力する
午前6時30分: 0, 6, 3, 0

INPUT ON TIME

ENTER

ON 06:30


6 OFF時刻を数字キーで入力する
午前7時00分: 0, 7, 0, 0

INPUT OFF TIME

ENTER

OFF 07:00

7 モードをPLAYにする

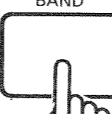


ENTER

SELECT MODE
MODE PLAY

BANDキーを押すごとにPLAYとRECに切り換わります。

8 TUNERを選ぶ



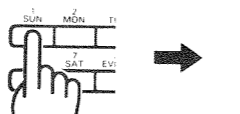
ENTER

SELECT SOURCE
TUNER

TUNER → CD → TAPE

BANDキーを押すごとに切り換わります。

9 受信する放送局のプリセットチャンネルを選ぶ



ENTER

SELECT PRESET
R1 82.50

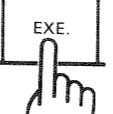
ENTER

END

●放送局は必ずプリセットしておいてください。

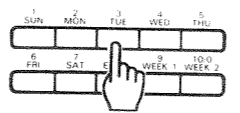
10 プログラムを実行する

①



SELECT PROGRAM

②設定したプログラム番号を数字キーで選ぶ



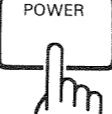
ENTER

R1 82.50

●指定したプログラム番号が点灯します。

11 音量・音質を調整する

12 電源を切る
アンプ部のPOWERキーを押す



タイマーで電源がONになったあと、そのまま放送を受信したいとき

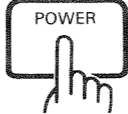
①OFF時刻になる前にCLEARキーを押す
②実行中のプログラム番号キーを押す
●プログラム数字が消灯すると、そのまま放送を受信できます。

ご注意:

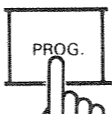
1. プログラムの途中で操作を間違えたときは、CLEARキーを押してやり直してください。
2. プログラムを設定したあとで変更したいときは、初めからやり直してください。
3. 手順3で、すでにプログラムされているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
4. タイマーで電源がONしているときに、CLEARキーや、POWERキーを押すと、正常に作動しくなくなります。

■プログラムタイマーでCDを再生する

1 電源をONにする
アンプ部のPOWERキーを押す



2 プログラム設定モードにする

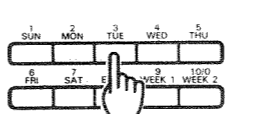


SELECT PROGRAM
PNO

●プログラム番号(1~6)が点滅します。

3 プログラムしたい番号を選ぶ
10秒以内に押す


1~6の中から選ぶ



ENTER

●選んだプログラム番号が点滅します。

4 曜日を数字キーで指定する



ENTER

SELECT DAY

5 ON時刻を数字キーで入力する
午前6時30分: 0, 6, 3, 0

INPUT ON TIME

ENTER

ON 06:30

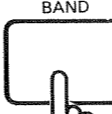
6 OFF時刻を数字キーで入力する
午前7時00分: 0, 7, 0, 0

INPUT OFF TIME

ENTER

OFF 07:00

7 モードをPLAYにする

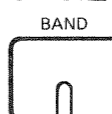


ENTER

SELECT MODE
MODE PLAY

BANDキーを押すごとにPLAYとRECに切り換わります。

8 CDを選ぶ



ENTER

SELECT SOURCE
CD

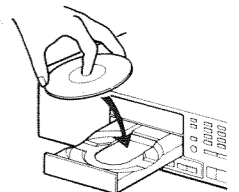
ENTER

END

TUNER → CD → TAPE

BANDキーを押すごとに切り換わります。

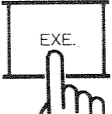
9 CDプレーヤーにディスクを入れる



●曲をプログラムをしておくことはできません。

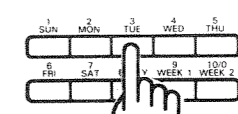
10 プログラムを実行する

①



SELECT PROGRAM

②設定したプログラム番号を数字キーで選ぶ



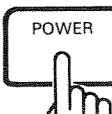
ENTER

R1 82.50

●指定したプログラム番号が点灯します。

11 音量・音質を調整する

12 電源を切る
アンプ部のPOWERキーを押す



ご注意:

1. プログラムの途中で操作を間違えたときは、CLEARキーを押してやり直してください。
2. プログラムを設定したあとで変更したいときは、初めからやり直してください。
3. 手順3で、すでにプログラムされているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
4. タイマーで電源がONしているときに、CLEARキーや、POWERキーを押すと、正常に作動しくなくなります。

■プログラムタイマーでテープを再生する

1 電源をONにする
アンプ部のPOWERキーを押す

8 TAPEを選ぶ
BAND
SELECT SOURCE
↓
TAPE
↓
END
TUNER → CD → [TAPE]
BANDキーを押すごとに切り換わります。

2 プログラム設定モードにする
PROG.
SELECT PROGRAM
PNO
●プログラム番号(1~6)が点滅します。

9 テープを入れ、再生条件を決める
再生する面とDOLBY NRを選ぶ
DOLBY NR
DIRECTION MODE
●A, Bどちらに入れても再生できますが、両方に入れた場合はAデッキから始まります。

3 プログラムしたい番号を選ぶ
10秒以内に押す
1~6の中から選ぶ
●選んだプログラム番号が点滅します。

10 プログラムを実行する
① EXE.
SELECT PROGRAM
プログラム番号
②設定したプログラム番号を数字キーで選ぶ
●指定したプログラム番号が点灯します。

4 曜日を数字キーで指定する
SUN MON TUE WED THU
FRI SAT EVERY WEEK 1 WEEK 2
ENTER
SELECT DAY
●選んだプログラム番号が点滅します。

11 音量・音質を調整する

5 ON時刻を数字キーで入力する
午前6時30分: 0, 6, 3, 0
INPUT ON TIME
ON 06:30
ENTER

12 電源を切る
アンプ部のPOWERキーを押す
POWER

6 OFF時刻を数字キーで入力する
午前7時00分: 0, 7, 0, 0
INPUT OFF TIME
OFF 07:00
ENTER

7 モードをPLAYにする
BAND
SELECT MODE
MODE PLAY
BANDキーを押すごとにPLAYとRECに切り換わります。

- ご注意:
1. プログラムの途中で操作を間違えたときは、CLEARキーを押してやり直してください。
 2. プログラムを設定したあとで変更したいときは、初めからやり直してください。
 3. 手順3で、すでにプログラムされているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
 4. タイマーで電源がONしているときに、CLEARキーや、POWERキーを押すと、正常に作動しくなくなります。

■プログラムタイマーで放送を録音する

1 電源をONにする
アンプ部のPOWERキーを押す

8 受信する放送局のプリセットチャンネルを選ぶ
PRESET A/B/C
SELECT PRESET
↓
R1 82.50
↓
END
●放送局は必ずABCと数字キーでプリセットしておいてください。

2 プログラム設定モードにする
PROG.
SELECT PROGRAM
PNO
●プログラム番号(1~6)が点滅します。

9 録音の準備をする
①Bデッキにテープを入れる
②走行方向を合わせる
③録音する面を選ぶ
④DOLBY NRを選ぶ
●オートバイアスは使えません。

10 録音レベルを調整する

3 プログラムしたい番号を選ぶ
10秒以内に押す
1~6の中から選ぶ
●選んだプログラム番号が点滅します。

11 プログラムを実行する
① EXE.
SELECT PROGRAM
②設定したプログラム番号を数字キーで選ぶ
●指定したプログラム番号が点灯します。

4 曜日を数字キーで指定する
SUN MON TUE WED THU
FRI SAT EVERY WEEK 1 WEEK 2
ENTER
SELECT DAY

12 電源を切る
アンプ部のPOWERキーを押す
●タイマーで電源がONになると音量は最低に設定されます。

5 ON時刻を数字キーで入力する
午前0時00分: 0, 0, 0, 0
INPUT ON TIME
ON 00:00
ENTER

7 モードをRECにする
BAND
SELECT MODE
MODE REC
BANDキーを押すごとにPLAYとRECに切り換わります。

6 OFF時刻を数字キーで入力する
午前0時30分: 0, 0, 3, 0
INPUT OFF TIME
OFF 00:30
ENTER

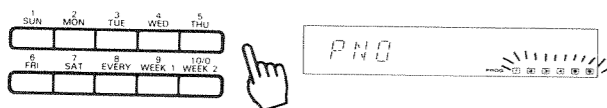
- ご注意:
1. プログラムの途中で操作を間違えたときは、CLEARキーを押してやり直してください。
 2. プログラムを設定したあとで変更したいときは、初めからやり直してください。
 3. 手順3で、すでにプログラムされているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
 4. タイマーで電源がONしているときに、CLEARキーや、POWERキーを押すと、正常に作動しくなくなります。

■プログラムの内容を確認する

1 PROG.キーを押す



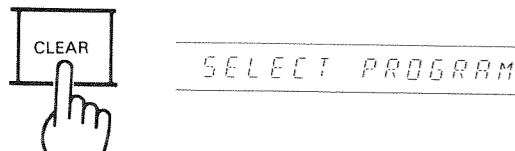
2 確認するプログラムの数字キーを押す



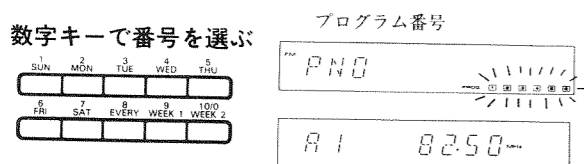
- プログラム番号が点滅中に指定されないと、元に戻ります。
- プログラムの内容を約3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。

■プログラムの実行をキャンセルする

1 CLEARキーを押す



2 実行させたくないプログラム番号を消す



- 実行を取り消してもプログラムの内容は消えません。

再びタイマーで機器を動作させるとき

プログラムは記憶していますので、内容を確認のうえ、「プログラムを実行する」から後を設定し直します。

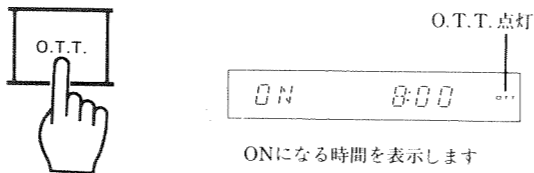
- ① EXE.キーを押す
- ② 実行するプログラム番号を数字キーで選ぶ
- ③ 放送の受信とCD・テープの再生のときは、音量・音質を調整する
- ④ 電源を切る

■ワンタッチタイマーの使いかた

キーを押すだけで30分単位で電源をONさせることができます。プログラムタイマーより優先します。

1 ON時間を設定する

O.T.T.キーを押す

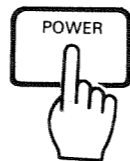


ONになる時間を表示します
押すたびに30分ずつ追加されます

- 1回押すと、今の時間から30分以内で区切りのよい時間が設定されます。(例：7時40分→8時00分)
- ON時間は、0時、0時30分、1時、1時30分のように、30分単位で設定されます。
- 12時間先まで設定できます。
- 電源OFF時でも設定できます。

2 電源を切る

アンプ部のPOWERキーを押す

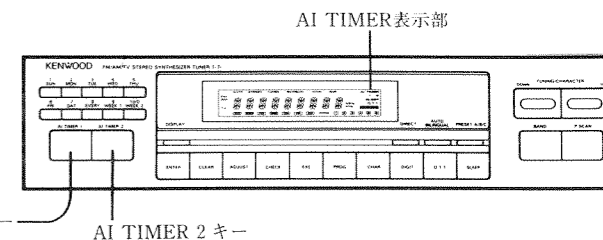


- O.T.T.キーを1回押すとON時間が確認できます。
- 電源がONになると、自動的にSLEEPタイマーが60に設定されます。
- 電源がONになると、最後にきいていた放送局を受信します。

ワンタッチタイマーを解除するとき

電源をONにする
または、
O.T.T.表示が消えるまでO.T.T.キーを押す

プログラムタイマーで時刻を設定したあと、AI TIMERキーを押すと、プログラムタイマーに下記の機能が追加されます。AI TIMER 1, AI TIMER 2ともにタイマーで録音するときは働きません。



■AI TIMER 1の使いかた

プログラムタイマーで電源が入ると、作動した機器の音量が3段階で大きくなる機能です。

1 プログラムタイマーの設定を完了する

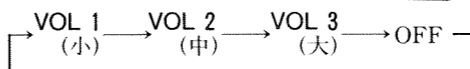
アンプ部の電源を切る

2 AI TIMER 1キーを押す

- AI TIMER 1が点灯します。



最大音量を選ぶ



- 押すごとに最大音量の表示が変わります。手を離すと消灯し、そのレベルを記憶します。

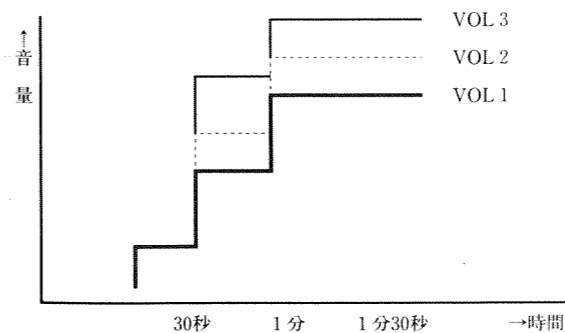
AI TIMER 1の解除

AI TIMER 1キーを
押してOFFを選ぶ

- AI TIMER 1が消灯します。



音量のめやす



- VOLUMEつまみは音量に合わせてまわります。
- グラフィックイコライザーのカーブも変化します。

■AI TIMER 2の使いかた

プログラムタイマーで電源が入ると、CDを2曲再生した後、自動的に放送を受信します。他のプログラムタイマーよりも優先されます。

1 CDプレーヤーにディスクを入れる

2 受信する放送局を選ぶ

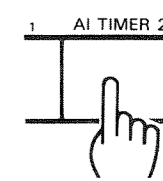
- 21ページの「プリセットした局を受信する」をご覧ください。

3 “タイマーでCDを再生する”を済ませる

- 63ページをご覧ください。

4 AI TIMER 2キーを押す

- AI TIMER 2が点灯します。

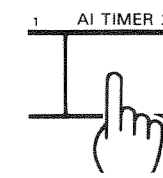


- 音量を3段階で大きくしたいときはAI TIMER 1を押します。

AI TIMER 2の解除

もう一度キーを押す

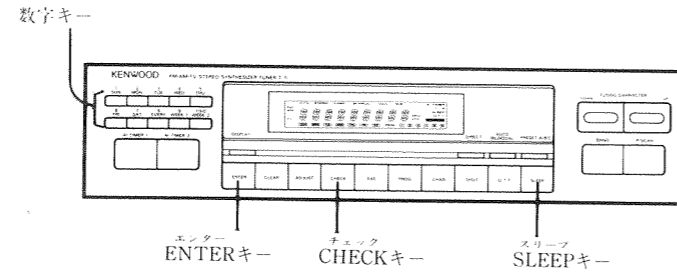
- AI TIMER 2が消灯します。



ご注意：

1. AI TIMER 1の作動中にグラフィックイコライザーの操作キーまたはリモコンのVOLUMEキーを押すと、音量はその時点で固定されます。
2. AI TIMER 2のCDの再生中に入力切換キーをTUNERやTAPEにすると、そこでCDの再生をやめ、AI TIMER 2は解除します。
3. AI TIMER 2のCDの再生中にCDプレーヤーの操作キーを押すと、そこでCDの再生をやめ、AI TIMER 2は解除します。
4. ディスクを入れ忘れたときは、CDの再生をせずに、放送を受信します。
5. プログラムタイマーの動作が終了しても、AI TIMER 1および2のインジケータは消えません。AI TIMERを使わないときは必ずインジケータを消しておいてください。

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。



■スリープタイマーの使いかた

設定した時間が過ぎると電源が切れます。おやすみの前などにお使いになると便利です。

10分単位で最大90分まで設定できます。

スリープタイマーはほかのタイマーより優先します。

■カレンダーチェックのしかた

西暦年、月、日を入力すると、その日が何曜日がわかります。1900年1月1日～2099年12月31日の間で検索します。

1 電源を入れる
アンプ部のPOWERキーを押す

2 何分後に電源を切るかを設定する
SLEEPキーを押す

90 → 80 → 70 → …… → 20 → 10 → 解除

- 1回押すごとに10分ずつ減っていきます。

1 CHECKキーを押す

2 西暦年を数字キーで入力する
1992年: [1], [9], [9], [2]

3 月、日を数字キーで入力する
3月30日: [0], [3], [3], [0]

1992 330
曜

- 入力した日の曜日が、自動的に点灯します。数秒後に元の表示に戻ります。

スリープタイマーを解除するとき

SLEEPキーを解除になるまで押す
または
電源をOFFにする

リモコン部

症 状	原 因	処 置
リモコンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池切れ。 ● 平行コードおよびシステムコントロールコードが正しく接続されていない。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ● 再生しようとする機器に、レコード、テープ、CDが入っていない。 ● 録音中のカセットデッキで再生しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい電池に入れかえる。 ● “接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ● 操作範囲内で操作する。 ● 再生しようとする機器に、レコード、テープ、CDを入れる。 ● 録音が終わるまで待つ。

アンプ部・スピーカー部

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカーコードがはずれている。 ● 音量を最小にしている。 ● アンプのMUTINGがONでVOLUMEポイントインジケータが点滅している。 ● ヘッドホンプラグが差込まれている。 ● グライコのオーディオコードが接続がはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● “接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ● 適当な音量にする。 ● MUTINGをOFFにする。 ● ヘッドホンプラグを抜く。 ● グライコのオーディオコード接続を確認する。
ディスプレイにP-OFFと点滅表示し、音が出ない。 スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカーコードがショートしている。 ● スピーカーコードがはずれている。 ● BALANCEつまみが片側いっぱい絞られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。 ● “接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ● 左右のバランスを調節する。
サラウンドリアスピーカー、センタースピーカーから音が出ない。または、小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ● リアスピーカーコードおよびセンタースピーカーコードがはずれている。 ● サラウンド再生モードになっていない。 ● REAR VOL., CENTER VOL.レベルが最小になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● “接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ● ドルビーサラウンドまたはDSPプレゼンスモードにする。 ● REAR VOL., CENTER VOL.を調節する。
入力切換キーをPHONOにすると、ブーンという音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● プレーヤーのオーディオコードがPHONO端子にしっかりと差し込まれていない。 ● プレーヤーのアース線が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオコードをPHONO端子に完全に差し込む。 ● アース線を背面のGND端子に接続する。

チューナー部

症 状	原 因	処 置
時刻表示がある時間で止まったまま、点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電があった。 ● 電源プラグを一度抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在時刻をもう一度合わせる。 ● 現在時刻をもう一度合わせる。
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在時刻を合わせていない、停電があった。 ● タイマーのON時刻とOFF時刻を設定していない。 ● タイマーの実行指定をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● “時刻合せのしかた”をみて現在時刻を合わせる。 ● タイマーのON時刻とOFF時刻を設定する。 ● [EXE]キーで実行指定をする。

故障と思われる症状ですが……

タイマーの使いかた

症 状	原 因	処 置
放送局を受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。
プリセットしたあと、数字キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。

カセットデッキ部

症 状	原 因	処 置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ヘッドが汚れている。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“接続のしかた”に従い正しく接続する。 ●“ヘッドのお手入れ”をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープを交換してみる。 ●録音済テープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●カセットホルダーを閉めてすぐ操作キーを押している。 ●電源を入れてから、3秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホルダーを完全に閉める。 ●ホルダーを閉めてから何秒か待って操作キーを押す。 ●3秒以上たってから操作キーを押す。 ●テープを入れる。 ●テープを交換してみる。
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ●曲と曲の間が短いなどDPSSに不適当なテープを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“DPSSの使いかた”をお読みください。
CCRSが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●Bデッキに録音できるテープが入っていない。 ●CDプレーヤーにディスクが入っていない。 ●ディスクが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●Bデッキに録音できるテープを入れ、操作をやりなおす。 ●CDプレーヤーにディスクを入れ、操作をやりなおす。 ●ディスクを清掃したあと、CDプレーヤーに入れ、操作をやりなおす。
AデッキとBデッキでダビングの終わる時間が違う。	<ul style="list-style-type: none"> ●テープの長さやカセットデッキのメカニズムの特性によるもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多少の時間差は故障ではありません。
EJECTキーを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中、または再生中に押している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●停止状態で押す。
音ががすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり、ワカメ状になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“ヘッドのお手入れ”をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープを交換する。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音する時、録音レベルを上げすぎている。 ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“録音のしかた”をみて録音レベルを調節する。 ●テープを交換する。

故障と思われる症状ですが……

症 状	原 因	処 置
RECキーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープのツメが折れている。 ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●録音レベルが最小になっている。 ●アンプの入力切換キーがTAPE AまたはTAPE Bになっている。 ●テープがどちらかに巻きとられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ●ホルダーを完全に閉める。 ●“録音のしかた”をみて録音レベルを調節する。 ●入力切換キーを録音したいソースにする。 ●Bデッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●録音レベルが低い。 ●ドルビーNRをONで録音したテープをOFFで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“ヘッドのお手入れ”をみて、消磁する。 ●電気器具、テレビから離す。 ●“録音のしかた”をみて、録音レベルを調節する。 ●DOLBY NRキーでBかCにする。
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“ヘッドのお手入れ”をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。

グラフィックイコライザー部

症 状	原 因	処 置
音が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ●イコライザーレベルが、全帯域にわたって、低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イコライザーレベル調整キーでレベルを上げる。

CDプレーヤー関係

症 状	原 因	処 置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを清掃してから再生する。 ●ディスクを取り換える。 ●“露付きにご注意”をみて、露を蒸発させる。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●接続コードがしっかり差込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを入れて再生する。 ●再生/一時停止キーを押す。 ●しっかりと接続する。
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを清掃してから再生する。 ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。

ご注意：

1. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに“キュー”という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働くため、故障ではありません。
2. 120分テープは、テープ厚がうすくてワカメ状になりやすいため、ご使用にならないでください。
3. 本システムはマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜いてからあらためてご使用ください。
4. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。
5. 本システムのTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。そのため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

故障と思われる症状ですが……

アフターサービスについて

1. **保証書**—この商品の保証書は別途添付しております。必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
2. **保証期間**—お買い上げの日より**1年間**です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容によりお買い上げの販売店またはケンウッドの営業所が**無料修理**いたします。
3. **保証期間経過後の修理**についてはお買い上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により**有料修理**いたします。
4. **補修用性能部品の最低保有期間**は製造打切後**8年間(カセットデッキは6年間)**です。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買い上げの販売店またはケンウッドの営業所にご遠慮なくご相談ください。

サービス依頼について

本システムの修理を依頼されるときは、本体のままお渡しにならないで、必ず何かに包装してお渡してください。本体のまま修理にだされますと、途中の事故等で外観に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

※ダンボール箱はぜひ保管し、アフターサービスや引越しの際大切な機器を保護するためにご利用ください。

定 格

アンプ (A-5i)

出力

実用最大出力フロント (EIAJ, 6Ω).....	85W+85W
リア (EIAJ, 8Ω).....	35W+35W
センター (EIAJ, 8Ω).....	45W

全高調波ひずみ率

(CD, 20Hz-20kHz, 1/2定格出力, 6Ω).....	0.02%
------------------------------------	-------

S/N比 (EIAJ)

PHONO (MM).....	78dB
CD, TUNER, AUX, VIDEO, TAPE.....	98dB

入力感度/インピーダンス

PHONO (MM).....	2.5mV/47kΩ
CD, TUNER, AUX, VIDEO, TAPE.....	200mV/47kΩ

周波数特性 (CD, 20Hz-80kHz).....

	+0dB, -3dB
--	------------

遅延時間調整範囲

ドルビーサラウンドのとき.....	15~30mS
DPSプレゼンスのとき.....	5~60mS

残響音レベル調整範囲

DPSプレゼンスのとき.....	0~-20dB
------------------	---------

〔電源・その他〕

電源電圧・電源周波数.....	AC100V50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示).....	160W

カセットデッキ接続時.....	180W
-----------------	------

外形寸法.....	幅 360mm
	高さ 129mm
	奥行 375mm

重量.....	正味 9.0kg
---------	----------

チューナー (T-7i)

〔FMチューナー部〕

受信周波数範囲.....	76MHz~90MHz
--------------	-------------

アンテナインピーダンス.....	75Ω 不平衡
------------------	---------

実用感度(モノラル).....	17.2dBf(2.0μV, 75Ω)
-----------------	---------------------

高調波ひずみ率モノ.....	0.4%(1kHz)
----------------	------------

ステレオ.....	0.5%(1kHz)
-----------	------------

S/N モノ.....	78dB(65dBf)
-------------	-------------

ステレオ.....	69dB(65dBf)
-----------	-------------

ステレオセパレーション.....	40dB(1kHz)
------------------	------------

周波数特性.....	30Hz-15kHz, +0.5dB, -3.5dB
------------	----------------------------

〔AMチューナー部〕

受信周波数.....	531kHz-1602kHz
------------	----------------

実用感度.....	14μV(500μV/m)
-----------	---------------

S/N比.....	47dB
-----------	------

〔TVチューナー部〕

受信方式.....	音声多重復調回路内蔵
-----------	------------

受信チャンネル.....	VHF: 1~12CH
--------------	-------------

	UHF: 13~62CH
--	--------------

〔電源・その他〕

電源電圧・電源周波数.....	AC100V 50Hz/60Hz
-----------------	------------------

定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示).....	11W
----------------------------	-----

外形寸法.....	幅 360mm
-----------	---------

	高さ 69mm
--	---------

	奥行 354mm
--	----------

重量.....	正味 2.7kg
---------	----------

グラフィックイコライザー (GE-7i)

コントロール周波数.....	40Hz, 63Hz, 98Hz, 160Hz, 250Hz
	400Hz, 625Hz, 1kHz, 1.5kHz, 2.5kHz, 3.9kHz, 6.3kHz, 10kHz, 16kHz

可変範囲.....	±12dB
-----------	-------

ひずみ率(1kHz).....	0.006%
-----------------	--------

S/N比 (IHFA).....	100dB
------------------	-------

最大出力電圧(1kHz).....	9V
-------------------	----

利得.....	±0dB
---------	------

入力インピーダンス.....	47kΩ
----------------	------

出力インピーダンス.....	2.2kΩ
----------------	-------

〔電源・その他〕

電源電圧・電源周波数.....	AC100V 50Hz/60Hz
-----------------	------------------

定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示).....	13W
----------------------------	-----

外形寸法.....	幅 360mm
-----------	---------

	高さ 109mm
--	----------

	奥行 353mm
--	----------

重量.....	正味 3.4kg
---------	----------

カセットデッキ (X-7i)

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス(周波数:160kHz)
ヘッド	
Aデッキ用再生用	1
Bデッキ用録音/再生用	1
消去用	1
モーター Aデッキ用	2
Bデッキ用	2
早巻き時間	約90秒(C-60)
周波数特性(Bデッキ)	
ノーマルテープ	30Hz-20,000Hz±3dB
クロムテープ	30Hz-20,000Hz±3dB
メタルテープ	30Hz-20,000Hz±3dB
S/N比	
EIAJ	55dB
DOLBY NR OFF	58dB
DOLBY B NR ON	67dB
DOLBY C NR ON	75dB
ワウ・フラッター	0.06%(WRMS)
外形寸法	幅 360mm 高さ 119mm 奥行 357mm
重量	正味 4.1kg

コンパクトディスクプレーヤー(DP-7i)

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
回転数(定速時)	200rpm~500rpm(CLV)
(倍速録音時)	400rpm~1000rpm(CLV)
オーディオ性能(EIAJ)	
周波数特性	10Hz~20kHz±1dB(EIAJ)
S/N比	95dB以上(EIAJ)
全高調波ひずみ率	0.07%以下(1kHz)
チャンネルセパレーション	80dB以上(1kHz)
ワウ・フラッター	測定限界以下

[電源・その他]

電源電圧・電源周波数	AC100V50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	10W
外形寸法	幅 360mm 高さ 117mm 奥行 351mm
重量	正味 3.6kg

スピーカー (S-5i)

エンクロージャー形式	バスレフ
スピーカー構成	3ウェイ
ウーハー	270mm PPコーン型
スクーアー	100mmコーン型
ツイーター	50mmドーム型
インピーダンス	6Ω
最大入力	100W
出力音圧レベル	91dB
周波数特性	35Hz~20kHz
外形寸法	幅 315mm 高さ 559mm 奥行 245mm
重量	正味 9.6kg(一本)

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。